

HONDA

Display Assy 7.0



取扱説明書



【改廃履歴】

2026.05.20 : P.67 フューエルタンク センダーゲージ(アナログ)設定の追加

©2025 Honda Motor Co., Ltd. -All Rights Reserved

Display Assy 7.0
3RZVLD00

日本語

はじめに

Honda 船外機用マルチファンクションディスプレイ Display Assy 7.0 をお買い上げいただきありがとうございます。

製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

船外機の使用については、船外機の取扱説明書をご参照ください。

この製品は Honda 船外機専用です。Honda 以外の船外機や、他の用途には使用しないでください。製品の仕様変更により、この取扱説明書の内容と実際の製品が一致しない場合があります。

製品の取り付け、または、製品を廃棄する際はお買い上げの販売店にご相談ください。また、製品の設定前には、お買い上げ販売店にて船外機側の「デバイス設定」*を行う必要があります。

* 1 基掛けでの使用の場合は、設定の必要はありません。

- マルチファンクションディスプレイ (以下、ディスプレイ) に表示される航続可能距離、航続可能時間などの情報はあくまで目安です。余裕を持って計画的な航行を行ってください。
- ディスプレイの機能には、一部機種限定の機能があります。対象機能および機種については、「仕様」(P.14) をご確認ください。
- NMEA2000® は National Marine Electronics Association, Inc. の登録商標です。

目次

はじめに	1
付属品について	3
画面操作方法	3
パネルスイッチの機能	3
ディスプレイ背面の接続ポート	3
はじめて電源を入れた時に行う設定	4
表示項目一覧	5
情報表示画面	7
情報表示画面 (4 基掛けの 1 ページ目の場合)	9
情報表示画面の編集	9
異常発生時の通知	13
通知内容について	13
定期点検実施後のメンテナンス時期リセット方法	13
保管とお手入れ	13
仕様	14
各種設定方法	15
設定方法一覧	15
(1) Speed source / 速度ソース設定	16
(2) Automatic Tilt / オートマチックチルト	17
(3) Trim support / トリムサポート	18
(4) Trim support setting / トリムサポート設定	19
(5) Trim limit set / トリムリミット位置設定	23
(6) Trim limit reset / トリムリミット位置初期化	24
(7) Tilt limit set / チルトリミット位置設定	25
(8) Tilt limit reset / チルトリミット位置初期化	26
(9) Trim Zero Set / トリムゼロセット	27
(10) Fuel Tank Preset / 燃料タンク設定	28
(11) Sensor Configuration of Engine Connector / エンジンコネクタ接続のセンサー補正	30
(12) Sensor Configuration of Wind / 風のセンサー補正	34
(13) Sensor Configuration of Depth offset / 水深のセンサー補正	35
(14) Sensor Configuration of Rudder offset / 転舵角のセンサー補正	36
(15) Sensor Configuration of Speed / 速度のセンサー補正	37
(16) Engine Warnings / 発生中エンジン異常情報確認	38
(17) Sensor Alarms setting / センサーアラーム設定	39
(18) Maintenance Reminder / メンテナンス時期確認	41
(19) Boat / 船舶情報	42
(20) NMEA2000 Device List / 接続中 NMEA2000 機器確認	43
(21) Screen Layout / 表示画面設定	44
(22) Boost Pressure / 吸入空気圧表示範囲設定	45
(23) Engine temperature / エンジン温度表示範囲設定	46
(24) Voltage / バッテリー電圧表示範囲設定	47
(25) Fuel flow / 瞬時燃料消費量表示範囲設定	48
(26) Brightness / 輝度設定	49
(27) Background / 背景設定	50
(28) Auto Day/Night switch / 背景切り替え感度設定	51
(29) Touchscreen beep / 操作音設定	52

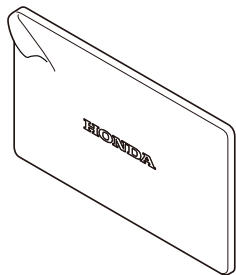
(30) Units / 単位設定	53
(31) Speed Display / 表示船速設定	54
(32) Station / 取付ステーション設定	55
(33) Language / 表示言語設定	56
(34) Clock format / 時刻表示形式設定	57
(35) Clock offset / 時刻オフセット設定	58
(36) Pop-up Display / ポップアップ設定	59
(37) EasyLink / EasyLink 設定	60
(38) Demo Mode / デモモード設定	61
(39) Reset Fuel Used / 総燃料消費量リセット	62
(40) Reset Trip Distance / 総航行距離リセット	63
(41) Reset Trip Time / 総航行時間リセット	64
(42) Reset number of Engine / エンジン数リセット	65
(43) Reset Factory / 工場出荷状態へリセット	66

※ 目次のタイトル名および本文中のページナンバーをクリック／
タップすると、該当ページを表示できます。

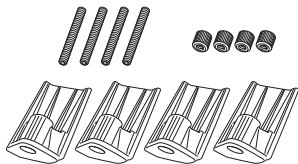
付属品について

製品をお使いになる前に付属品を確認してください。

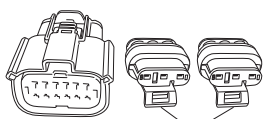
- (1) サンカバー (ディスプレイ用)
- (2) マウントキット
- (3) ダミーケーブル (12P)
- (4) ダミーケーブル (3P) (2 個)
- (5) インストラクション QR



(1)

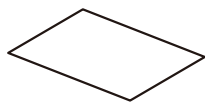


(2)



(3)

(4)



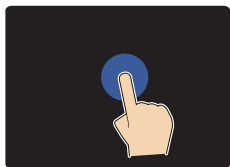
(5)

画面操作方法

本製品はディスプレイ上をタッチ操作することで画面操作を行います。

● タップ

ディスプレイ上を軽くタッチします。



: 情報表示画面に遷移

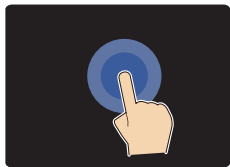
: 一階層上のメニュー画面に遷移

: 編集内容確定

: 編集箇所を選択

● 長押し

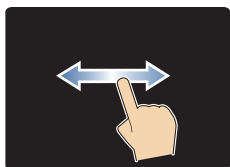
ディスプレイ上を1秒程度タッチし続け、離します。



● スワイプ

ディスプレイ上を触れながら、指を左右にスライドします。

情報表示画面でスワイプするとページが切り替わります。



パネルスイッチの機能



[調光スイッチ]

- ・画面輝度の調整 (8 段階)



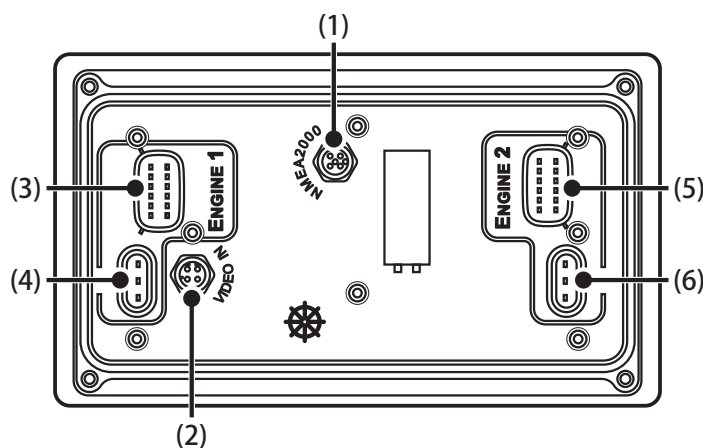
[メインスイッチ]

- ・MAIN MENU 画面や設定画面でタップすると、情報表示画面に切り替える
- ・長押しすると、画面を消灯しスタンバイモードにする
- ・スタンバイモードの時タップすると、スタンバイモードから復帰する

スタンバイモードを使用することで消費電流を低減させたり、点灯させる必要がない場合にディスプレイを消灯させることができます。

スタンバイモードの時にメインスイッチをタップすることで、スタンバイモードから復帰することができます。

ディスプレイ背面の接続ポート



(1) NMEA2000 コネクタ

(2) コンポジットビデオ入力コネクタ (Micro-C M12 4pins)

(3) Engine1 コネクタ (電源、IGP、アナログセンサー)

(4) EasyLink コネクタ (Veratron 社製メーターへのデータ共有)

(5) Engine2 コネクタ (J1939-CAN、アナログセンサー)

(6) EasyLink コネクタ (拡張用)

アナログセンサーに対応している項目については、「表示項目一覧」(P.5) をご確認ください。

はじめて電源を入れた時に行う設定

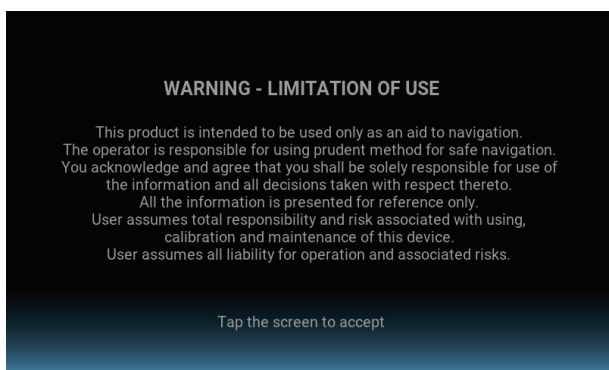
情報を表示するエンジンの数と GPS デバイスの接続有無を設定します。

1. 電源を入れると、ロゴが表示された後、自動で起動画面が表示されます。



で使用するソフトウェアバージョンが表示されます。

< 起動画面 >



警告：使用制限

本製品は、航行の補助としてのみ使用されることを目的としています。

運転者は、安全な航行を行うために慎重な方法で使用する責任があります。

お客様は、情報の使用およびそれに関して行われた決定の一切について、単独で責任を負うことを認めこれに同意します。

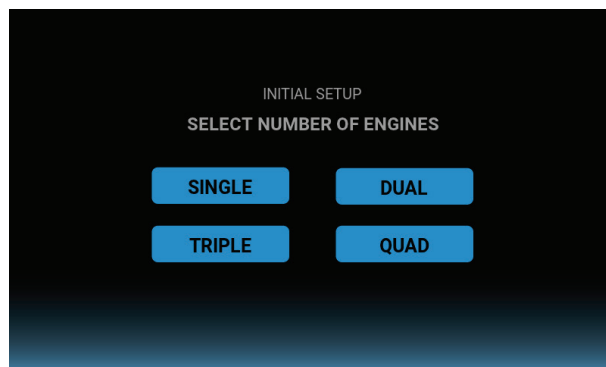
すべての情報は参照目的でのみ提供されています。

使用者は、本機器の使用、キャリブレーション、およびメンテナンスに関連する責任およびリスクの一切を負います。

使用者は、操作およびそれに伴うリスクに対する一切の法的責任を負います。

承認する場合は、スクリーンをタップしてください。

2. 画面をタップします。INITIAL SETUP 画面が表示されます。

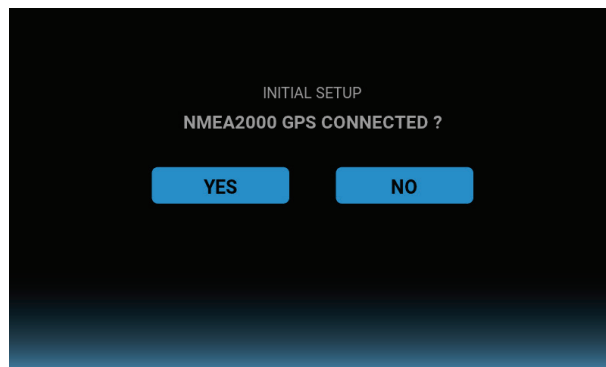


3. 情報を表示するエンジンの数を設定してください。ディスプレイに接続されているエンジン数に対応する項目をタップします。

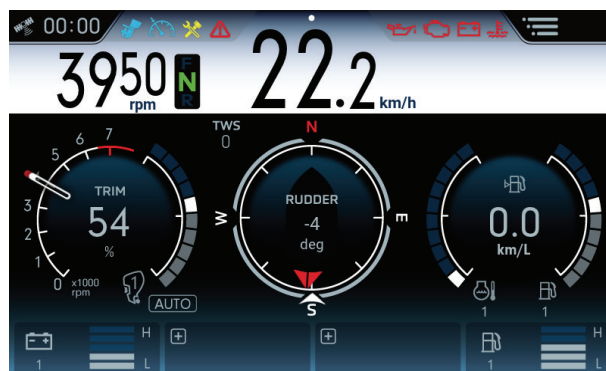
複数の船外機を搭載している場合、最大 4 基分のエンジン情報を同時に表示できます。

- 1 基の場合：SINGLE をタップ
- 2 基の場合：DUAL をタップ
- 3 基の場合：TRIPLE をタップ
- 4 基の場合：QUAD をタップ

4. NMEA2000 系統に GPS デバイスが接続されているか選択します。



5. 設定後、情報表示画面が表示されます。



6. 必要に応じて画面に表示される言語を選択します。(P.56)

- 2 回目以降の電源 ON は・・・
- ・この設定は必要ありません。
- ・起動画面をタップすると情報表示画面が表示されます。

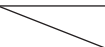
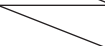
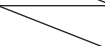



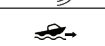





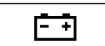







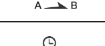

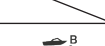
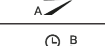

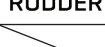
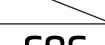

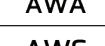
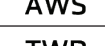
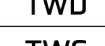
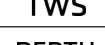

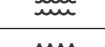





表示項目一覧

情報表示画面のページレイアウトにより、各項目の情報表示有無が異なります。(P.7)







情報表示画面のレイアウト設定については「情報表示画面の編集」(P.9)をご確認ください。

表示可能な項目はお使いの船外機・接続する NMEA2000 対応機器・アナログセンサーによって異なります。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

分類	項目	モニター表示	バー・ゲージ表示	数値表示
ステータス	 ECO モード	○	-	-
	 トローリングコントロール	○	-	-
	 ファストアイドル	○	-	-
	 クルーズコントロール	○	-	-
	 トリムサポート	○	-	-
ボート	 SOG/ 対地速度	-	-	○
	 SOW/ 対水速度	-	-	○
エンジン	 Shift/ シフトポジション	○	-	-
	 Engine RPM/ エンジン回転数 *	○	-	○
	 TRIM Trim/ トリム角度 *	-	○	○
	 Boost pressure/ 吸入空気圧	-	○	○
	 Temperature/ エンジン温度	-	○	○
	 Voltage/ バッテリー電圧	-	○	○
	 Fuel flow/ 瞬時燃料消費量	-	○	○
	 Engine Hours/ 総運転時間	-	-	○
燃料	 Fuel level (%)/ 燃料残量 [%] *	-	○	○
	 Fuel level (L, Gal)/ 燃料残量 [L, Gal] *	-	-	○
	 Total fuel used/ 累計燃料消費量	-	-	○
	 Fuel economy/ 燃費	-	-	○
	 Remain distance/ 航続可能距離	-	-	○
	 Remain time/ 航続可能時間	-	-	○
その他	 Clock/ 時刻	-	-	-
	 Trip distance/ 航行距離	-	-	○
	 Trip time/ 航行時間	-	-	○
	 RUDDER Rudder/ 操舵角 *	○	-	○
	 Position/ 現在位置	-	-	○
	 COG COG(Course Over Ground)/ 対地進路	○	-	○
	 AWA AWA(Apparent wind angle)/ 見かけの風向	○	-	○
	 AWS AWS(Apparent wind speed)/ 見かけの風速	-	-	○
	 TWD TWD(True wind direction)/ 真の風向	○	-	○
	 TWS TWS(True wind speed)/ 真の風速	-	-	○
	 DEPTH Depth/ 水深	-	-	○
	 Fresh water/ 貯水タンク量 *	-	○	○
	 Waste water/ 廃水タンク量 *	-	○	○
	 Seawater Temp/ 海水温	-	-	○
	 Air Temp/ 気温	-	-	○
	 BARO Atmos pressure/ 大気圧	-	-	○
	 Roll/ ロール角	-	-	○
	 Pitch/ ピッチ角	-	-	○

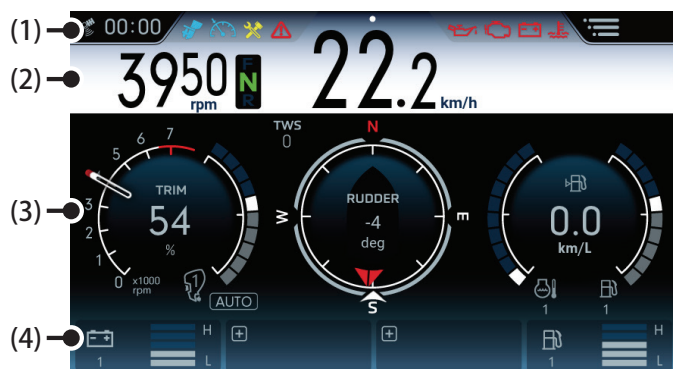
* アナログセンサーに対応しています。

分類	項目	画面表示
インジケータ	 エンジン制御、 セキュリティシステムの異常	ポップアップ通知後、 Check Engine 点灯
	 充電システムの異常	ポップアップ通知後、 Charge Indicator 点灯
	 エンジンの油圧異常	ポップアップ通知後、 Low Oil Pressure 点灯
	 エンジンのオーバーヒート	ポップアップ通知後、 Over Temperature 点灯
	 エンジン状態の通知	ポップアップ通知後、Engine Check アラート点灯 通知内容については、「通知内容について」(P.13) をご確認ください。
通知	 メンテナンス時期	ポップアップ通知後、メンテナンスアイコン点灯

情報表示画面

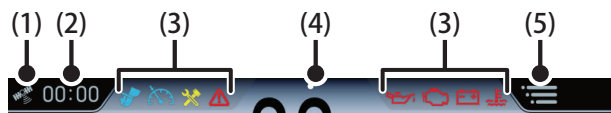
情報表示画面は、ヘッダー、および以下の3段の領域で構成されています。

4基掛けの場合、1ページ目のみ、上段と中段の表示項目が異なります。(P.9)



- (1) ヘッダー
- (2) 上段領域：デジタルメーター
- (3) 中段領域：カスタムサークル
- (4) 下段領域：カスタムゲージ

●ヘッダー



(1) GPS インジケータ

GPS 信号の受信状態が表示されます。表示船速設定が対水速度の場合、以下のインジケータが表示されます。



(2) 時計

GPS が接続されている場合、現在時刻が表示されます。

(3) アラート・ファンクションインジケータ

エンジン異常やメンテナンス時期の場合にインジケータが点灯します。
また、クルーズコントロールモードやトリムサポートモードが ON の時は青色のインジケータが点灯します。

(4) ページインジケータ

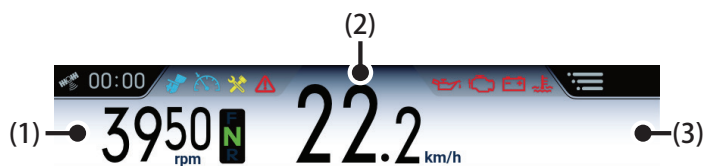
全体ページ数、および現在のページ位置が表示されます。

(5) メニューボタン

タップすると MAIN MENU 画面が表示されます。

●デジタルメーター

エンジン回転数およびシフト情報が表示可能です。中央のデジタルメーター2のみ、船速も表示可能です。4基掛けの場合、1ページ目のみ表示項目が異なります。(P.9)



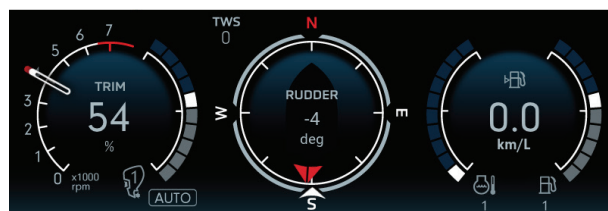
- (1) デジタルメーター1
- (2) デジタルメーター2
- (3) デジタルメーター3

●カスタムサークル

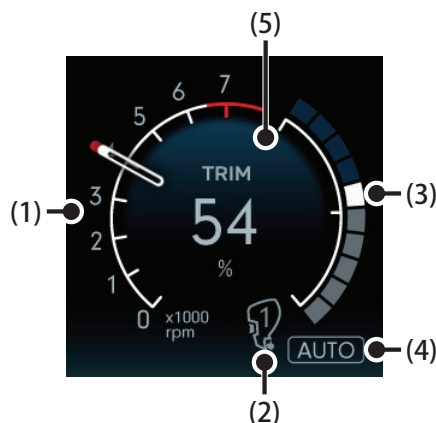
エンジン情報、航行補助情報、燃料関連情報の、3つの形式で表示可能です。

カスタムサークルは、左、中央、右の、計3エリアがありますが、表示可能な項目はどの位置でも共通です。

4基掛けの場合、1ページ目のみ表示項目が異なります。(P.9)

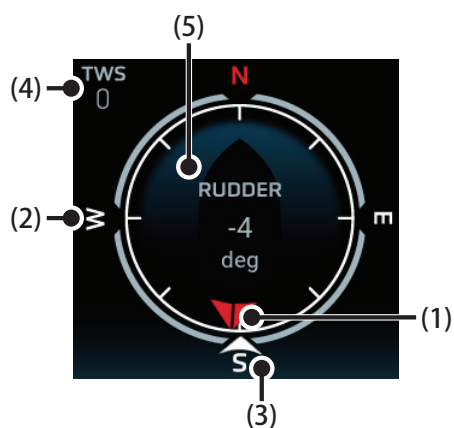


・エンジン情報系カスタムサークル



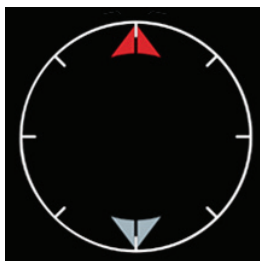
- (1) タコメータ
エンジン回転数が表示されます。
- (2) エンジン番号
このカスタムサークルで設定されているエンジン番号が表示されます。
- (3) トリムゲージ
トリム角度が10段階で表示されます。
- (4) トリムサポートインジケータ
トリムサポートモードが ON の時に表示されます。
- (5) センターモニター
エンジンや燃料系の情報が表示可能です。

- 航行補助情報系カスタムサークル
各項目は表示 / 非表示を選択できます。



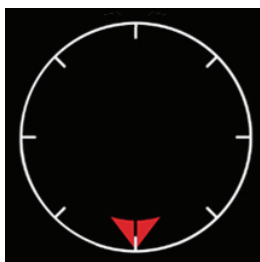
(1) 推進方向

船体の推進方向に関する補助情報が表示されます。
Shift および **Rudder** 設定の ON/OFF により、表示が異なります。
Shift: 進行方向の情報が表示されます。



赤色の矢印で進行方向を示します。
2つの矢印が灰色のときは、静止状態を示します。
2つの矢印が赤色のときは、転回状態を示します。
(多基掛けのみ)

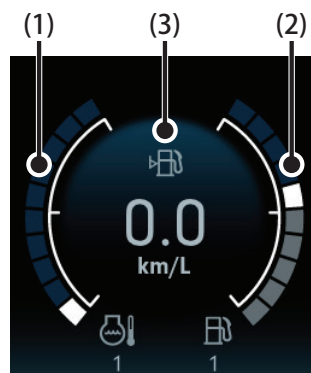
Rudder: ラダー角度の情報が表示されます。



赤色の矢印が移動しラダー角度を示します。
Shift が ON の時は赤色の矢印が進行方向を示し、下向きの矢印でラダー角度を示します。シフトポジションが Reverse の時、矢印は1つになります。

- (2) 対地進路
GPS から取得した対地進路が表示されます。
- (3) 風向き
船体に対する風向きが表示されます。
真の風向き: **TWD**、見かけの風向き: **AWA**
- (4) 風速
船体に対する風速が表示されます。
真の風速: **TWS**、見かけの風速: **AWS**
- (5) センターモニター
操船を補助する数値情報が表示可能です。

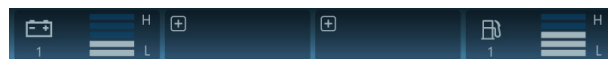
- 燃料関連情報系カスタムサークル
左右ゲージおよびセンターモニターそれぞれについて、お好みで編集可能です。
エンジンや燃料系の情報が表示可能です。



- (1) 左ゲージ
- (2) 右ゲージ
- (3) センターモニター

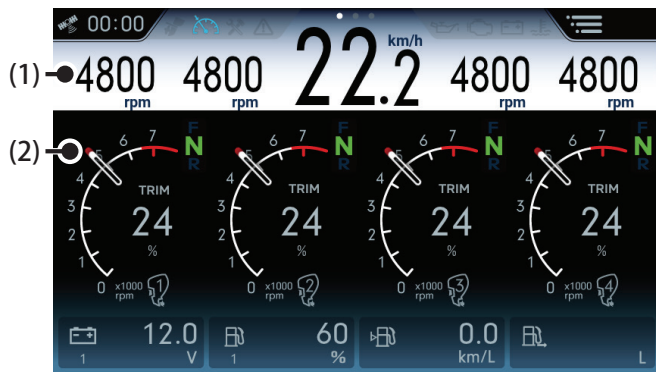
● **カスタムゲージ**

一部のエンジン情報を除き、レベルゲージ情報や数値が表示可能です。
カスタムゲージは、計4エリアがありますが、表示可能な項目はどの位置でも共通です。



情報表示画面（4基掛けの1ページ目の場合）

4基掛けの場合、情報表示画面の1ページ目のみ、上段と中段に、専用の項目が表示されます。
上段と中段の表示項目は固定で編集できません。



- (1) 上段領域：デジタルメーター
(2) 中段領域：エンジン情報サークル

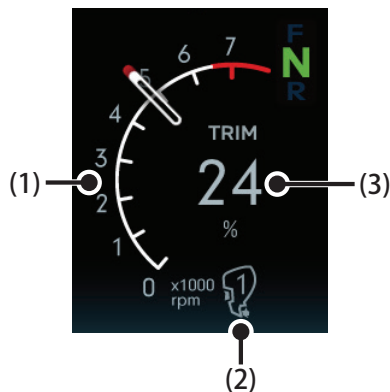
●デジタルメーター

4基それぞれのエンジン回転数が表示されます。
中央には、船速が表示されます。



●エンジン情報サークル

4基それぞれのエンジン情報が表示されます。

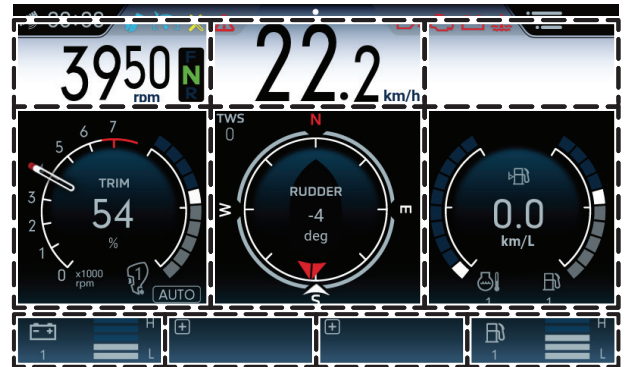


- (1) タコメータ
(2) エンジン番号
(3) トリム角度

情報表示画面の編集

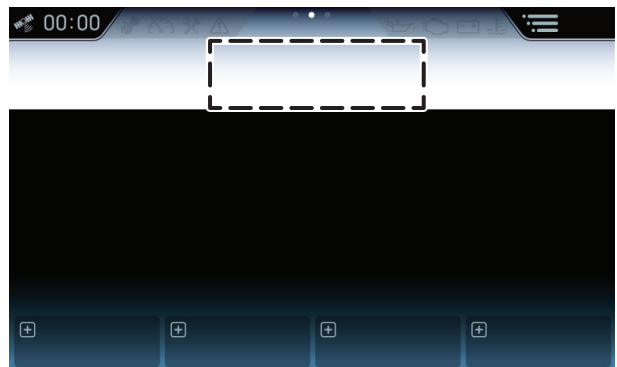
情報表示画面の各エリアを長押しすることで、表示項目を編集できます。編集するページを切り替えるにはスワイプしてください。編集した情報表示画面のレイアウトは最大5ページ保存できます。(P.44)

4基掛けの場合、1ページ目のみ上段と中段の表示項目は固定で編集できません。

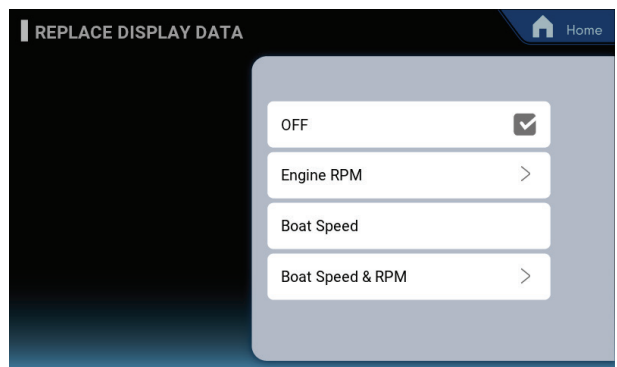


●デジタルメーターの編集


- 表示項目を編集したい箇所を長押しします。
 - ここでは例として、デジタルメーター2の表示内容の編集を説明します。

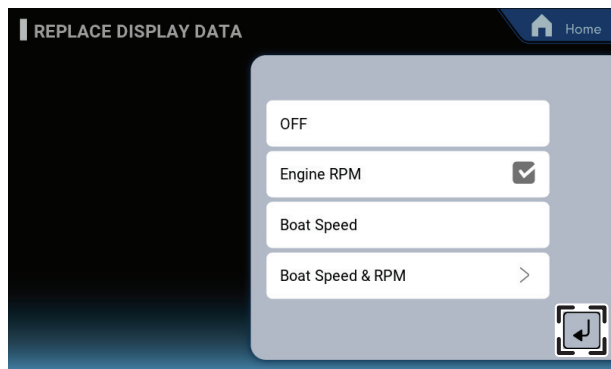


- 表示したい項目をタップします。



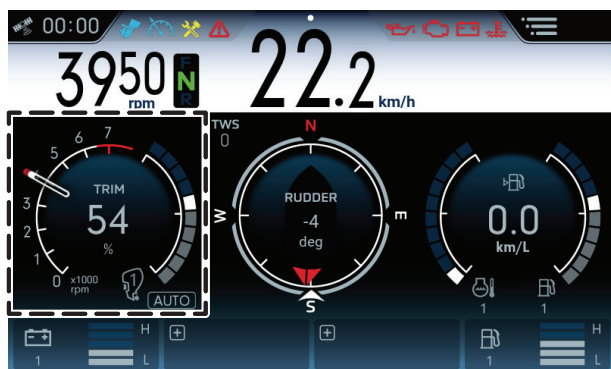
- 画面右上の **Home** をタップすると編集画面を閉じ、情報表示画面に戻ります。
- Engine RPM**、**Boat Speed & RPM** を選択した場合、続いてエンジン番号を選択します。
- デジタルメーター1と3はエンジン回転数のみ表示可能です。

3.  をタップします。

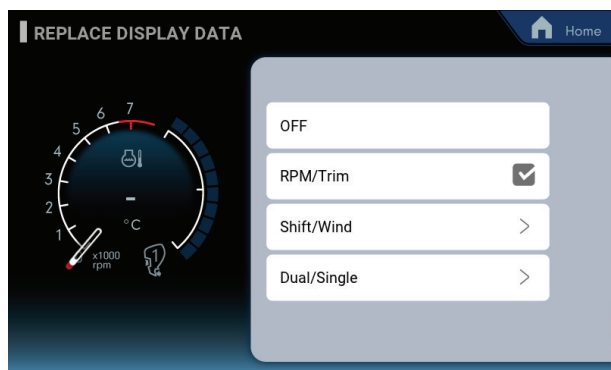


● カスタムサークルの編集

1. 表示項目を編集したい箇所を長押しします。





2. 表示形式をタップします。

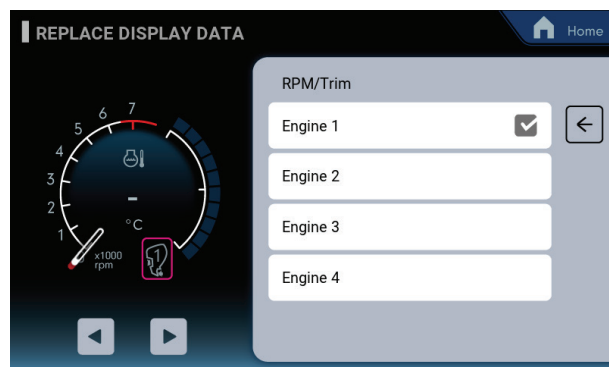


< RPM/Trim / エンジン情報表示 >

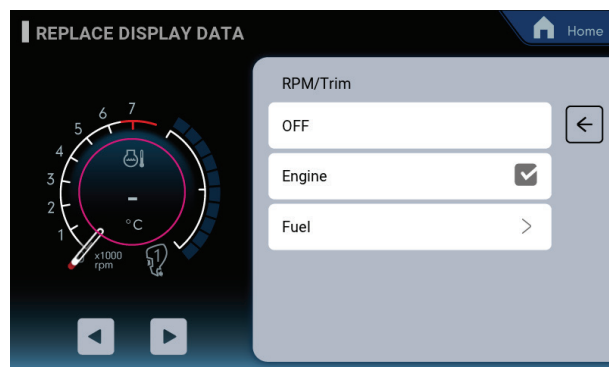
エンジン番号とセンターモニターに表示する項目を選択できます。

1. 表示したいエンジン番号をタップします。

  ボタンをタップすると、編集箇所を切り替えて編集できます。



2. 編集箇所がセンターモニターに切り替わったことを確認し、表示したい項目のカテゴリをタップします。

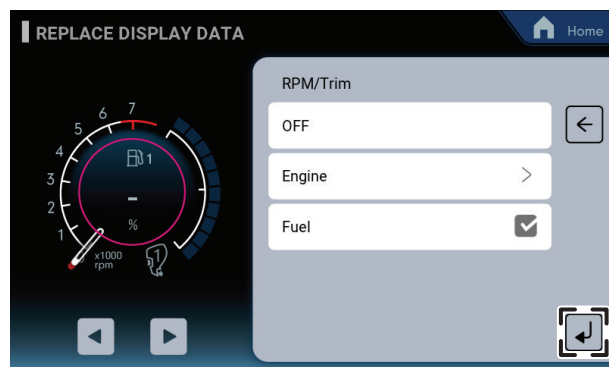


3. 表示したい項目をタップします。

- Fuel level を選択した場合、続いてタンク番号を選択します。
- 各カテゴリの項目については下記の表をご確認ください。

カテゴリ	項目
Engine	Trim / Boost Pressure / Temperature / Voltage / Engine Hours
Fuel	Fuel level (%) / Fuel level (L/Gal) / Fuel flow / Fuel economy

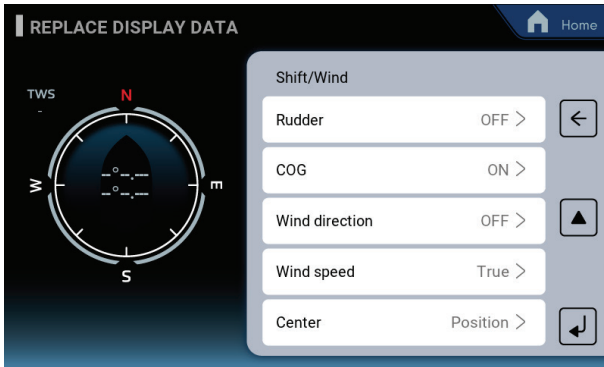
4. すべての項目を編集したら  をタップします。



< Shift/Wind / 航行補助情報表示 >

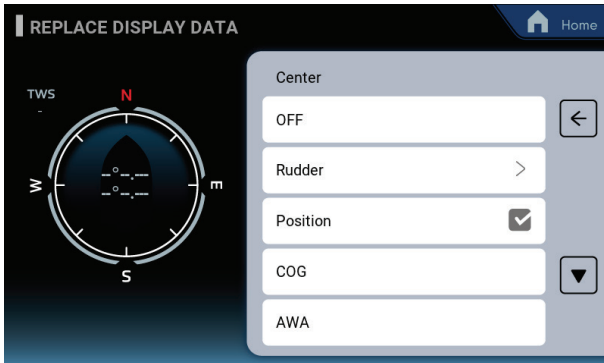
各項目の表示非表示とセンターモニターに表示する項目を選択できます。

1. 各項目をタップし、それぞれ **ON/OFF** を選択します。

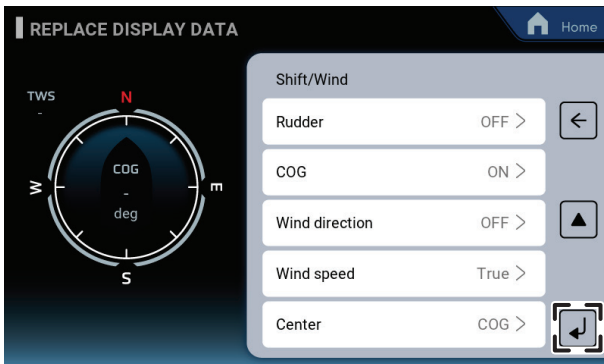


- **Wind direction** と **Wind speed** はそれぞれ「見かけの風向き / 風速 (**Apparent**)」と「真の風向き / 風速 (**True**)」のどちらを表示するか選択します。ボートが移動している場合、真の風と見かけの風は異なります。見かけの風を選択した場合、動いている船の上で感じる、風の方向・風速を表示します。船が止まっている場合は、真の風と同じになります。真の風を選択した場合、吹いている実際の風の方向・風速を表示します。

2. **Center** をタップしてセンターモニターに表示したい項目をタップします。



3. すべての項目を編集したら をタップします。



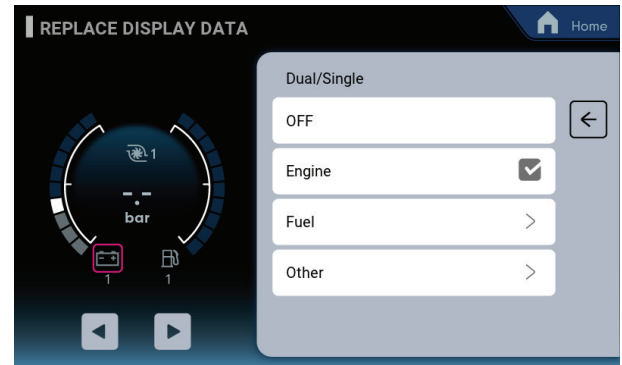
< Dual/Single / 燃料関連情報表示 >

左右のレベルゲージとセンターモニターに表示する項目を選択できます。

ここでは例として、左ゲージ、右ゲージ、センターモニターの順に編集方法を説明します。

1. 表示したいカテゴリをタップします。

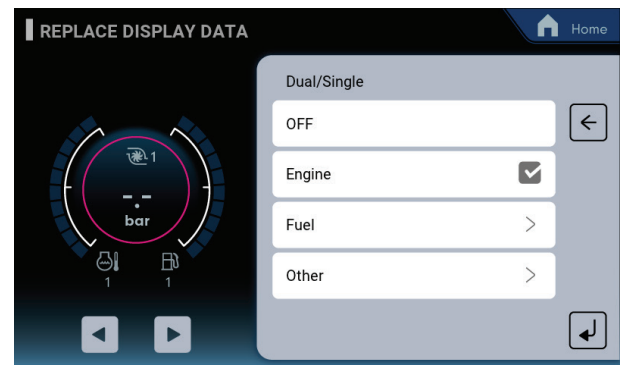
ボタンをタップすると、編集箇所を切り替えて編集できます。



2. 表示したい項目をタップし、エンジン番号またはタンク番号を選択します。
 - 各カテゴリの項目については下記の表をご確認ください。

カテゴリ	項目
Engine	Boost Pressure / Temperature / Voltage
Fuel	Fuel level (%) / Fuel flow
その他	Fresh water / Waste water

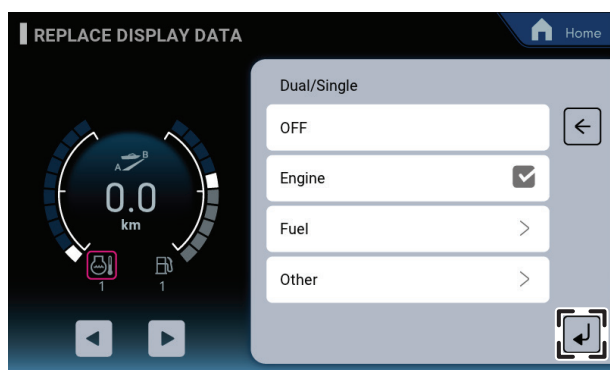
3. 編集箇所が右ゲージに切り替わったことを確認し、左ゲージと同様の手順で表示したい項目を設定します。
4. 編集箇所がセンターモニターに切り替わったことを確認し、表示したいカテゴリをタップします。



- 表示したい項目をタップします。
 - 選択した項目によって、続いてエンジン番号またはタンク番号を選択します。
 - 各カテゴリの項目については下記の表をご確認ください。

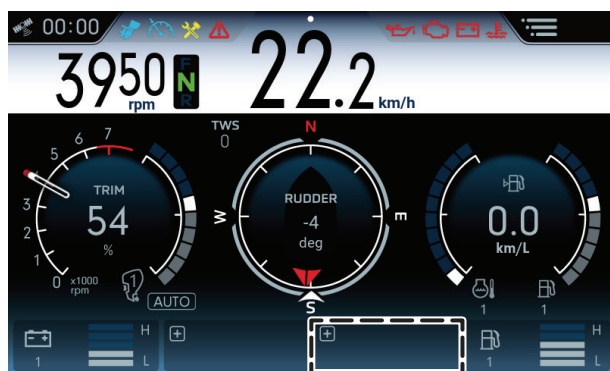
カテゴリ	項目
Engine	Boost Pressure / Temperature / Voltage
Fuel	Fuel level (%) / Fuel level (L/Gal) / Fuel flow / Remain time / Remain distance / Total fuel used / Fuel economy
その他	Trip distance / Trip time / Position / Depth / Seawater Temp / Air Temp / Atmos pressure / Roll / Pitch / Fresh water / Waste water

- すべての項目を編集したら  をタップします。

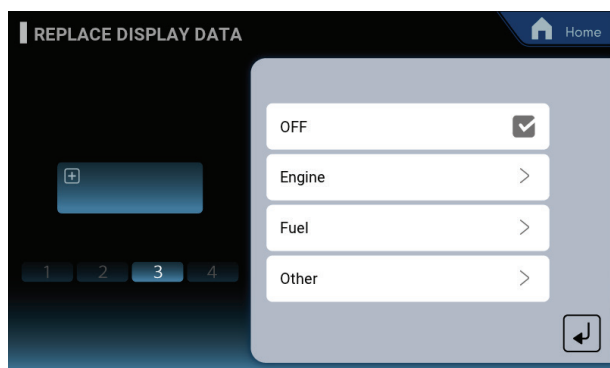


● カスタムゲージの編集

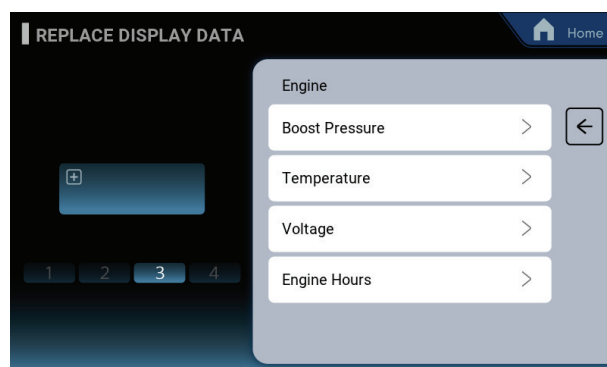
- 表示項目を編集したい箇所を長押しします。



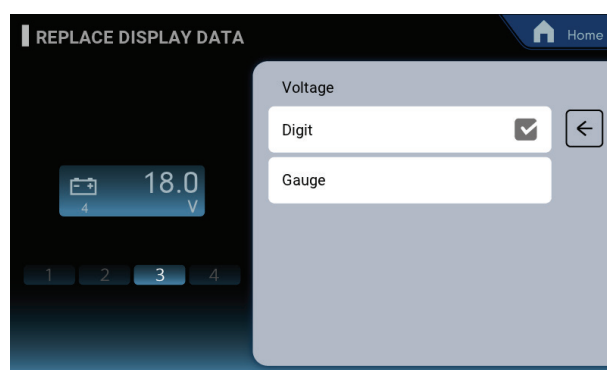
- 表示したいカテゴリをタップします。



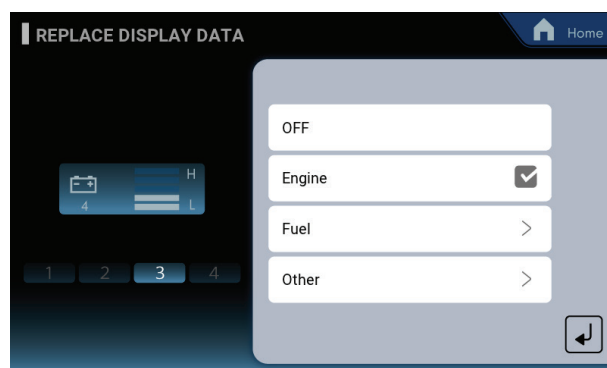
- 表示したい項目をタップします。
 - 選択した項目によって、続いてエンジン番号またはタンク番号を選択します。
 - ここでは例として、**Voltage** を選択した場合について説明します。



- 表示したい表示形式をタップします。



- すべての項目を編集したら  をタップします。



異常発生時の通知

エンジンに異常が発生した場合、異常通知ポップアップが表示されます。

異常通知ポップアップには、以下の内容が表示されます。

- ・異常が発生したエンジンの製品名、エンジン番号
- ・異常の種類、状態
- ・DTC (異常の内容)

※ 表示内容は発生した異常によって異なります。

※ 異常発生時の通知は、項目ごとに表示 **ON/OFF** を設定できます。(P.59)

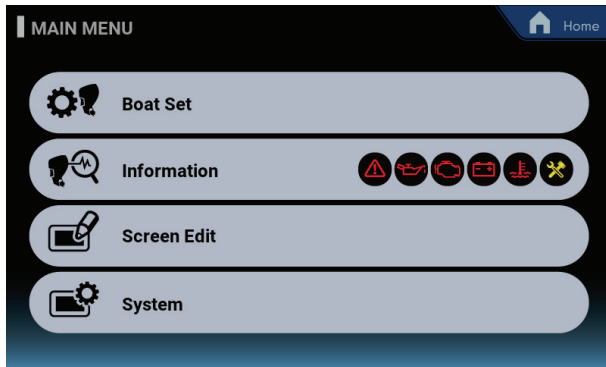
OK をタップすると、次の異常通知ポップアップを確認できます。また、すべての異常通知を確認した後は、情報表示画面が表示されます。

以下のように異常情報を確認できます。

- ・情報表示画面
ヘッダーに、異常を示すインジケータと Engine Check アラートが赤色に点灯します。

- ・MAIN MENU 画面

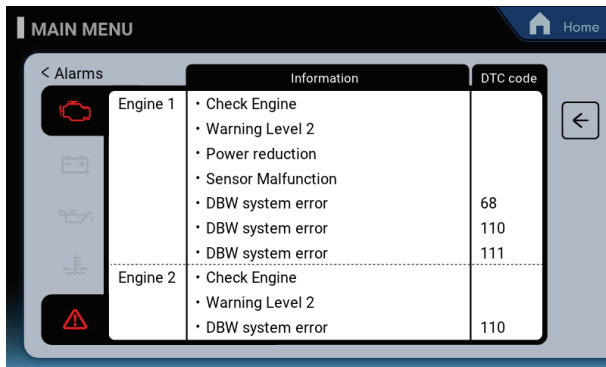
Information に異常を示すインジケータと Engine Check アラートが赤色に点灯します。



- ・エンジン警告画面

現在発生している警告内容を種別ごとにまとめて表示します。

また、異常を示すインジケータと Engine Check アラートが赤色に点灯します。



通知内容について

異常発生時に表示されるインジケータは 5 種類あります。

Check Engine

エンジン制御、セキュリティシステムの異常を通知します。

Charge Indicator

充電システムの異常を通知します。

Low Oil Pressure

エンジンの油圧異常を通知します。

Over Temperature

エンジンのオーバーヒートを通知します。

Engine Check

以下の状態を通知します。

- **Water in Fuel** … 燃料系統に水が混入した場合に通知します。
- **Rev Limit Exceeded** … エンジンの過回転を通知します。
- **Engine Emergency Stop Mode** … エマージェンシーストップスイッチの作動を通知します。
- **Warning Level 1、Warning Level 2** … 特に注意が必要な異常の時は **Warning Level 1**、それ以外の異常の時は **Warning Level 2** で通知します。
- **Power reduction** … エンジン回転数の制限時に通知します。
- **Sensor Malfunction** … センサーの故障を通知します。

また、DTC 通知がある場合、以下の通知も合わせて表示します。

- **FI system error** … エンジンの故障を通知します。
- **DBW system error** … DBW システムの故障を通知します。
- **Security system error** … セキュリティシステムの異常を通知します。
- **Security system low battery** … セキュリティシステムのバッテリー低下を通知します。

定期点検実施後のメンテナンス時期リセット方法

メンテナンス時期のリセット方法については、船外機本機の取扱説明書をご確認ください。

保管とお手入れ

水で濡らした布を固く絞り、外装とモニターを拭いてください。アルコール、ガソリン、洗剤などは使用しないでください。本体を傷めるおそれがあります。

製品を使用しない時は、同梱のサンカバーを被せてください。雨や直射日光にさらされないようにしてください。

仕様

	BF40 BF50 BF60	BF75 BF80 BF90 BF100	BF115 BF135 BF140 BF150 BF175 BF200 BF225 BF250 (メカモデル)	BF115 BF135 BF140 BF150 BF175 BF200 BF225 BF250 (DBW モデル)	BF350
エンジン情報表示	○	○	○	○	○
船速表示 燃料残量表示	○	○	○	○	○
異常発生時の通知	○	○	○	○	○
DTC (Diagnostic Trouble Code) 表示	-	○*	○*	○	○
サポートトリム・オートマチック チルト・クルーズコントロール表 示および設定	-	-	-	○*	○
メンテナンス残り時間表示	-	-	○*	○*	○
GPS 喪失通知	-	-	○*	○*	○

* 生産時期によっては対応しないことがあります。

電源	定格電圧：12V 動作電圧：10～16V
通信システム	NMEA2000
モニター	TFT 7.0 インチ
サイズ	縦：約 128 mm (サンカバー付き 約 132.5 mm) 横：約 220 mm (サンカバー付き 約 224.5 mm) 厚み：約 51.6 mm 取り付け部寸法：約 206 mm × 118 mm 取り付け部奥行き：約 46.6 mm
本体重量	約 860 g (サンカバー付き 約 932 g)
対応する船外機の数	最大 4 基
アナログセンサー	周波数：エンジン回転数 抵抗：トリム角度、貯水タンク量、ラダー角度、燃料残量 電圧：外部輝度 電流：燃料残量、貯水タンク量、廃水タンク量
VIDEO 入力	RCA PAL 形式 NTSC 形式

各種設定方法

情報表示画面で右上のメニューボタンをタップすると、MAIN MENU 画面が表示されます。

※ 非アクティブステーションのマルチファンクションディスプレイでは、**Boat Set** 画面の **Assist Function** と **Tilt/Trim Preset** がグレーアウトされ、設定できません。ディスプレイをアクティブステーションに設定してください。(P.55)

設定方法一覧

ここでは、お客様が設定したい内容から設定方法をご確認いただけます。

※ お使いのモデルによっては一部機能に対応していない場合があります。対応機能は仕様 (P.14) をご確認ください。

以下の機能を有効にするには、次の手順で設定が必要です。マニュアルをご確認の上、正しく設定して下さい。

- ・ トリムサポート機能を設定する : (9) > (1) > (4) > (3)
- ・ オートマチックチルト機能を設定する : (5) + (7) > (2)

※ 設定項目はディスプレイの並び順に沿っています。

※ 「(9) Trim Zero Set / トリムゼロセット」については、トリムセンサー補正のため、トリムサポートのご使用に関係なく必ず実施してください。

※ 以下のタイトル名をクリック/タップすると、該当ページを表示できます。



Boat Set ボート設定

(1)	Speed source / 速度ソース設定
(2)	Automatic Tilt / オートマチックチルト
(3)	Trim support / トリムサポート
(4)	Trim support setting / トリムサポート設定
(5)	Trim limit set / トリムリミット位置設定
(6)	Trim limit reset / トリムリミット位置初期化
(7)	Tilt limit set / チルトリミット位置設定
(8)	Tilt limit reset / チルトリミット位置初期化
(9)	Trim Zero Set / トリムゼロセット
(10)	Fuel Tank Preset / 燃料タンク設定
(11)	Sensor Configuration of Engine Connector / エンジンコネクタ接続のセンサー補正
(12)	Sensor Configuration of Wind / 風のセンサー補正
(13)	Sensor Configuration of Depth offset / 水深のセンサー補正
(14)	Sensor Configuration of Rudder offset / 舵角のセンサー補正
(15)	Sensor Configuration of Speed / 速度のセンサー補正



Information インフォメーション

(16)	Engine Warnings / 発生中エンジン異常情報確認
(17)	Sensor Alarms setting / センサーアラーム設定
(18)	Maintenance Reminder / メンテナンス時期確認
(19)	Boat / 船舶情報
(20)	NMEA2000 Device List / 接続中 NMEA2000 機器確認



Screen Edit 画面編集

(21)	Screen Layout / 表示画面設定
(22)	Boost Pressure / 吸入空気圧表示範囲設定
(23)	Engine temperature / エンジン温度表示範囲設定
(24)	Voltage / バッテリー電圧表示範囲設定
(25)	Fuel flow / 瞬時燃料消費量表示範囲設定



System システム設定

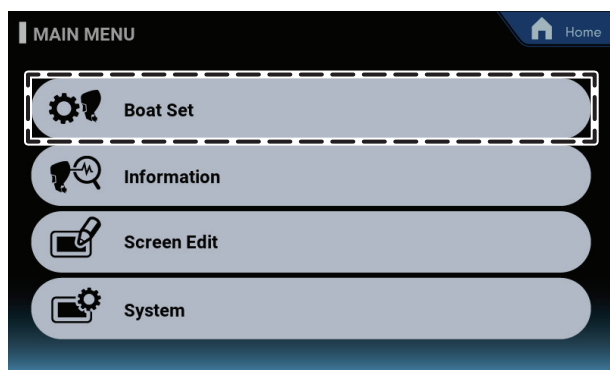
(26)	Brightness / 輝度設定
(27)	Background / 背景設定
(28)	Auto Day/Night switch / 背景切り替え感度設定
(29)	Touchscreen beep / 操作音設定
(30)	Units / 単位設定
(31)	Speed Display / 表示船速設定
(32)	Station / 取付ステーション設定
(33)	Language / 表示言語設定
(34)	Clock format / 時刻表示形式設定
(35)	Clock offset / 時刻オフセット設定
(36)	Pop-up Display / ポップアップ設定
(37)	EasyLink / EasyLink 設定
(38)	Demo Mode / デモモード設定
(39)	Reset Fuel Used / 総燃料消費量リセット
(40)	Reset Trip Distance / 総航行距離リセット
(41)	Reset Trip Time / 総航行時間リセット
(42)	Reset number of Engine / エンジン数リセット
(43)	Reset Factory / 工場出荷状態へリセット

(1) Speed source / 速度ソース設定

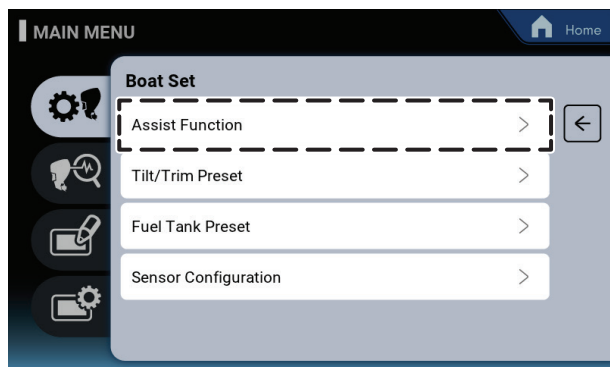
トリムサポート機能や、クルーズコントロール機能を使用する際の参照速度を船速（Boat Speed）と回転数（RPM）から設定できます。ただし、Boat Speed を選択する場合は、GPS 信号を受信している必要があります。

- **Boat Speed** 選択状態で GPS 信号が受信できなくなった場合は、設定が自動的に **RPM** へ切り替わります。この時トリムサポート機能とクルーズコントロール機能は解除されます。

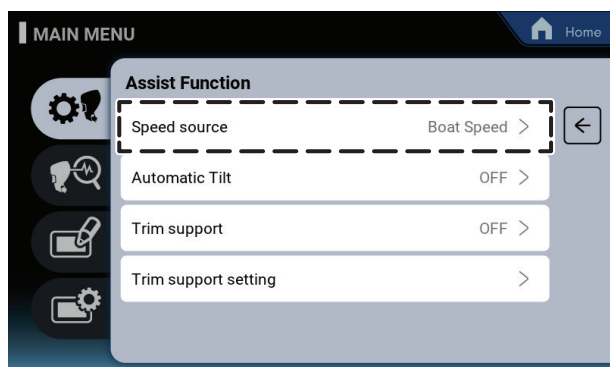
1. **Boat Set** をタップします。



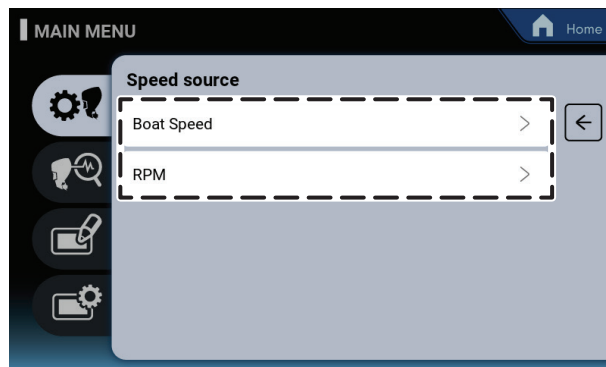
2. **Assist Function** をタップします。



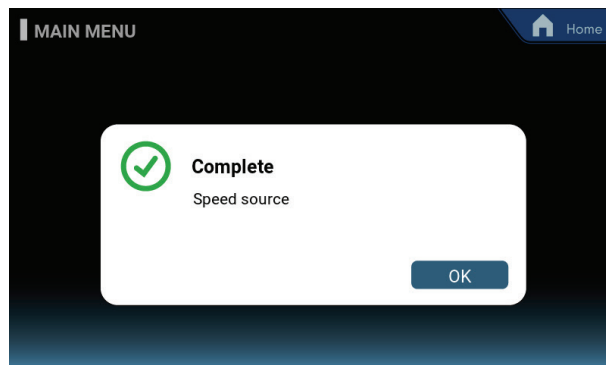
3. **Speed source** をタップします。



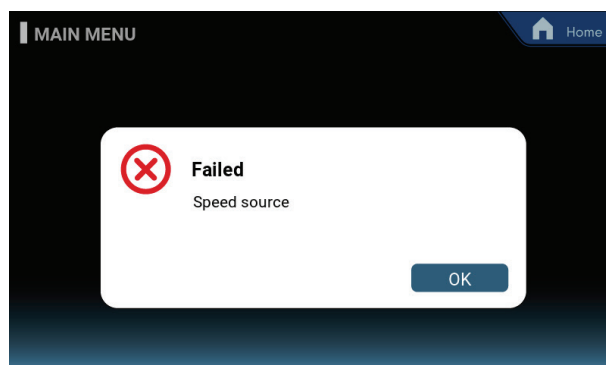
4. **Boat Speed** または **RPM** をタップします。



- **Speed source** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Speed source** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめから設定しなおしてください。



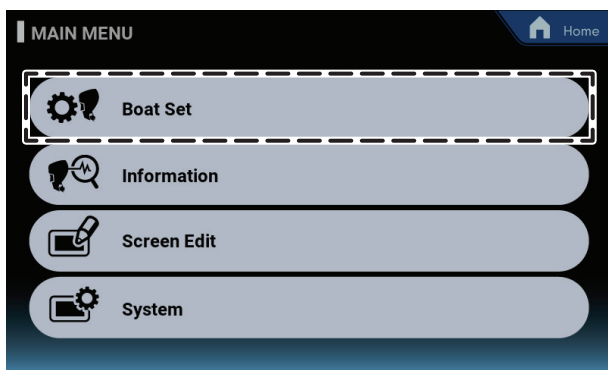
- GPS 信号を受信していない場合、**Speed source** の項目は **RPM** で固定され、変更できません。また、クルーズコントロール機能使用中は **Speed source** を変更できません。いずれも当てはまらない状態で **Speed source** を変更できない場合は、GPS システムの接続状況をご確認ください。

(2) Automatic Tilt / オートマチックチルト

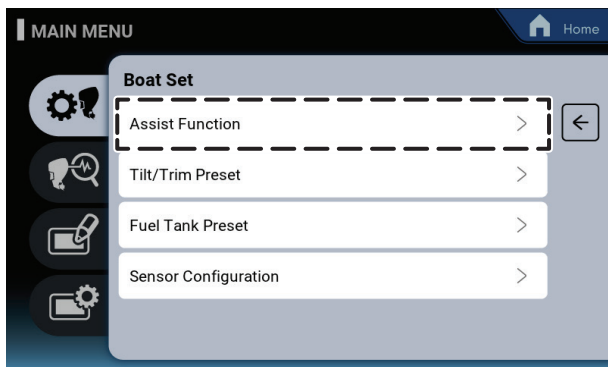
オートマチックチルト機能の ON/OFF を設定できます。
本機能を利用する場合は、事前に、以下の項目の設定が必要です。

- ・ チルトリミット位置設定（**Boat Set > Tilt/Trim Preset > Tilt limit set**）（P.25）
- ・ トリムリミット位置設定（**Boat Set > Tilt/Trim Preset > Trim limit set**）（P.23）
- ・ 以下の条件下では、**Automatic Tilt** がグレーアウトされ、設定できません。
 - チルトリミット位置設定未完了
 - トリムリミット位置設定未完了
 - エンジンがオートマチックチルト未対応
 - 船外機で異常発生中
 - DLC（販売店ツール）接続中

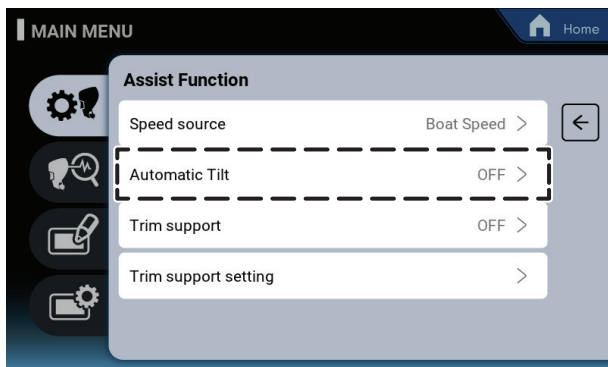
1. Boat Set をタップします。



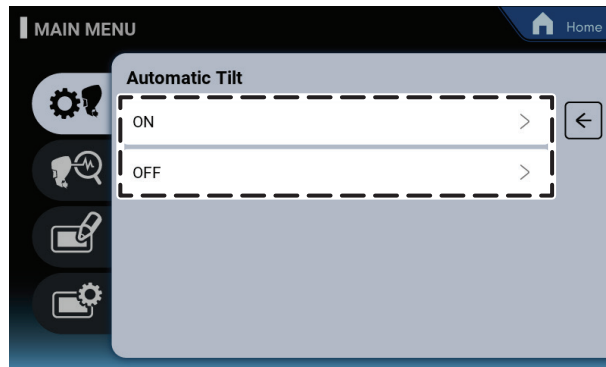
2. Assist Function をタップします。



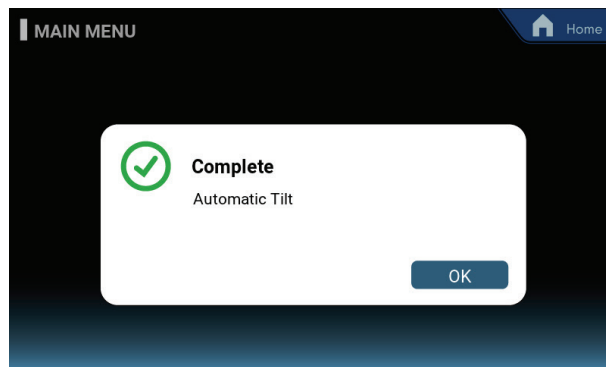
3. Automatic Tilt をタップします。



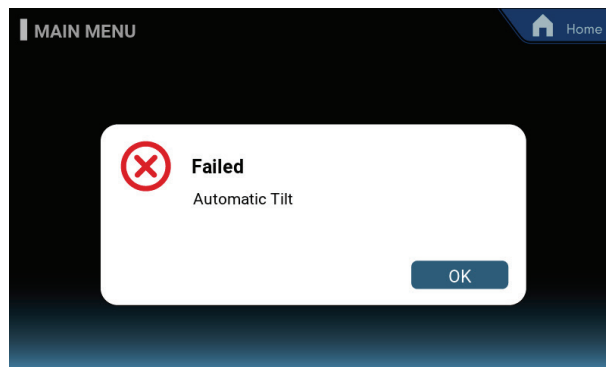
4. ON または OFF をタップします。



- ・ **Automatic Tilt** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- ・ **Automatic Tilt** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめから設定しなおしてください。



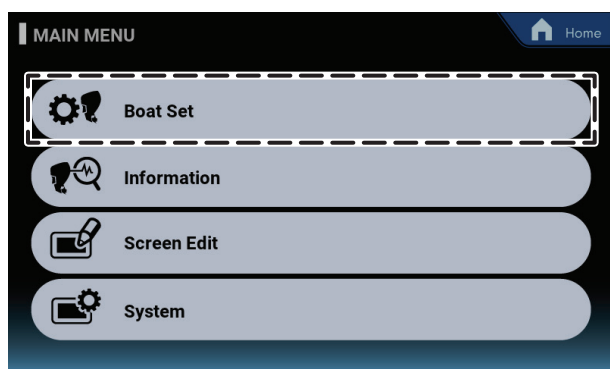
(3) Trim support / トリムサポート

トリムサポート機能の ON/OFF を設定できます。
本機能を利用する場合は事前に、以下の項目の設定が必要です。

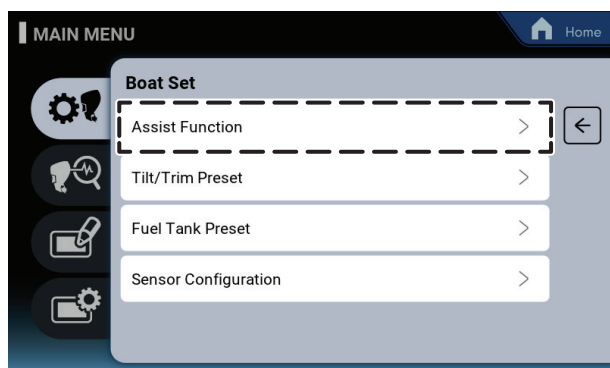
- トリムゼロセット (**Boat Set > Tilt/Trim Preset > Trim Zero Set**) (P.27)
- トリムサポート設定 (**Boat Set > Assist Function > Trim support setting**) (P.19)
- 速度ソース設定 (**Boat Set > Assist Function > Speed source**) (P.16)

- 以下の条件下では、**Trim support** がグレーアウトされ、設定できません。
 - トリムゼロセット未完了
 - エンジンがトリムサポート未対応
 - 船外機で異常発生中

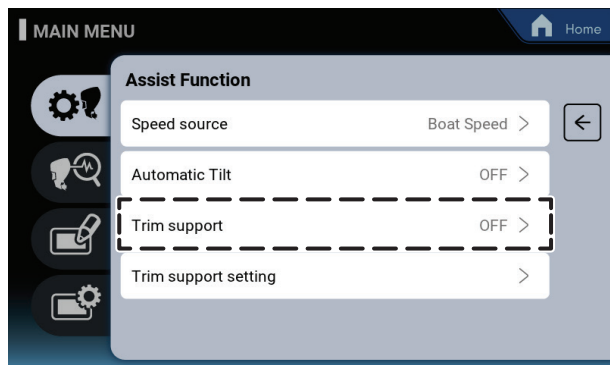
1. **Boat Set** をタップします。



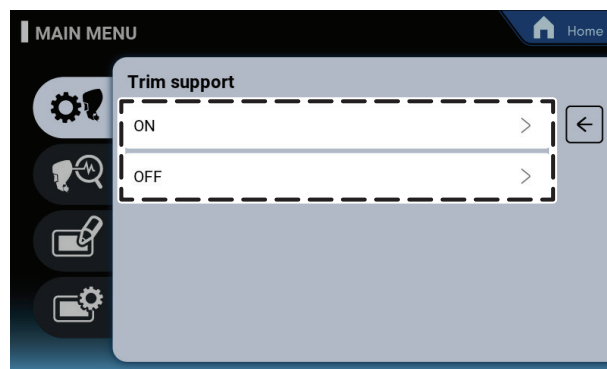
2. **Assist Function** をタップします。



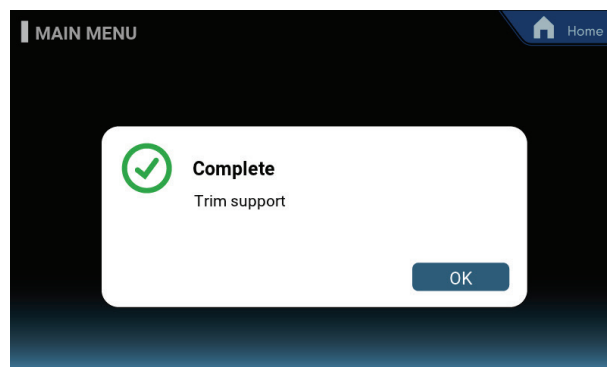
3. **Trim support** をタップします。



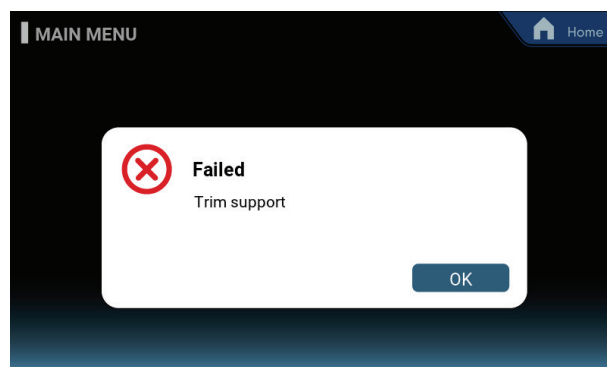
4. **ON** または **OFF** をタップします。



- **Trim support** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Trim support** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめてから設定しなおしてください。



(4) Trim support setting / トリムサポート設定

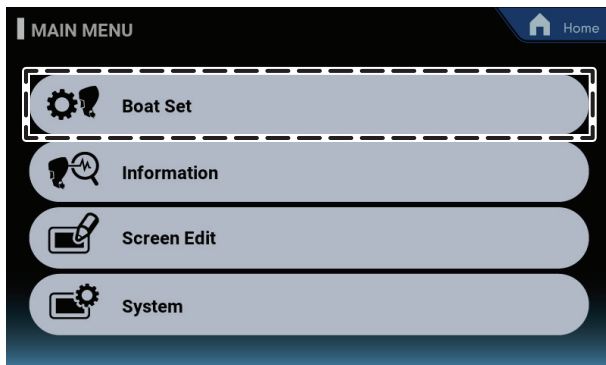
トリムサポート機能に関する設定ができます。

● 対象エンジンの選択 > パターン設定 > パターン調整

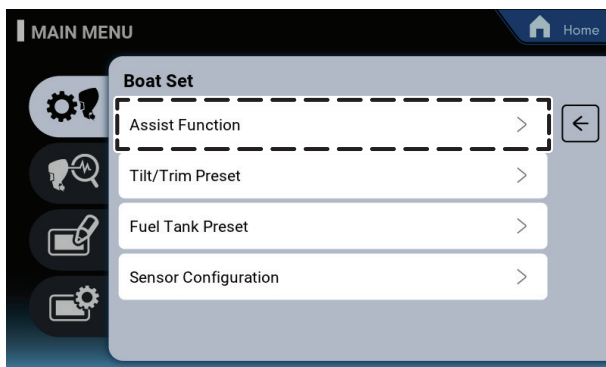
パターンの選択と調整を行う対象のエンジンを **All** または個別に選択できます。トリムサポート使用時に適用されるパターン設定や、その調整を行う際には、まず設定するエンジンを選択してください。

- 以下の条件下では、**Pattern** がグレーアウトされ、設定できません。
 - **Trim support** が **ON** (P.18)

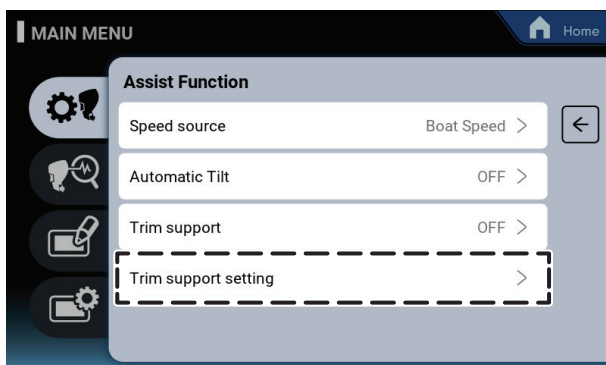
1. Boat Set をタップします。



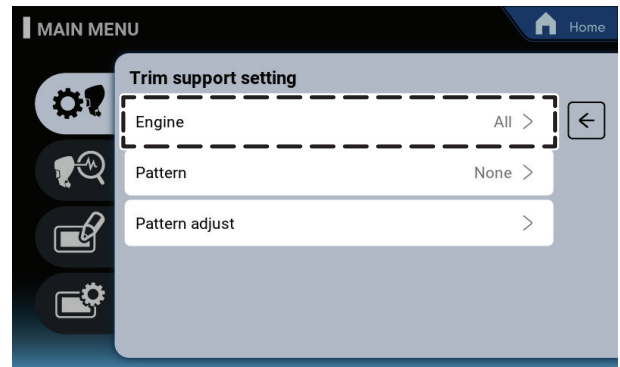
2. Assist Function をタップします。



3. Trim support setting をタップします。

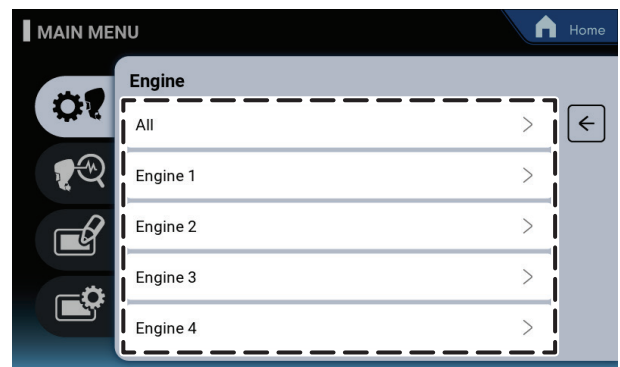


4. Engine をタップします。



5. 設定を行うエンジンをタップします。

- All** を選択した場合、トリムサポート機能使用時のパターン設定を一括で行います。
- 個別エンジンを選択した場合、トリムサポート機能使用時のパターン設定を個別で行います。

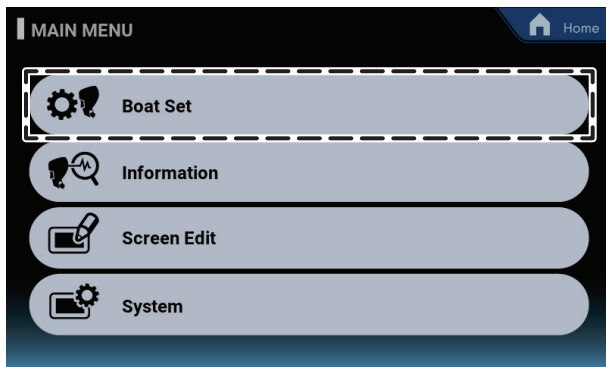


● 対象エンジンの選択 > パターン設定 > パターン調整

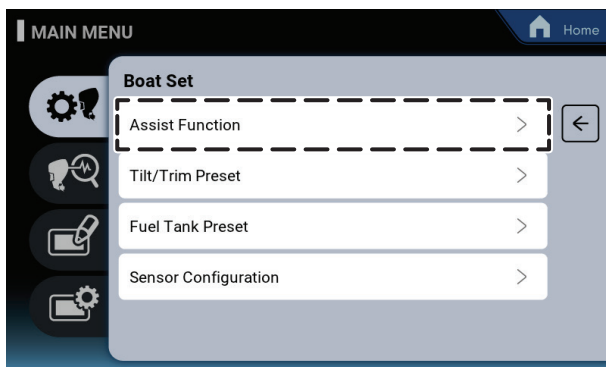
トリムサポート使用時に適用されるパターンを **None**、**Pattern 1**、**Pattern 2**、**Pattern 3** から選択できます。

- **None** を選択すると、お客様の好みに合わせた調整が可能です。
- **Pattern 1** ~ **Pattern 3** は各船速または回転数に応じたトリム角が設定されています。
- 以下の条件下では、**Pattern** がグレーアウトされ、設定できません。
 - **Trim support** が **ON** (P.18)
 - エンジンがトリムサポート未対応
 - 船外機で異常発生中

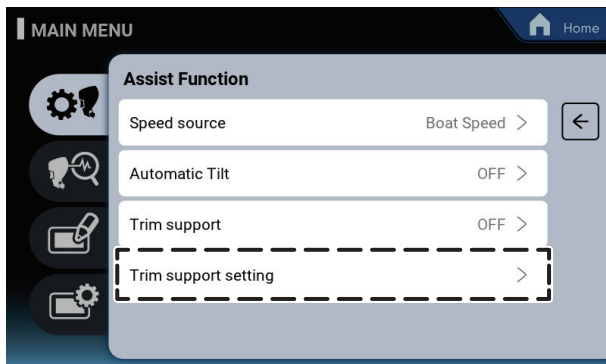
1. Boat Set をタップします。



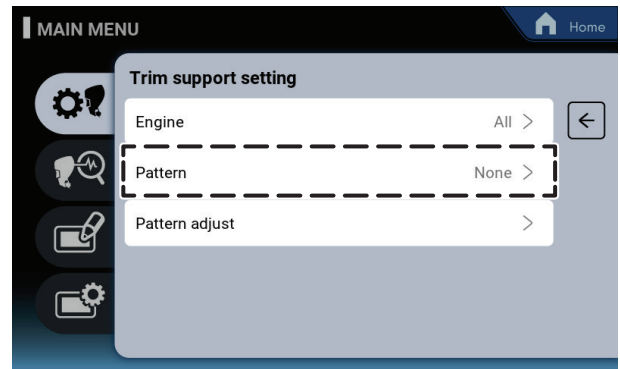
2. Assist Function をタップします。



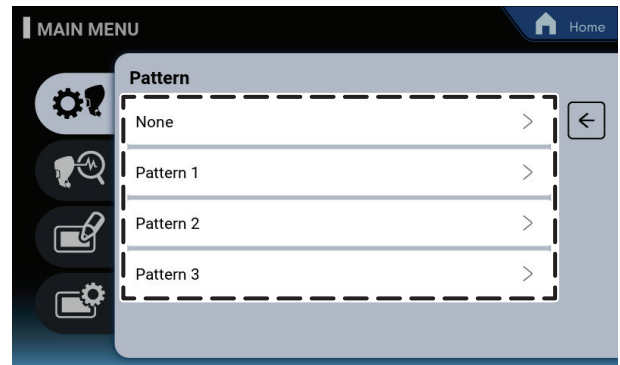
3. Trim support setting をタップします。



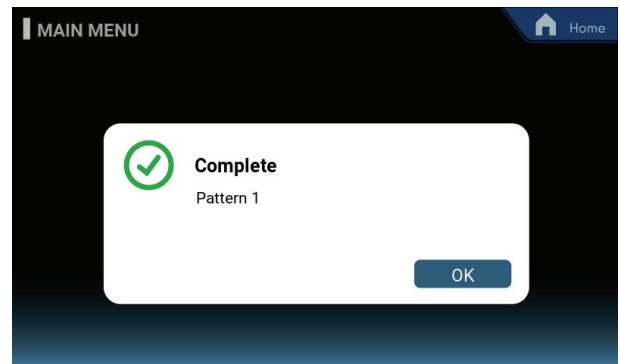
4. Pattern をタップします。



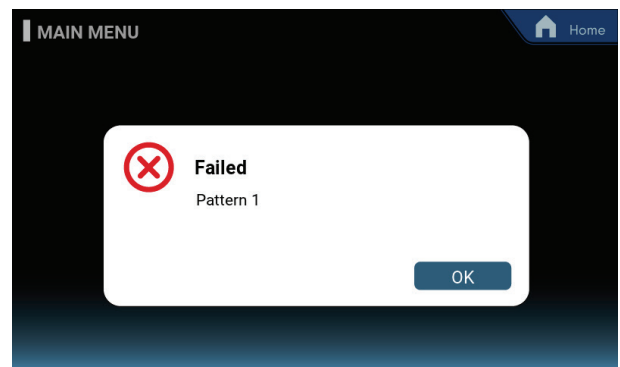
5. 任意のパターンをタップします。



- **Pattern** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Pattern** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめてから設定しなおしてください。

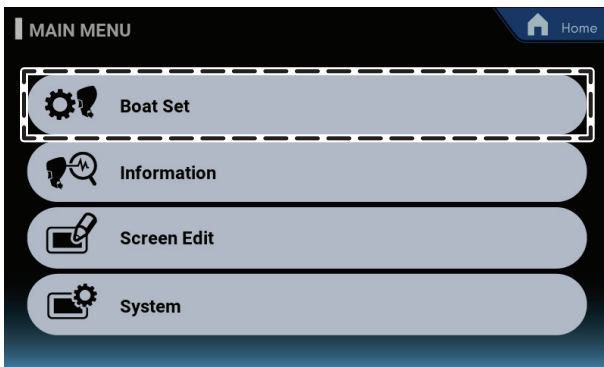


● 対象エンジンの選択 > パターン設定 > パターン調整

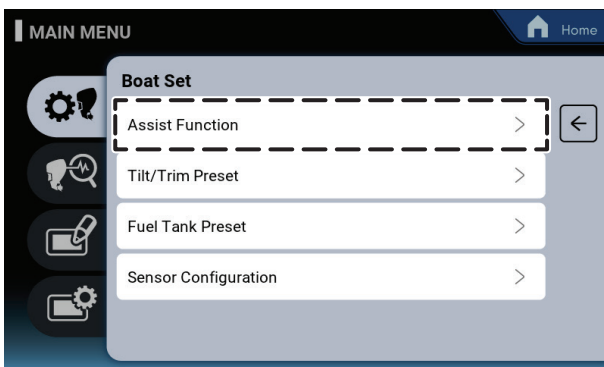
「パターン設定」で選択した **Pattern** の値を調整できます。

- **None** を選択した場合、各 **Pattern** の値を調整してください。
- **Pattern 1 ~ Pattern 3** を選択した場合は、各船速または回転数に応じたトリム角が設定されています。必要に応じて **Pattern** の値を調整してください。
- 以下の条件下では、**Pattern adjust** がグレースアウトされ、設定できません。
 - **Trim support** が **ON** (P.18)
 - エンジンがトリムサポート未対応
 - 船外機で異常発生中

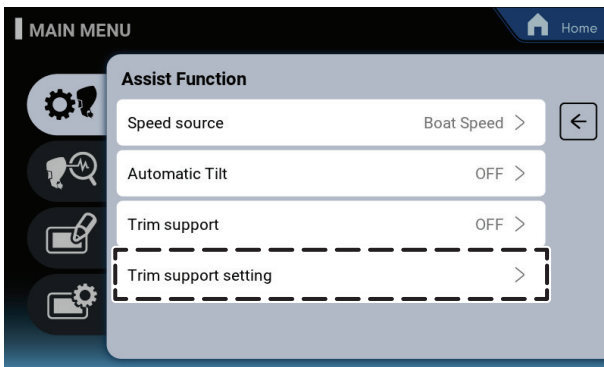
1. **Boat Set** をタップします。



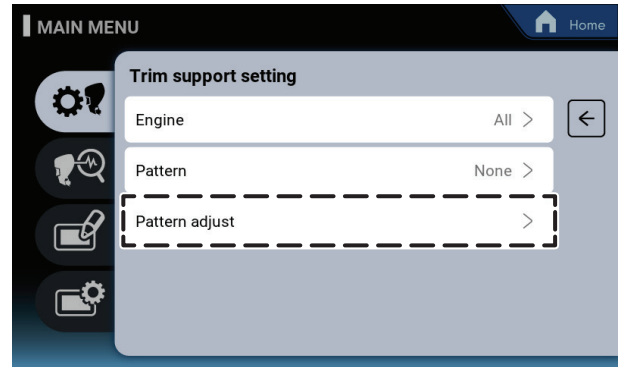
2. **Assist Function** をタップします。



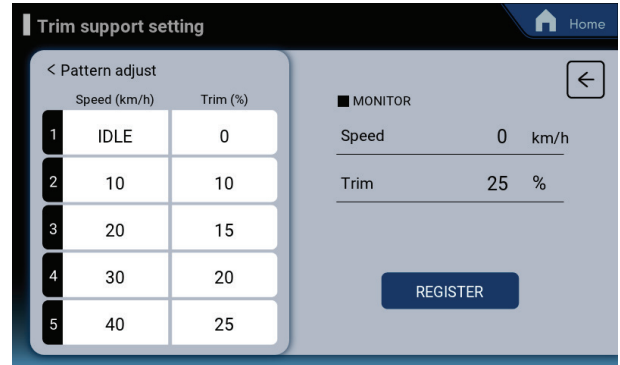
3. **Trim support setting** をタップします。



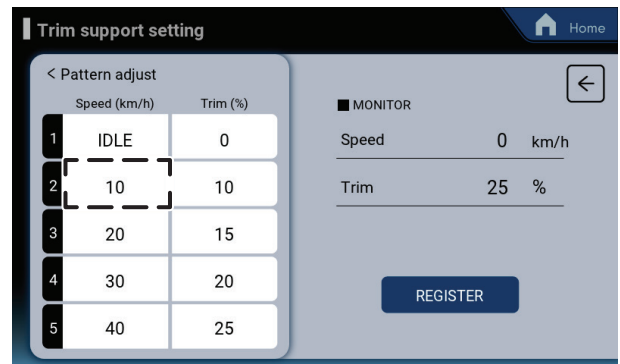
4. **Pattern adjust** をタップします。



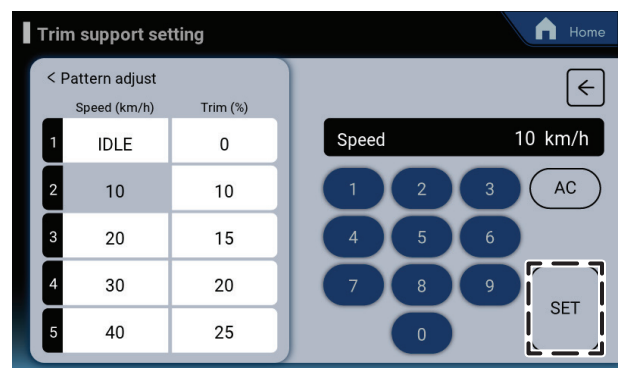
- 選択されている **Speed source**、**Engine**、**Pattern** に基づいて、現在の設定値が表示されます。



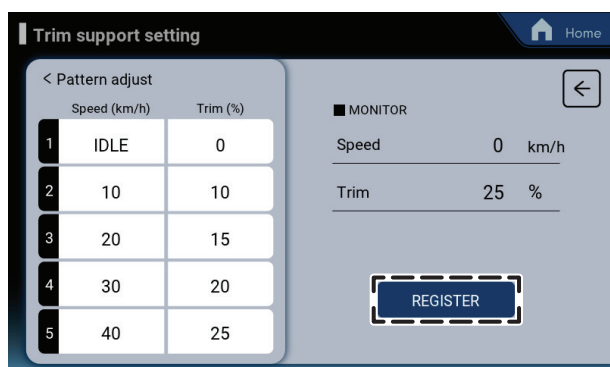
5. 値を調整したい項目をタップします。



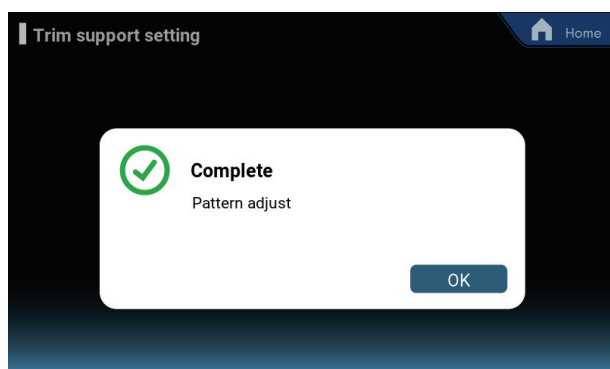
- 6. キーボードをタップして回転数または船速、トリム角をそれぞれ設定し、**SET** をタップします。



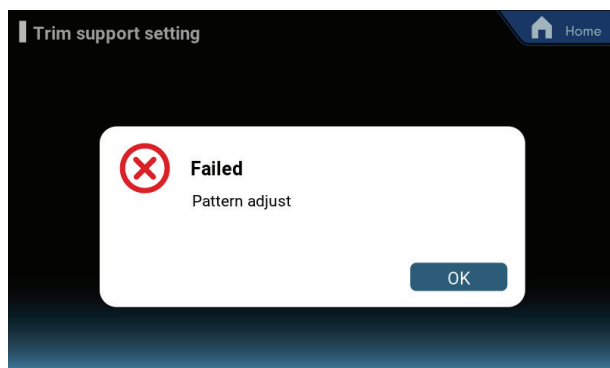
7. すべての回転数または船速、トリム角を設定後、**REGISTER** をタップします。



- **Pattern adjust** が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Pattern adjust** が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめから設定しなおしてください。



- 初期設定に戻したい場合は、現在選択中とは別の**Pattern** を選択してください。次回選択時は常に値が初期化されます。

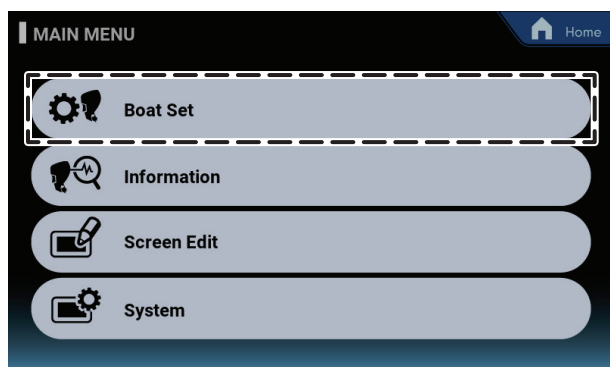
(5) Trim limit set / トリムリミット位置設定

トリムリミット位置（トリム下限位置）を設定できます。
事前にトリムゼロセットを行ってください。（P.27）

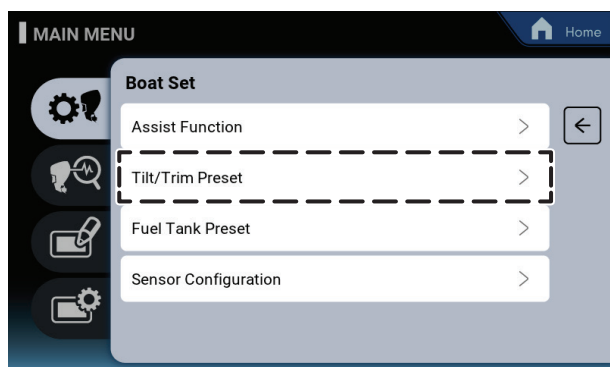
- 以下の条件下では、**Trim limit set** がグレーアウトされ、設定できません。
 - エンジン運転中
 - トリムチルトアングルセンサー故障時
 - 船外機角度がチルト域
 - DLC（販売店ツール）接続中

1. パワートリム／チルトスイッチを押して、船外機角度をトリム域の位置にします。

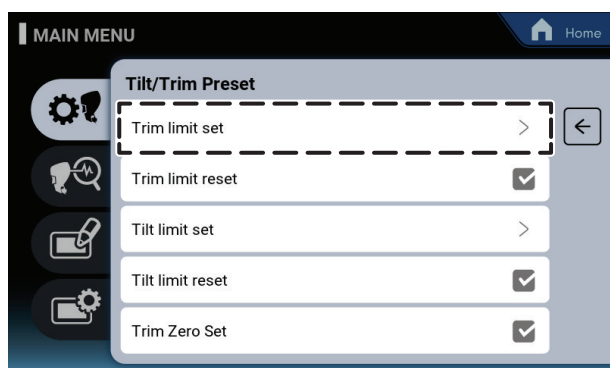
2. **Boat Set** をタップします。



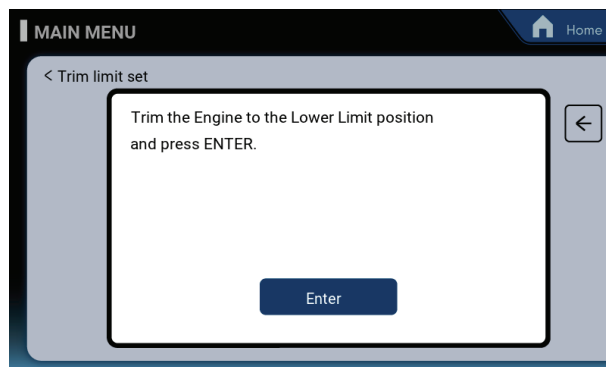
3. **Tilt/Trim Preset** をタップします。



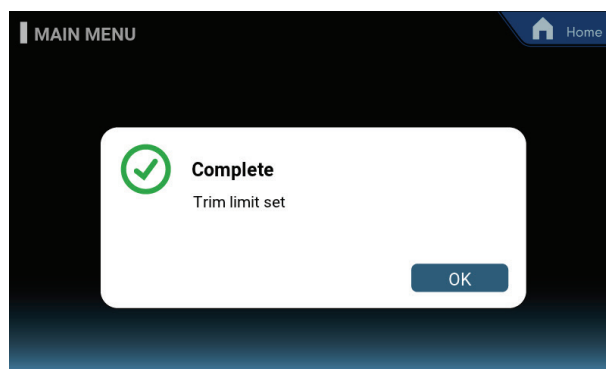
4. **Trim limit set** をタップします。



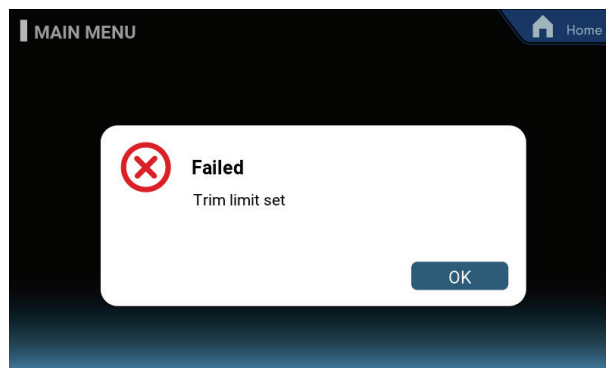
5. パワートリム／チルトスイッチを押して船外機をお好みのトリム位置まで下げ、**Enter** をタップします。



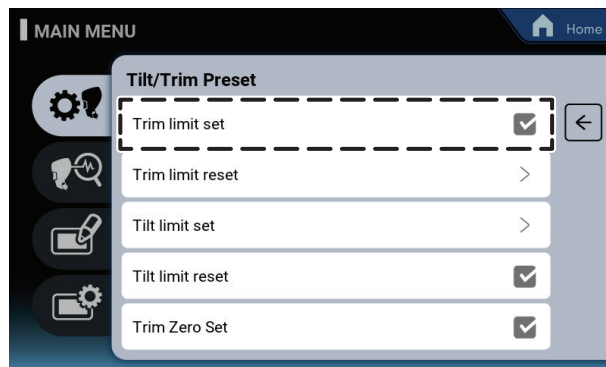
• **Trim limit set** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



• **Trim limit set** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順4からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめてから設定しなおしてください。



• 設定が完了すると **Trim limit set** の横に が表示されます。

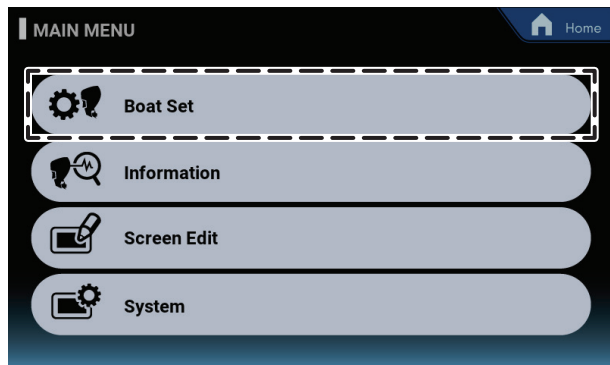


(6) Trim limit reset / トリムリミット位置初期化

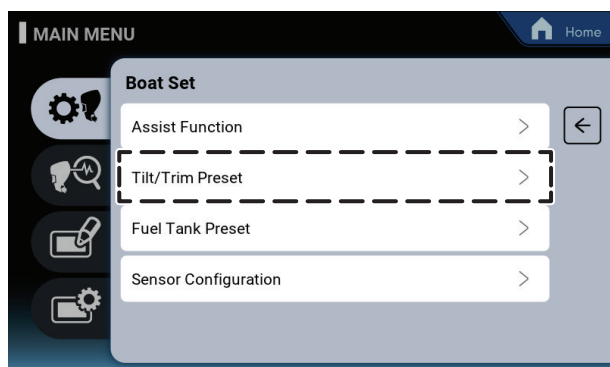
トリムリミット位置（トリム下限位置）を初期化できます。

- 以下の条件下では、**Trim limit reset** がグレーアウトされ、設定できません。
 - エンジン運転中
 - トリムチルトアングルセンサー故障時
 - DLC（販売店ツール）接続中

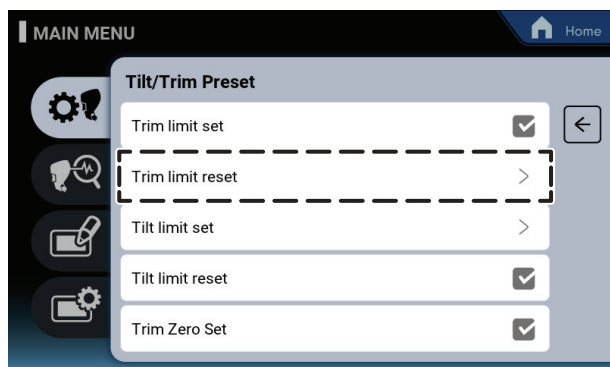
1. Boat Set をタップします。



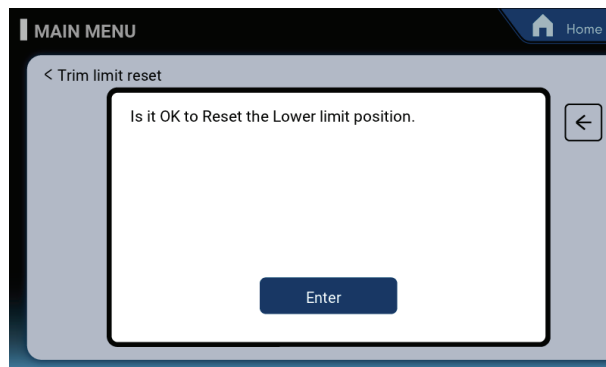
2. Tilt/Trim Preset をタップします。



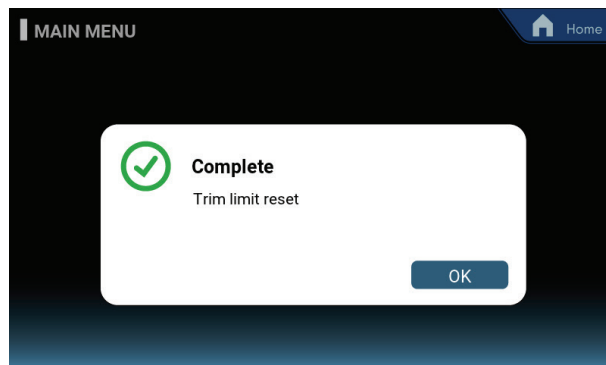
3. Trim limit reset をタップします。



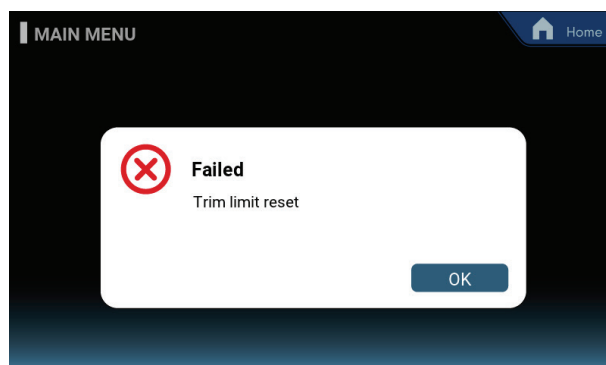
4. Enter をタップします。



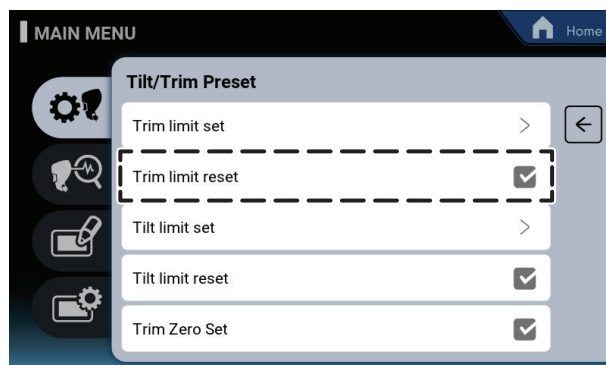
- **Trim limit reset** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Trim limit reset** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめから設定しなおしてください。



- 初期化が完了すると **Trim limit reset** の横に が表示されます。



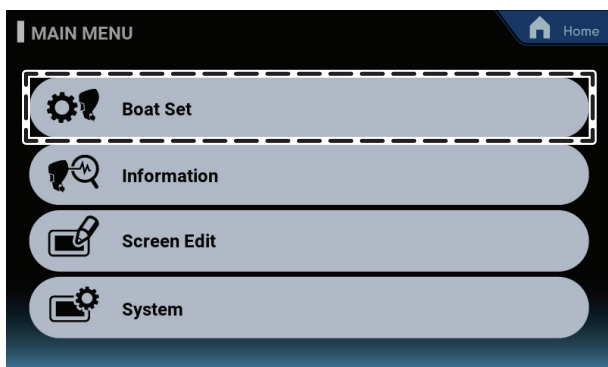
(7) Tilt limit set / チルトリミット位置設定

チルトリミット位置（チルト上限位置）を設定できます。
事前にトリムゼロセットを行ってください。（P.27）

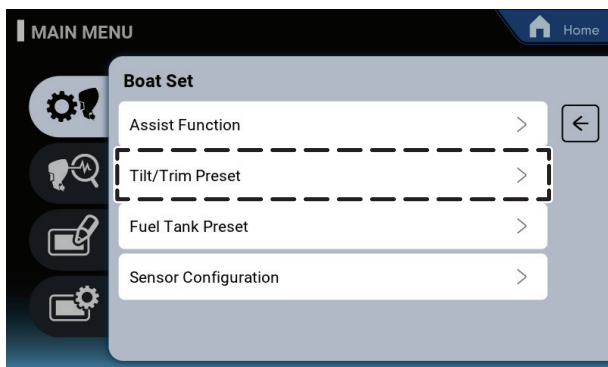
- 以下の条件下では、**Tilt limit set** がグレーアウトされ、設定できません。
 - エンジン運転中
 - トリムチルトアングルセンサー故障時
 - 船外機角度がトリム域
 - DLC（販売店ツール）接続中

1. パワートリム／チルトスイッチを押して、船外機角度をチルト域の位置にします。

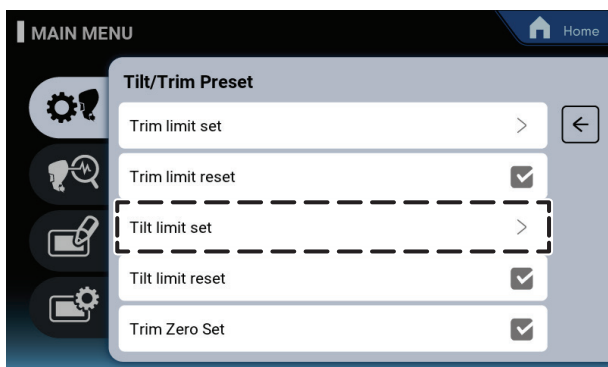
2. **Boat Set** をタップします。



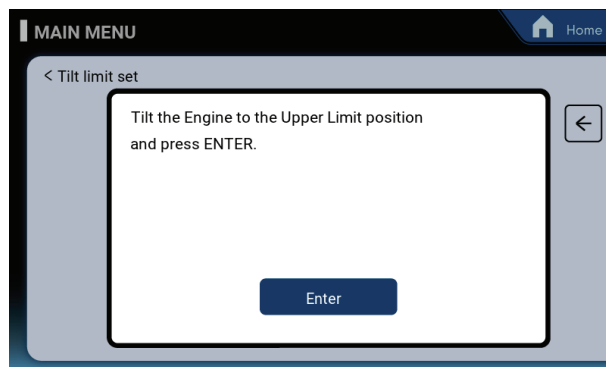
3. **Tilt/Trim Preset** をタップします。



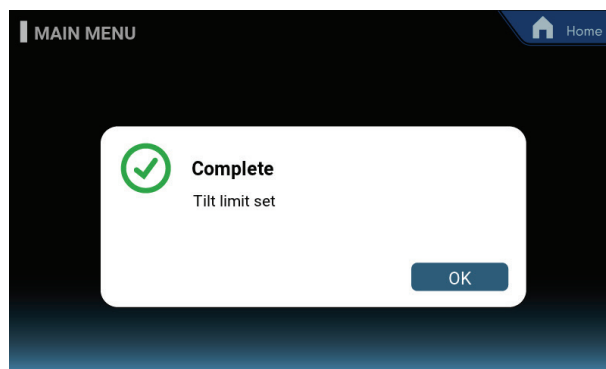
4. **Tilt limit set** をタップします。



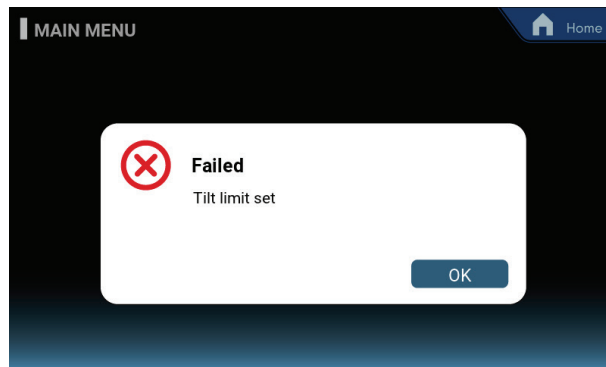
5. パワートリム／チルトスイッチを押して船外機をお好みのチルト位置まで上げ、**Enter** をタップします。



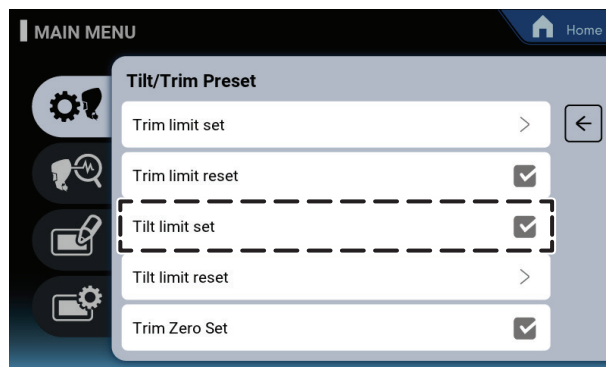
• **Tilt limit set** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



• **Tilt limit set** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順4からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめから設定しなおしてください。



• 設定が完了すると **Tilt limit set** の横に が表示されます。

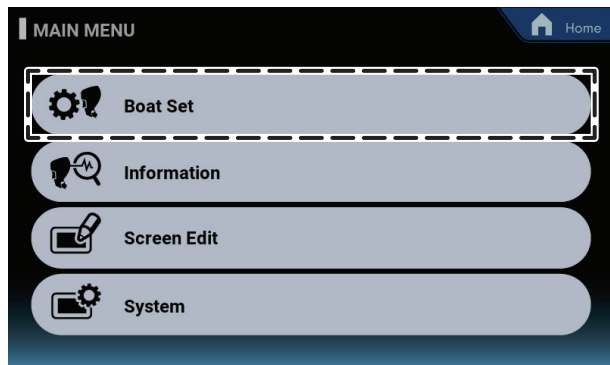


(8) Tilt limit reset / チルトリミット位置初期化

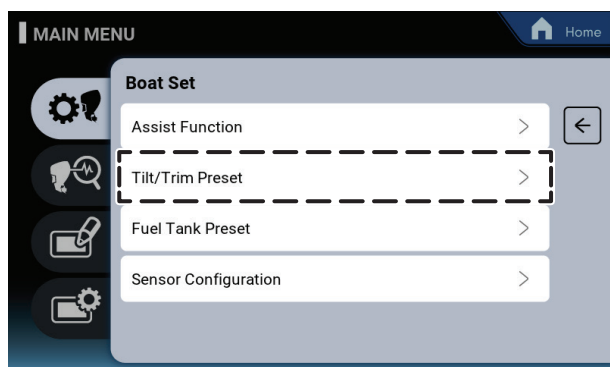
チルトリミット位置（チルト上限位置）を初期化できます。

- 以下の条件下では、**Tilt limit reset** がグレーアウトされ、設定できません。
 - エンジン運転中
 - トリムチルトアングルセンサー故障時
 - DLC（販売店ツール）接続中

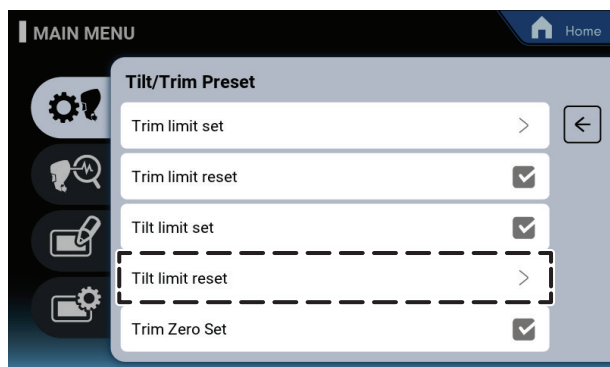
1. **Boat Set** をタップします。



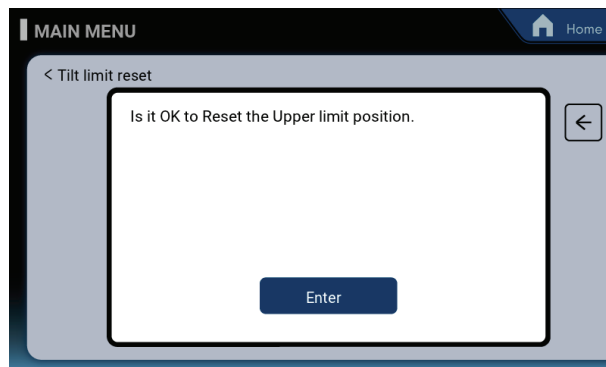
2. **Tilt/Trim Preset** をタップします。



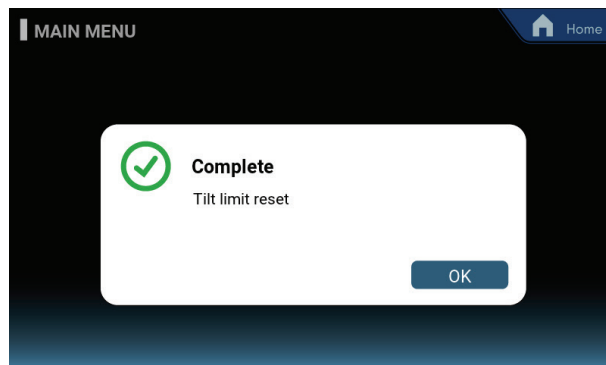
3. **Tilt limit reset** をタップします。



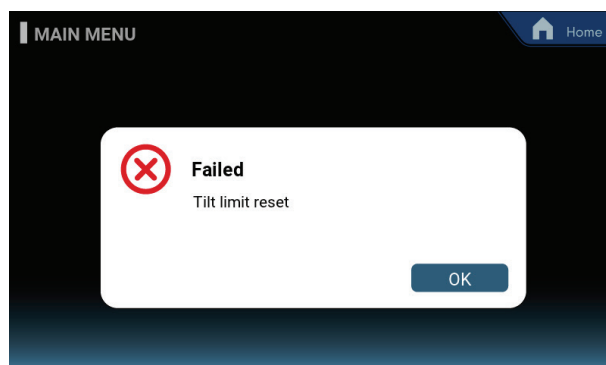
4. **Enter** をタップします。



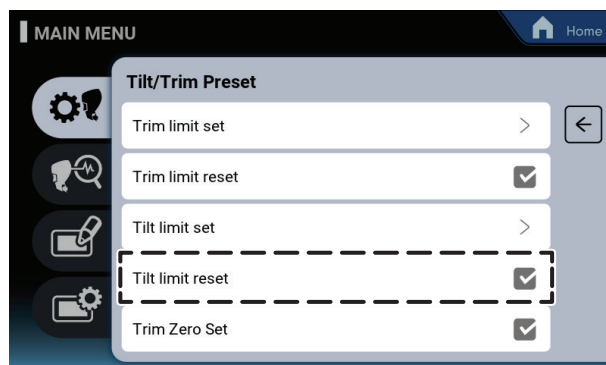
- **Tilt limit reset** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



- **Tilt limit reset** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順3からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめてから設定しなおしてください。



- 初期化が完了すると **Tilt limit reset** の横に が表示されます。



(9) Trim Zero Set / トリムゼロセット

トリムフルダウン位置を設定することで、トリムセンサーの補正を行います。

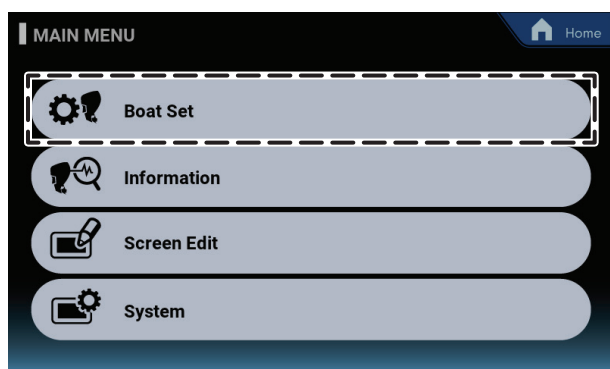
トリムサポート機能を使用するには、必ず **Trim Zero Set** を設定してください。

トリムゼロセットを再設定した場合は、チルトリミット位置設定 (P.25)、トリムリミット位置設定 (P.23) も再度設定してください。

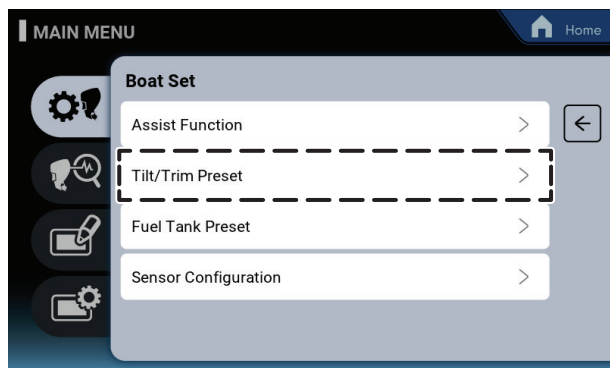
- 以下の条件下では、**Trim Zero Set** がグレースアウトされ、設定できません。
 - エンジン運転中
 - トリムチルトアングルセンサー故障時
 - 船外機角度がフルダウンでない時
 - DLC (販売店ツール) 接続中

1. パワートリム/チルトスイッチを押して、船外機をトリムフルダウン位置まで下げます。

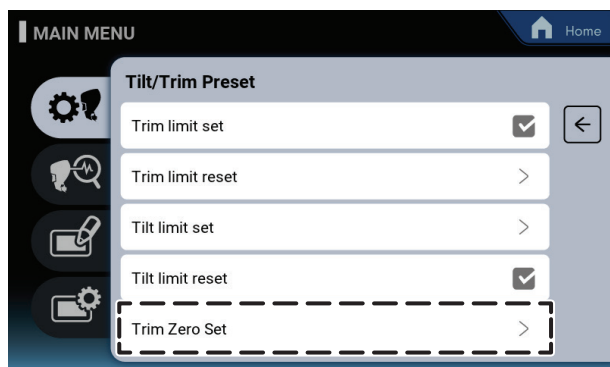
2. **Boat Set** をタップします。



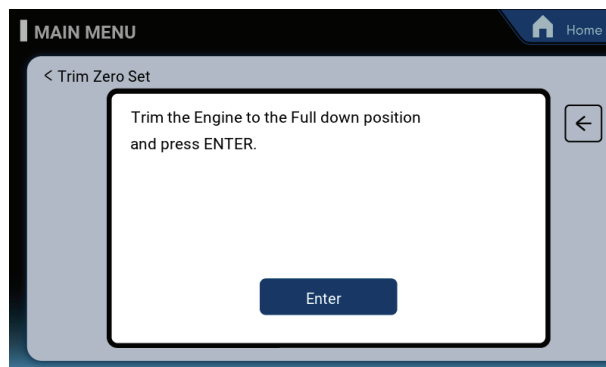
3. **Tilt/Trim Preset** をタップします。



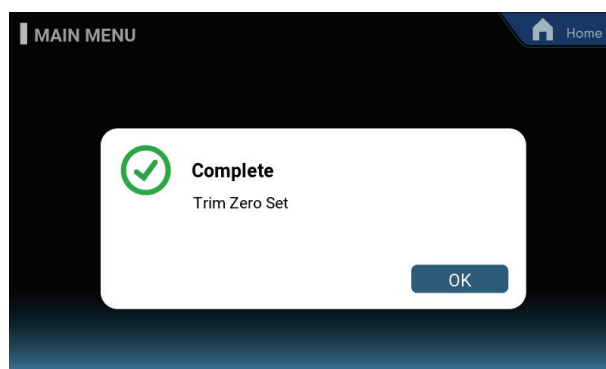
4. **Trim Zero Set** をタップします。



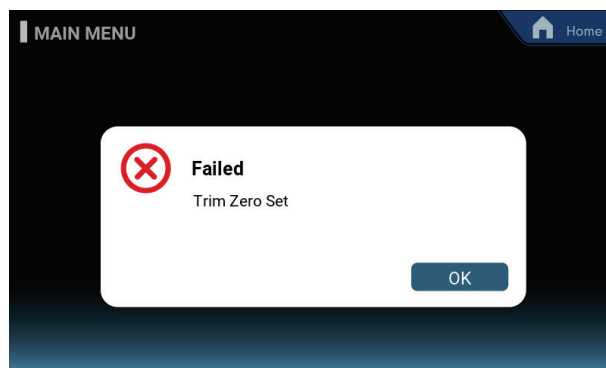
5. 船外機がトリムフルダウン位置に下がっていることを確認し、**Enter** をタップします。



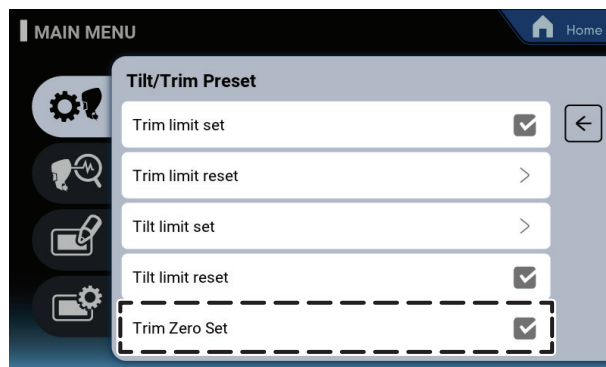
• **Trim Zero Set** の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



• **Trim Zero Set** の設定が完了しなかった場合、**Failed** とポップアップが表示されます。**OK** をタップして手順4からやりなおすか、**Home** をタップしてはじめてから設定しなおしてください。



• 初期化が完了すると **Trim Zero Set** の横に が表示されます。

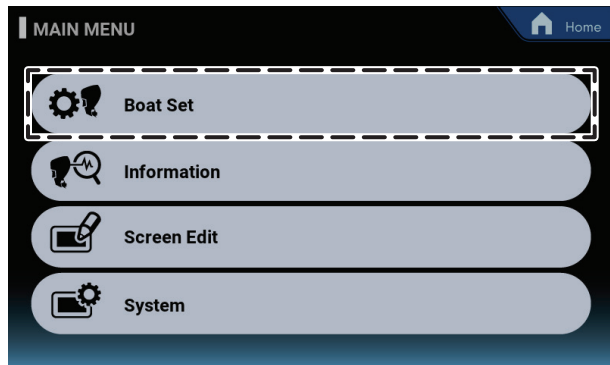


(10) Fuel Tank Preset / 燃料タンク設定

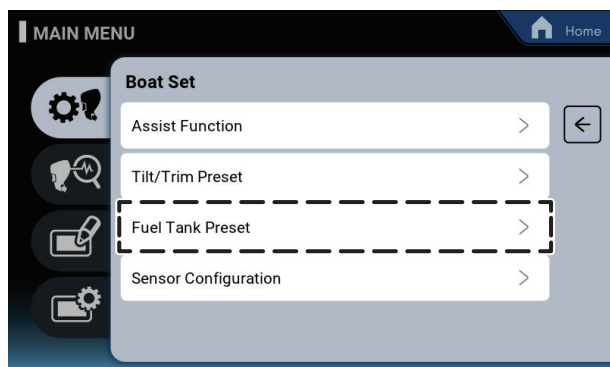
燃料タンク設定では、最大4タンクまでのタンク容量の設定および燃料残量センサーの表示補正が可能です。タンク形状に合わせて補正パターンを選択し、画面に従って補正を行ってください。

● タンク容量設定 > タンクレベル補正

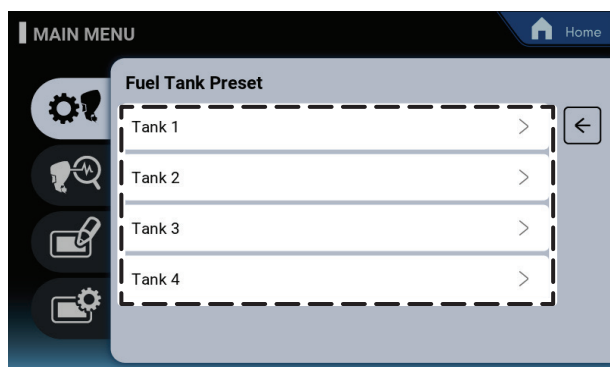
1. **Boat Set** をタップします。



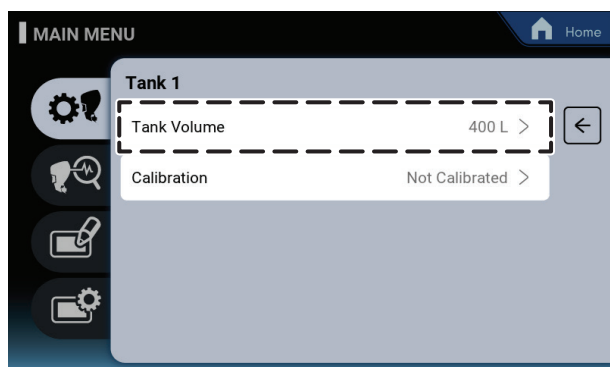
2. **Fuel Tank Preset** をタップします。



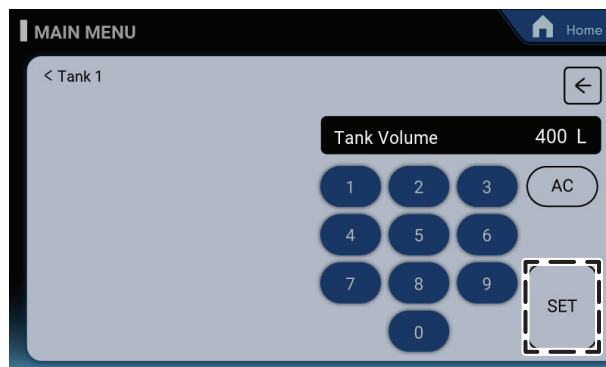
3. 設定するタンクをタップします。



4. **Tank Volume** をタップします。



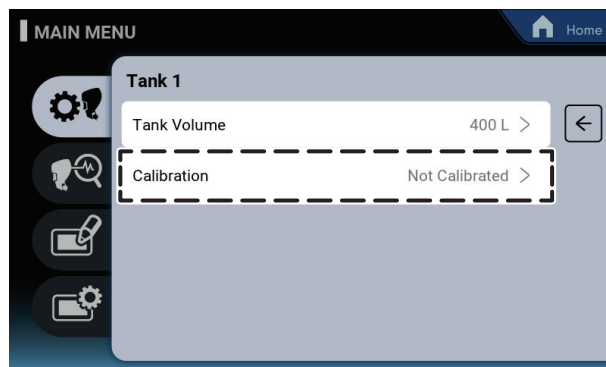
5. キーボードをタップして任意のタンク容量を設定（0～9999 リットルまたはガロン）し、**SET** をタップします。



● タンク容量設定 > タンクレベル補正

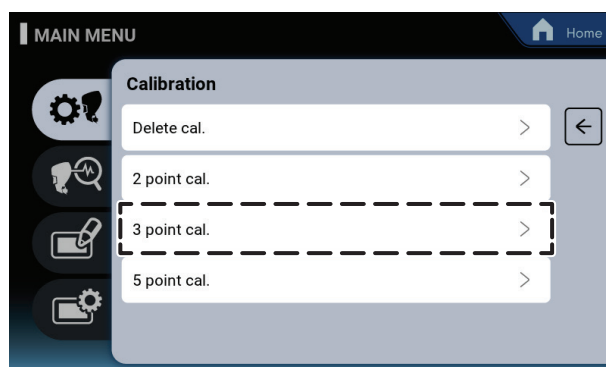
タンク容量設定後、設定したタンクのタンクレベル補正を行います。タンクレベル補正は画面の指示に従い実施してください。

1. 「タンク容量設定」(P.28) の手順4の画面で **Calibration** をタップします。



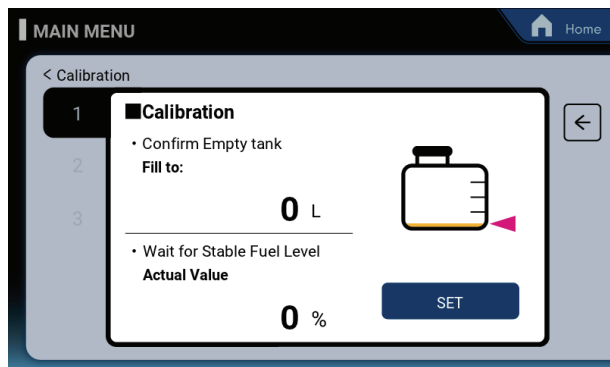
2. 補正を行う回数をタップします。

- 2点で補正を行う場合：**2 point cal.** を選択
- 3点で補正を行う場合：**3 point cal.** を選択
- 5点で補正を行う場合：**5 point cal.** を選択
- ここでは例として、**3 point cal.** を選択した場合の補正方法を説明します。



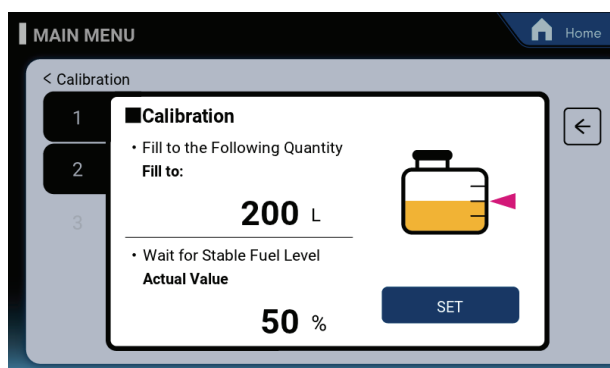
★追加資料：
タンクセンダゲージ(アナログタイプ)設定
➡巻末ページ(P.67)へ

3. タンクが空であることを確認し、**SET** をタップします。



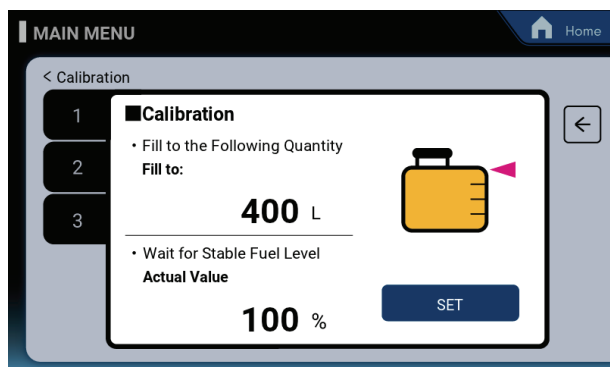
4. **YES** をタップします。

5. 設定した半分の燃料を注入し、**SET** をタップします。
・タンク容量を 400L と設定した場合：200L 注入



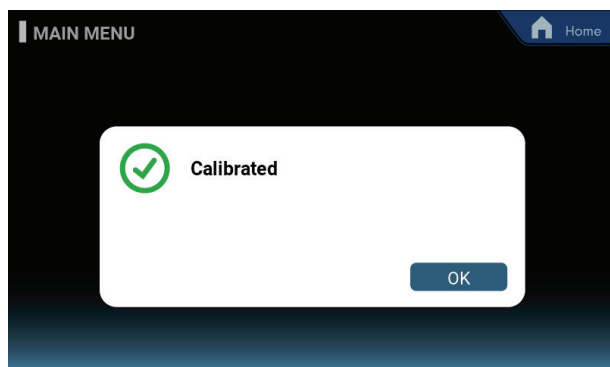
6. **YES** をタップします。

7. 設定した量まで燃料を注入し、**SET** をタップします。

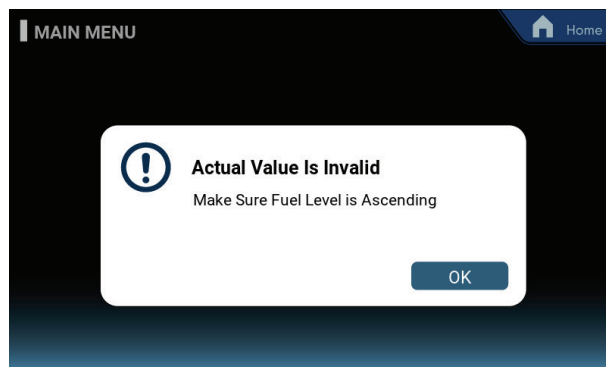


8. **YES** をタップします。

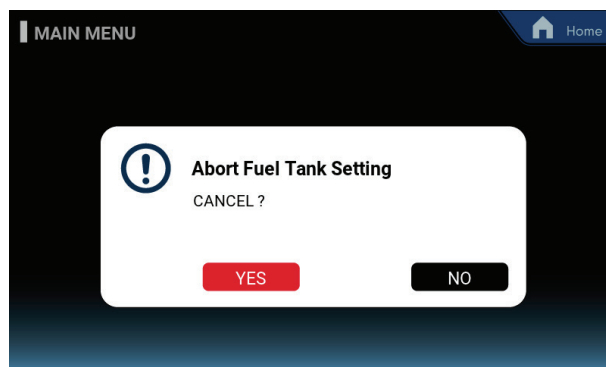
・タンクレベル補正が正常に完了すると、**Calibrated** とポップアップが表示されます。



・燃料センサーが接続されていないなどの不具合が生じた場合は **Actual Value Is Invalid** とポップアップが表示され、補正データは保存されません。



・途中で **Home** をタップした場合は、補正の中断を確認するポップアップが表示されます。補正を中断したい場合は **YES** をタップしてください。誤ってタップしてしまった場合は **NO** をタップして、補正を再開してください。



・補正データを削除する場合は、手順 2 で **Delete cal.** を選択してください。

★追加資料：
タンクセンダゲージ(アナログタイプ)設定
➡巻末ページ(P.67)へ

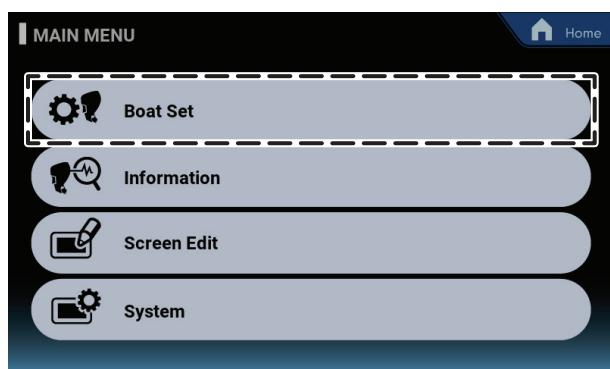
(11) Sensor Configuration of Engine Connector / エンジンコネクタ接続のセンサー補正

エンジン 1（または 2）コネクタでは各ピンに接続するセンサーの種類を選択できます。

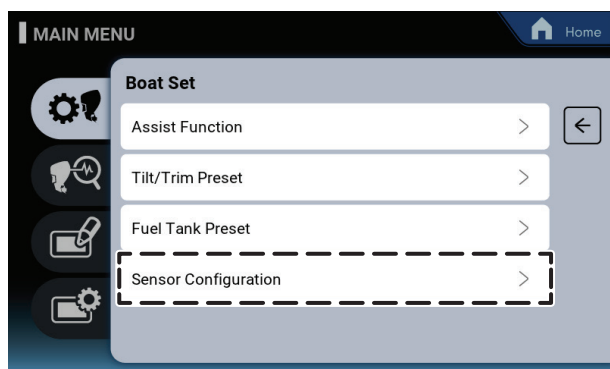
- ピン番号はコネクタの端子番号です。
- 同じ項目で NMEA2000 デバイスとアナログデバイスが共存する場合、アナログデバイスが優先されます。

ピン	設定できる項目
周波数ピン	エンジン回転数
抵抗ピン	トリム角度、貯水タンク量、ラダー角度、燃料残量
電圧ピン	外部輝度
電流ピン	燃料残量、貯水タンク量、廃水タンク量

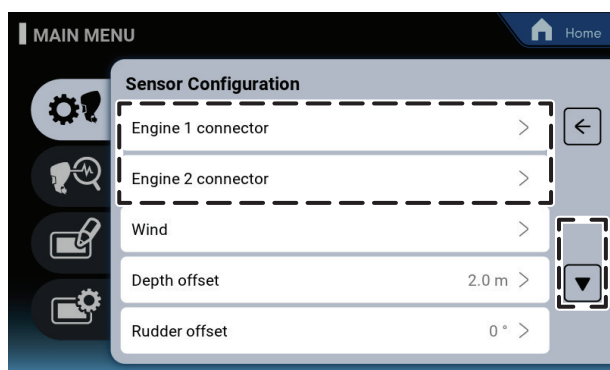
1. **Boat Set** をタップします。



2. **Sensor Configuration** をタップします。



3. ▲▼をタップして **Engine 1 connector** または **Engine 2 connector** をタップします。



4. 設定したい項目をタップします。

● 周波数ピンのエンジン回転数

オルタネータ端子、点火コイル端子、または発電機や誘導センサーなどの各センサーを入力し、回転数パルスを設定することで、周波数ピンのエンジン回転数を表示できます。周波数ピンの **Engine RPM** を選択すると、以下の項目が設定できます。

- エンジン番号選択
周波数ピンに割り当てるエンジン番号が設定できます。
- 回転数パルス
エンジン 1 回転当たりのパルス数が設定できます。

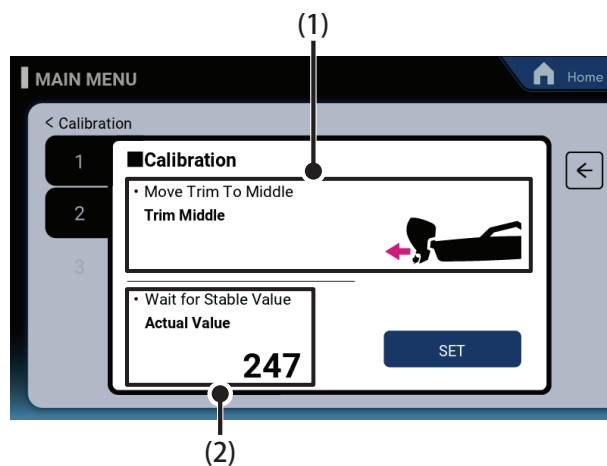
● 抵抗ピンのトリム角度

抵抗センサーを入力することで、DBW に対応していないエンジン機種 of トリム角表示や NMEA2000 コンバータを使用せずにアナログでの抵抗値を入力し、設定された情報を表示できます。

設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。抵抗ピンの **Trim** を選択すると、エンジン番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 3 点補正
トリム角度の 0%(Trim Down)/50%(Trim Middle)/100%(Trim Up) の 3 ステップに対するモニター値が補正できます。
3 点補正を行う場合は、ディスプレイに表示される「トリム位置指示」に従い、トリム角度を変化させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値（抵抗）」でモニターできます。



- (1) トリム位置指示
- (2) センサー値（抵抗）

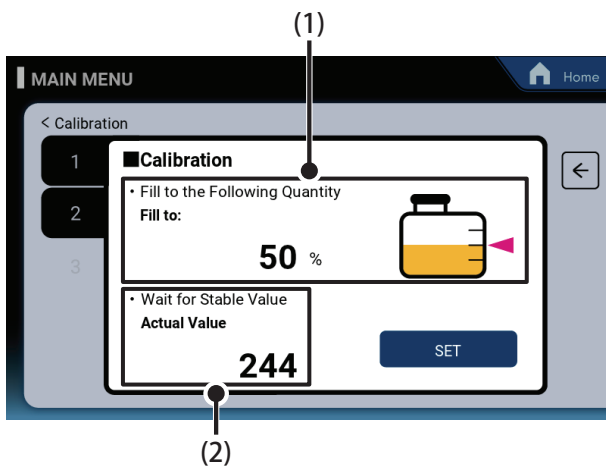
SET をタップすると、確認ポップアップが表示されます。100%(Trim Up) の設定後、**YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

● 抵抗ピンの貯水タンク量

設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。抵抗ピンの **Fresh water** を選択すると、タンク番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 3点補正
貯水タンク量の 0%/50%/100% の3ステップに対するモニター値が補正できます。
3点補正を行う場合は、タンクが空であることを確認してから、ディスプレイに表示される「淡水注入指示」に従い、水を注入させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値（抵抗）」でモニターできます。



- (1) 淡水注入指示
- (2) センサー値（抵抗）

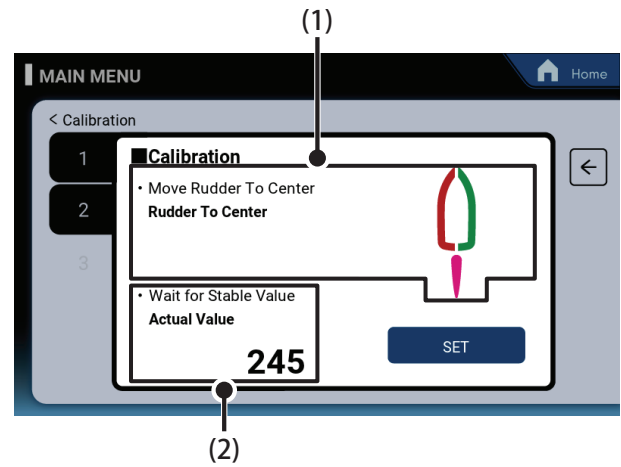
補正精度を上げるために、液面が安定してから **SET** をタップすると、確認ポップアップが表示されます。100% まで設定後、**YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

● 抵抗ピンのラダー角度

設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。抵抗ピンの **Rudder** を選択すると、エンジン番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 3点補正
ラダー角度の Stbrd/Center/Port に対するモニター値が補正できます。
3点補正を行う場合は、ディスプレイに表示される「転舵位置指示」に従い、転舵してください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値（抵抗）」でモニターできます。



- (1) 転舵位置指示
- (2) センサー値（抵抗）

SET をタップすると、確認ポップアップが表示されます。Port まで設定後、**YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

● 抵抗ピンの燃料残量

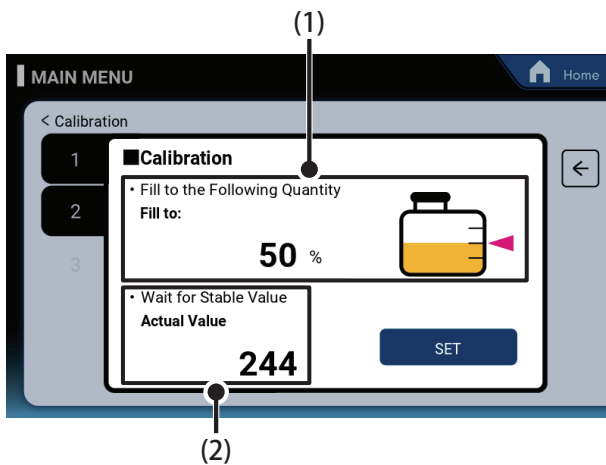
設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。抵抗ピンの **Fuel** を選択すると、タンク番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を設定して、センサー補正ができます。

- タンク容量
最大 9999(L or gal) まで、接続されているタンクの最大容量を設定できます。
- センサータイプ
アナログセンサーの抵抗値レンジを設定できます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 1点補正 / 3点補正
タンクレベルが補正できます。
タンクレベル 0% の 1 点に対するモニター値の補正、またはタンクレベル 0%/50%/100% の 3 点に対するモニター値の補正が可能です。
補正を行う場合は、タンクが空であることを確認してから、ディスプレイに表示される「燃料注入指示」に従い、燃料を注入させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値 (抵抗)」でモニターできます。



- (1) 燃料注入指示
- (2) センサー値 (抵抗)

補正精度を上げるために、液面が安定してから **SET** をタップすると、確認ポップアップが表示されます。以下の場合に、確認ポップアップで **YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

- 1点補正
- 3点補正の3点め

● 電圧ピンの外部輝度

電圧ピンの **Ext Illum** を選択すると、電圧ピンに SW を接続することで、**System>Display Setting** で設定された内容に応じて **Day/Night** モードを手動 SW で切り替えられます。

● 電流ピンの燃料残量

電流出力タイプの残量計を電流ピンに入力することで、燃料のタンク残量情報を表示できます。

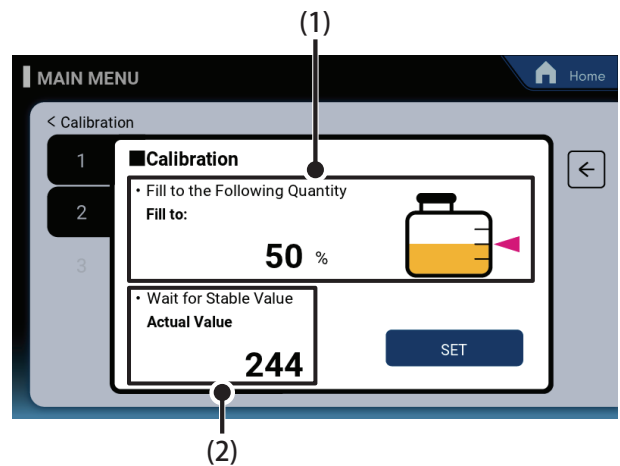
設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。電流ピンの **Fuel** を選択すると、タンク番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、タンク容量を設定して、センサー補正ができます。

- タンク容量
最大 9999(L or gal) まで、接続されているタンクの最大容量を設定できます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 1点補正 / 3点補正
タンクレベルが補正できます。
タンクレベル 0% の 1 点に対するモニター値の補正、またはタンクレベル 0%/50%/100% の 3 点に対するモニター値の補正が可能です。
補正を行う場合は、タンクが空であることを確認してから、ディスプレイに表示される「燃料注入指示」に従い、燃料を注入させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値 (抵抗)」でモニターできます。



- (1) 燃料注入指示
- (2) センサー値 (電流)

補正精度を上げるために、液面が安定してから **SET** をタップすると、確認ポップアップが表示されます。以下の場合に、確認ポップアップで **YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

- 1点補正
- 3点補正の3点め

● 電流ピンの貯水タンク量

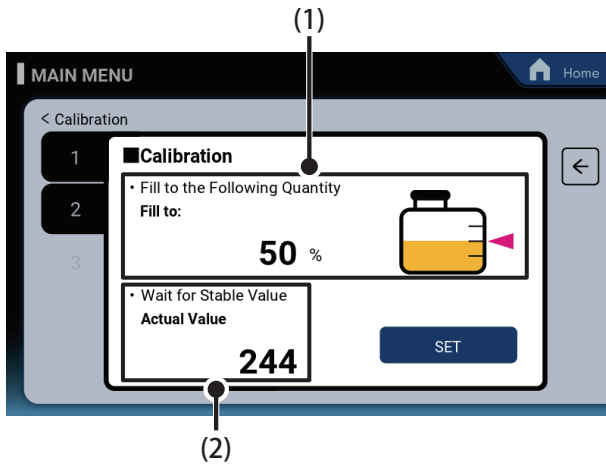
電流出力タイプの残量計を電流ピンに入力することで、淡水のタンク残量情報を表示できます。

設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。

電流ピンの **Fresh water** を選択すると、タンク番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 3点補正
貯水タンク量の 0%/50%/100% の 3 ステップに対するモニター値が補正できます。
3点補正を行う場合は、タンクが空であることを確認してから、ディスプレイに表示される「淡水注入指示」に従い、水を注入させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値（抵抗）」でモニターできます。



- (1) 淡水注入指示
- (2) センサー値（電流）

補正精度を上げるために、液面が安定してから **SET** をタップすると、確認ポップアップが表示されます。

100% まで **SET** をタップして確認ポップアップで **YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

● 電流ピンの廃水残量

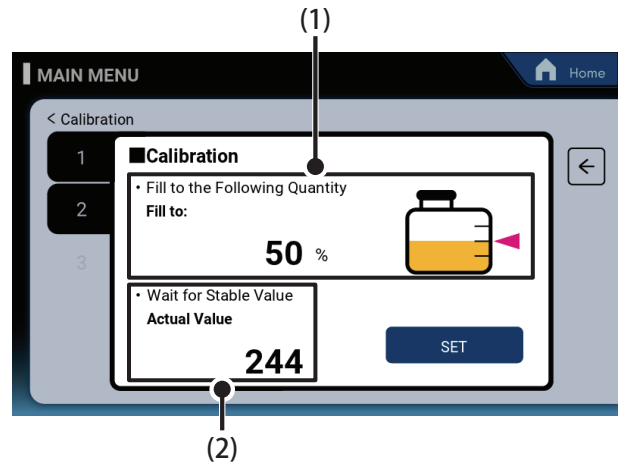
電流出力タイプの残量計を電流ピンに入力することで、廃水のタンク残量情報を表示できます。

設定する項目を変更する場合や、既に設定済みの項目を別ピンで設定する場合は、ダイアログが表示されます。

電流ピンの **Waste water** を選択すると、タンク番号を選択し、センサー補正ができます。

Calibration を選択すると、以下の項目を選択できます。

- 補正データ削除
選択すると、確認ポップアップが表示されます。
- 3点補正
廃水残量の 0%/50%/100% の 3 ステップに対するモニター値が補正できます。
3点補正を行う場合は、タンクが空であることを確認してから、ディスプレイに表示される「廃水注入指示」に従い、水を注入させてください。
アナログセンサーの抵抗値は、「センサー値（抵抗）」でモニターできます。



- (1) 廃水注入指示
- (2) センサー値（電流）

補正精度を上げるために、液面が安定してから **SET** をタップすると、確認ポップアップが表示されます。

100% まで **SET** をタップして確認ポップアップで **YES** をタップすると、完了ポップアップが表示されます。

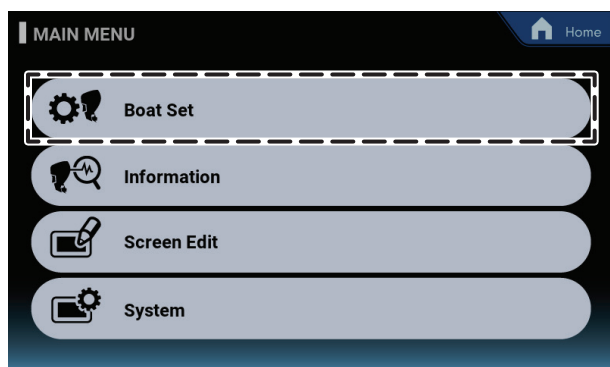
(12) Sensor Configuration of Wind / 風のセンサー補正

Wind では、風センサーから取得した情報について、以下の設定ができます。

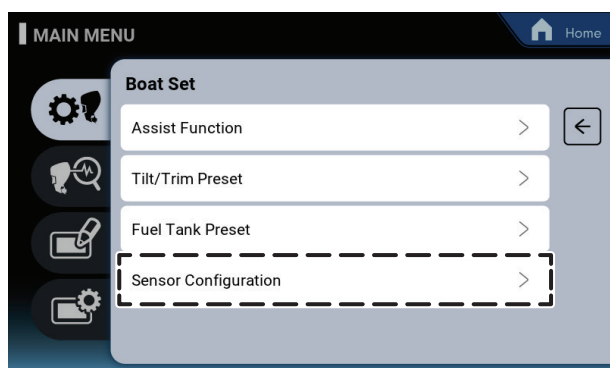
- ・ 風向きオフセット
- ・ 真の風情報送信

※ NMEA2000 に対応したセンサーを別途接続する必要があります。

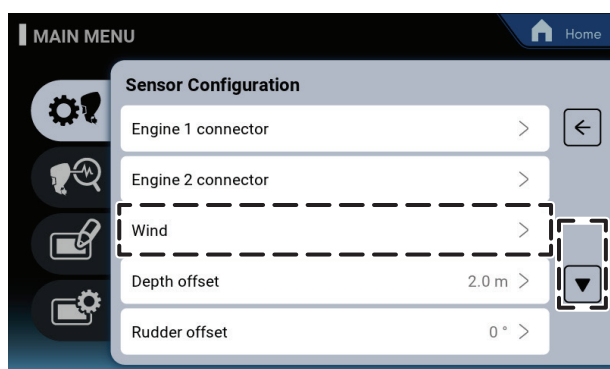
1. Boat Set をタップします。



2. Sensor Configuration をタップします。



3. ▲▼をタップして Wind をタップします。



4. 設定したい項目をタップします。

● 風向きオフセット (Wind direction offset)

風センサー (Heading sensor) から取得した見かけの風向きが、実際の風向きと一致していない時、ディスプレイ上で表示させる風向きを補正できます。設定可能範囲は± 0 – 180 (°) です。

● 真の風情報送信 (Send True Wind)

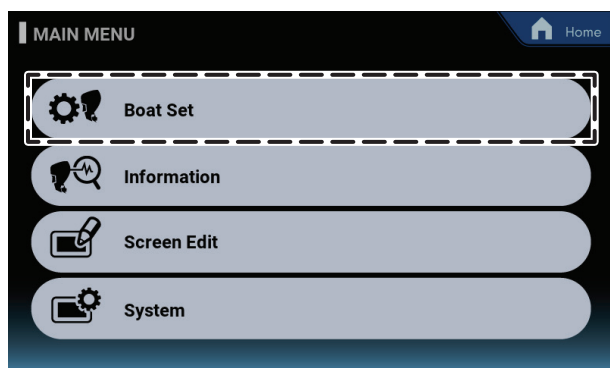
風センサーと GPS の情報を組み合わせることで、真の風情報 (風向き・風速) を取得できます。それぞれのデバイスから取得された風情報を、理論上の真の風情報 (Theoretical Wind) として、NMEA2000 経由で送信する設定にできます。

(13) Sensor Configuration of Depth offset / 水深のセンサー補正

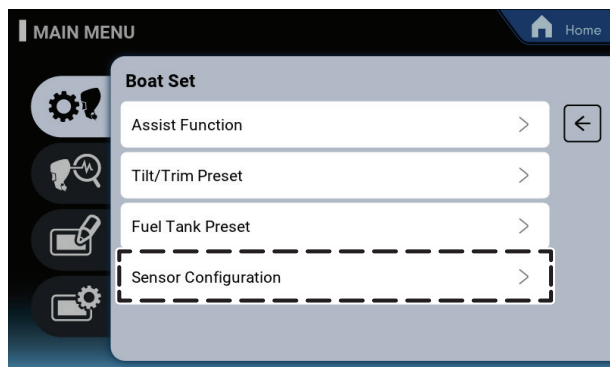
Depth offset では、NMEA2000 経由で受信している水深のモニター値に対する補正が可能です。

※ NMEA2000 に対応したセンサーを別途接続する必要があります。

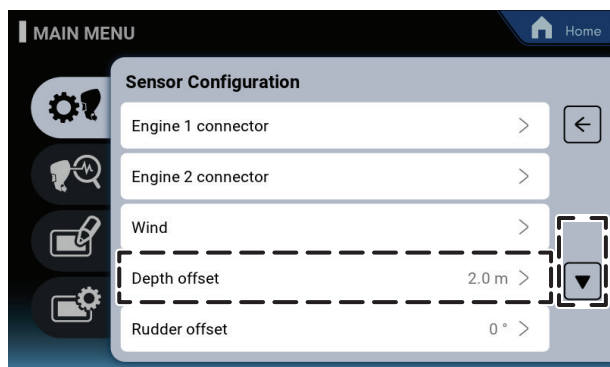
1. **Boat Set** をタップします。



2. **Sensor Configuration** をタップします。



3. ▲▼をタップして **Depth offset** をタップします。



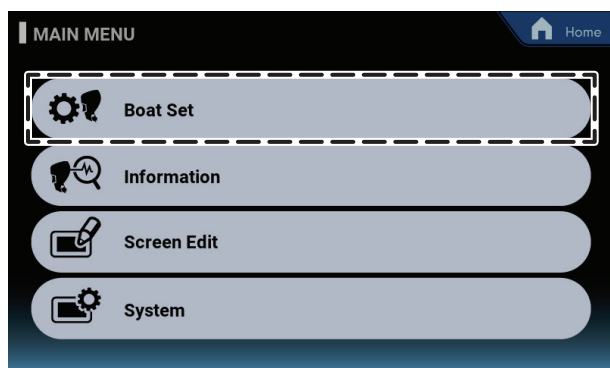
4. 設定したい値を設定し、**SET** をタップします。
設定可能範囲は± 0 – 9.9 (m) です。

(14) Sensor Configuration of Rudder offset / 転舵角のセンサー補正

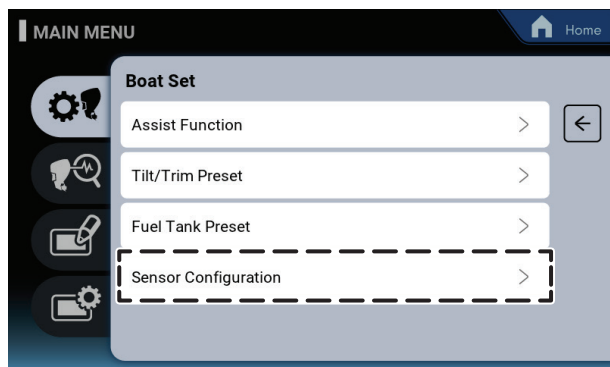
Rudder offset では、NMEA2000 経由で受信している転舵角のモニター値に対する補正が可能です。

※ NMEA2000 に対応したセンサーを別途接続する必要があります。

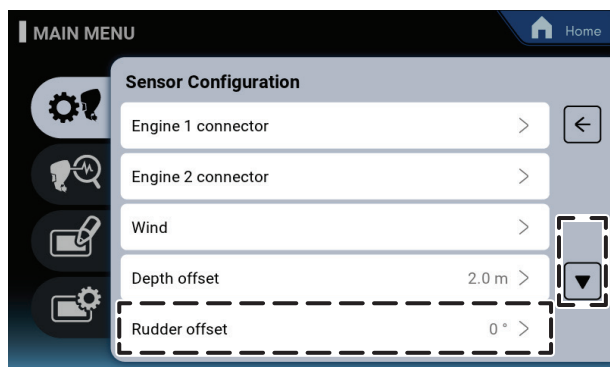
1. **Boat Set** をタップします。



2. **Sensor Configuration** をタップします。



3. ▲▼をタップして **Rudder offset** をタップします。



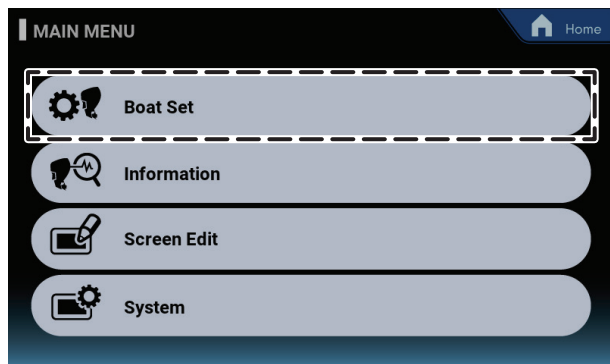
4. 設定したい値を設定し、**SET** をタップします。
設定可能範囲は± 0 – 120 (°) です。

(15) Sensor Configuration of Speed / 速度のセンサー補正

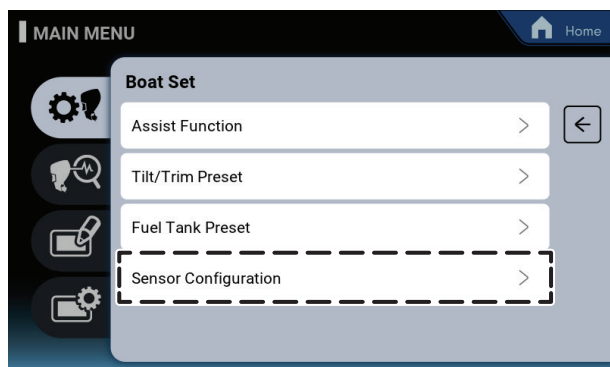
Speed では、速度補正係数を変更することで、NMEA2000 経由で受信している速度のモニター値に対する補正が可能です。

※ NMEA2000 に対応したセンサーを別途接続する必要があります。

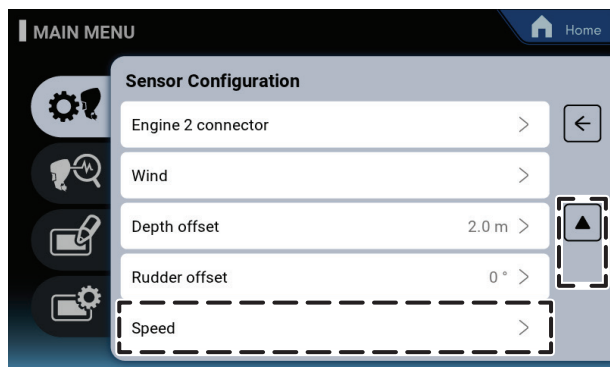
1. **Boat Set** をタップします。



2. **Sensor Configuration** をタップします。



3. ▲▼をタップして **Speed** をタップします。



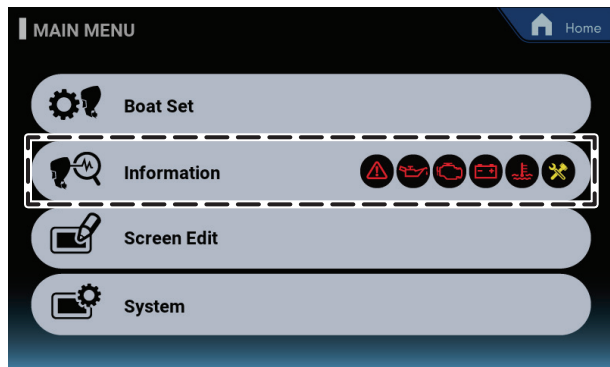
4. **Speed correction factor** をタップします。

5. 設定したい値を設定し、**SET** をタップします。
設定可能範囲は 0 - 199.99 です。

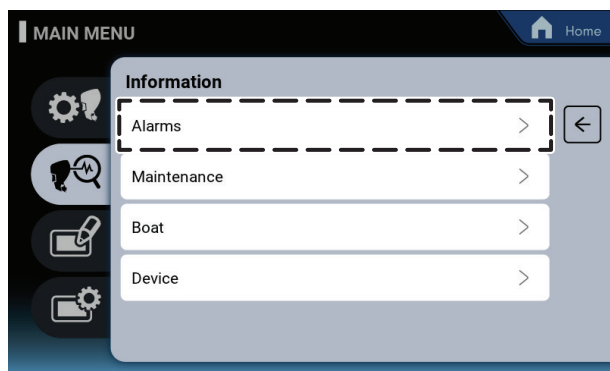
(16) Engine Warnings / 発生中エンジン異常情報確認

現在発生しているエンジンの異常情報を確認できます。
警告がない場合は **No Engine Warning** と表示されます。

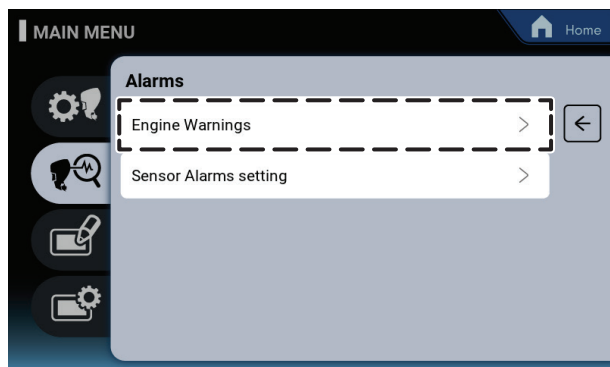
1. **Information** をタップします。



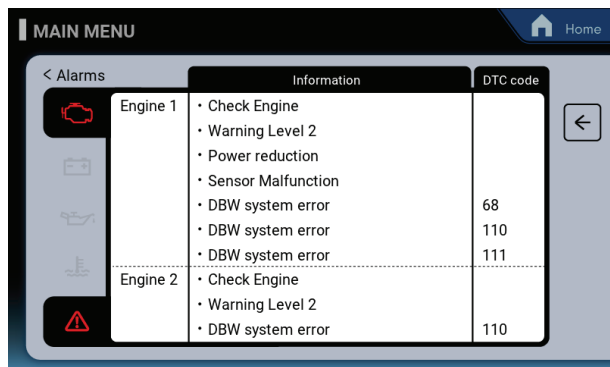
2. **Alarms** をタップします。



3. **Engine Warnings** をタップします。

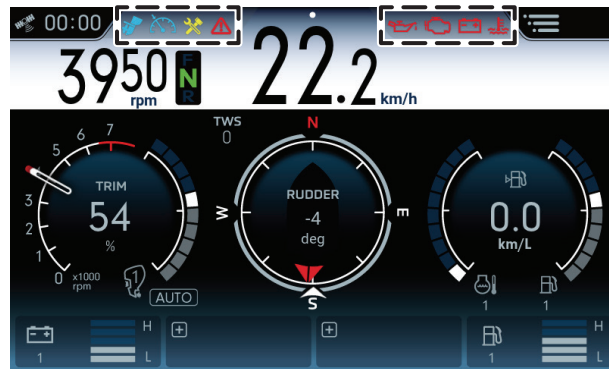


4. 発生中のエンジン異常情報を確認します。



• いずれかのインジケータまたはアラートアイコンが点灯している場合は、以下の手順でも現在発生しているエンジンの異常情報を確認できます。

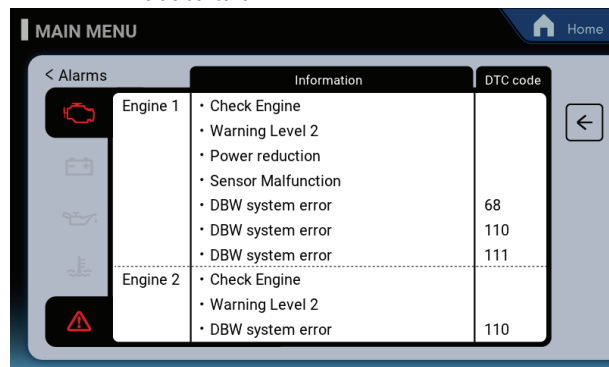
< 情報表示画面 >



アラート・ファンクション
インジケータエリアをタップする



< エンジン警告画面 >

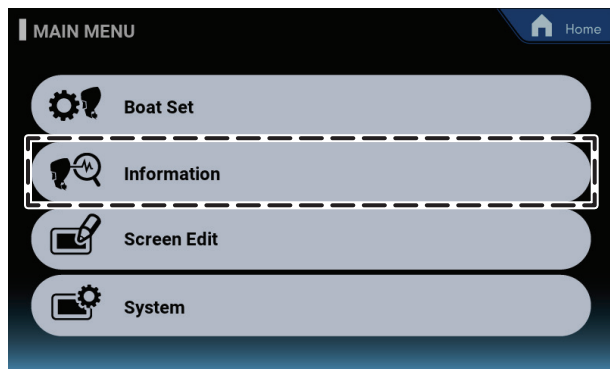


(17) Sensor Alarms setting / センサーアラーム 設定

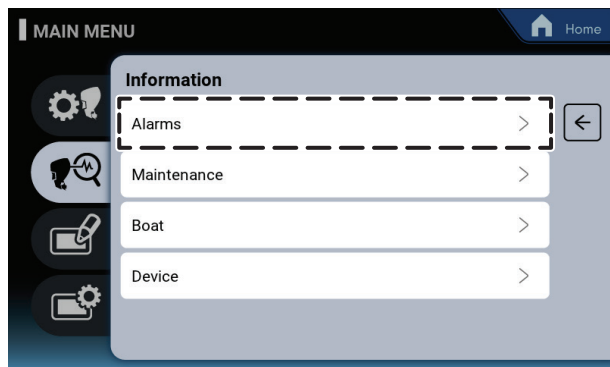
下記センサーアラームの ON/OFF 設定と閾値について個別に詳細設定できます。

No.	画面表記	通知内容
1	Depth shallow	浅瀬
2	Depth Navigation	水深ナビゲーション
3	Wind speed	風速
4	Battery Voltage	バッテリー電圧異常
5	Fuel	燃料残量
6	Fresh water	貯水タンク量
7	Waste water	廃水タンク量

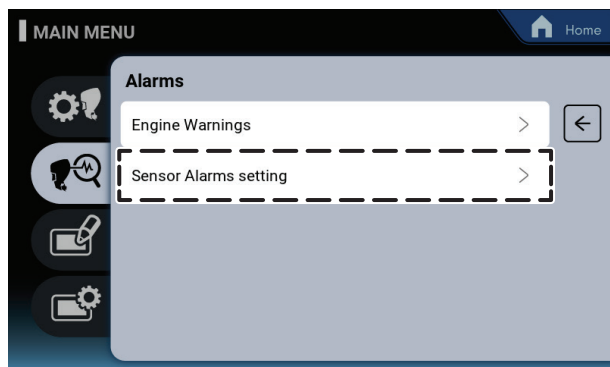
1. **Information** をタップします。



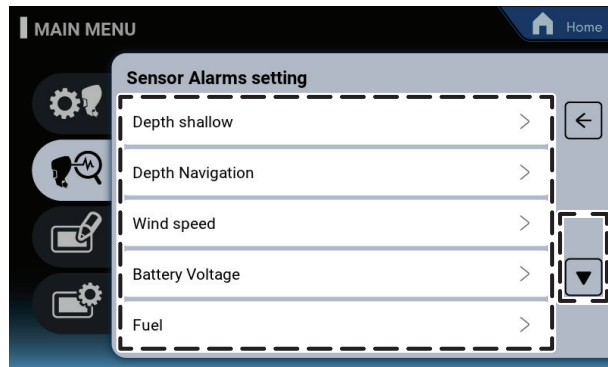
2. **Alarms** をタップします。



3. **Sensor Alarms setting** をタップします。



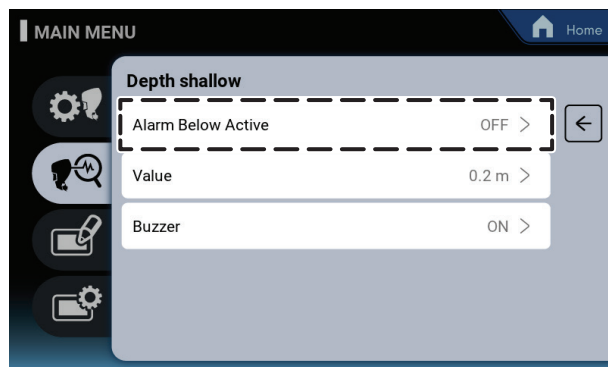
4. ▲▼をタップして詳細設定したい項目をタップします。



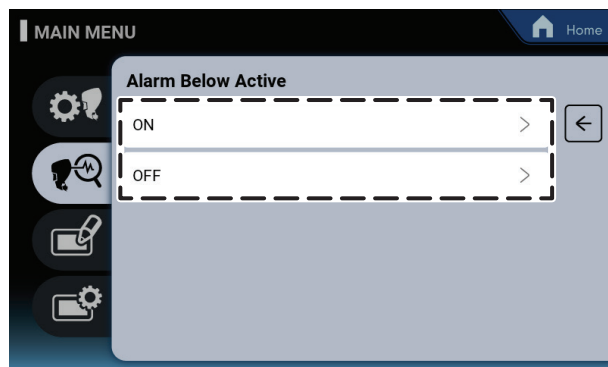
• ここでは例として、Depth shallow を選択した場合の設定方法を説明します。

項目	内容
Alarm Below Active (または Alarm Above Active)	閾値を下回った時（または上回った時）のアラーム機能の ON/OFF を設定します。
Value	アラームを通知する閾値を設定します。
Buzzer	アラーム通知時のブザーの ON/OFF を設定します。

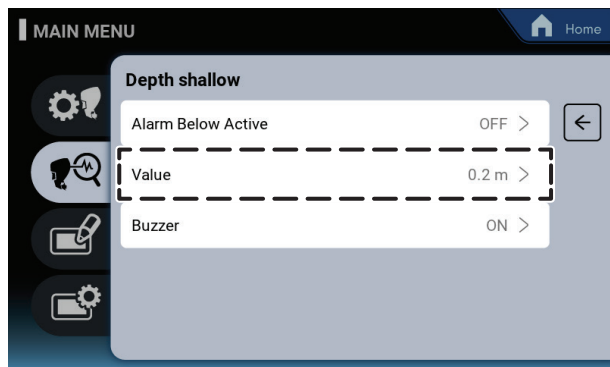
5. **Alarm Below Active** をタップします。



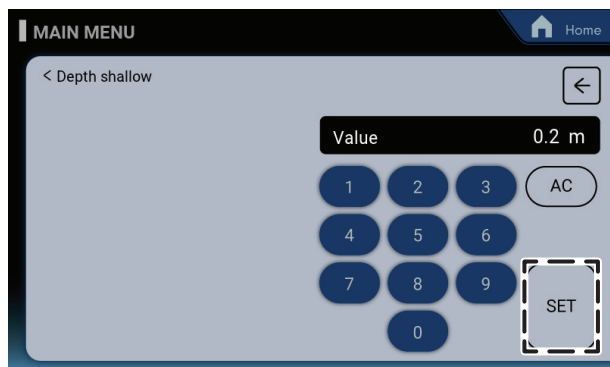
6. **ON** または **OFF** をタップします。



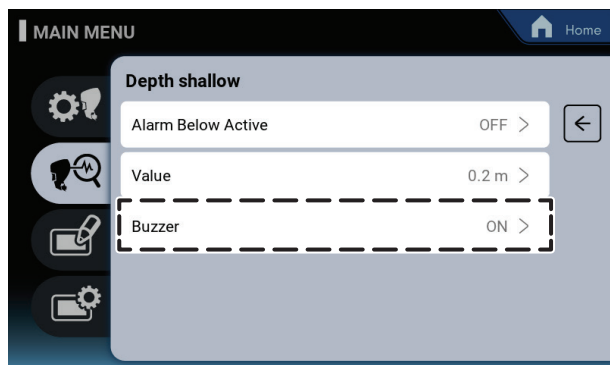
7. **Value** をタップします。



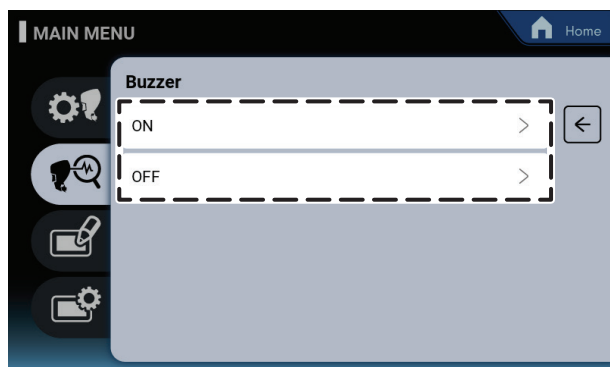
8. キーボードをタップして設定したい閾値を設定し、**SET** をタップします。



9. **Buzzer** をタップします。



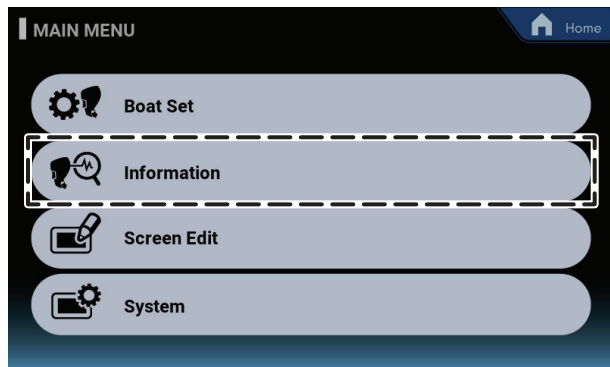
10. **ON** または **OFF** をタップします。



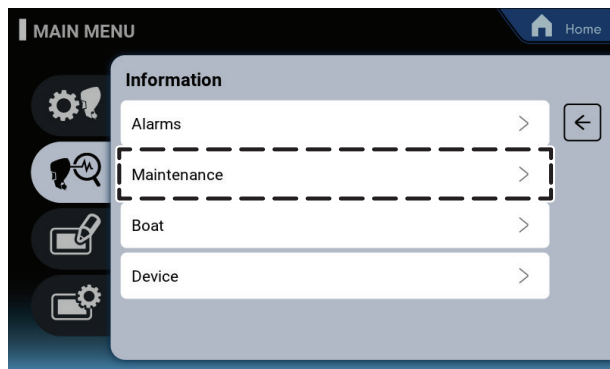
(18) Maintenance Reminder / メンテナンス時期確認

接続されている船外機の次回定期点検までの残時間を確認できます。

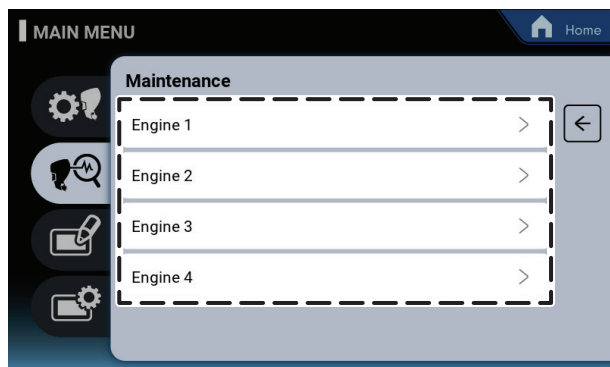
1. **Information** をタップします。



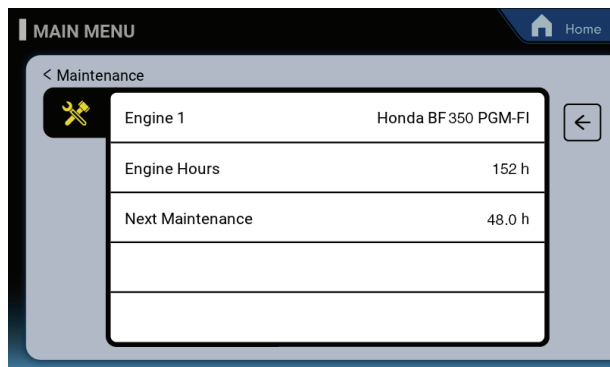
2. **Maintenance** をタップします。



3. 確認したいエンジン番号をタップします。

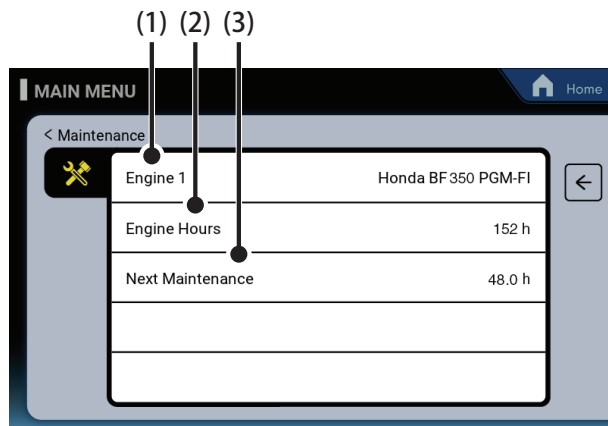


4. 次回定期点検までの残り時間を確認します。



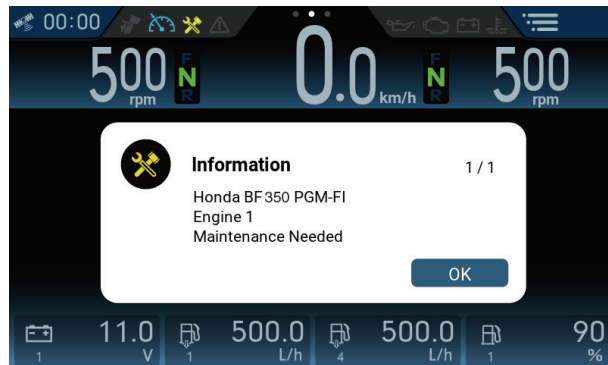
● メンテナンス確認画面

各エンジンの総運転時間、および次回メンテナンス通知までの時間を表示します。



- (1) エンジン番号・機種名
各エンジンに設定された番号と機種名。
- (2) 総運転時間
各エンジンの総運転時間。
- (3) メンテナンス残り時間表示
各エンジンのメンテナンス通知までの時間。

- ・ 船外機から定期点検時期の信号を受信すると、以下のポップアップ画面が表示されます。



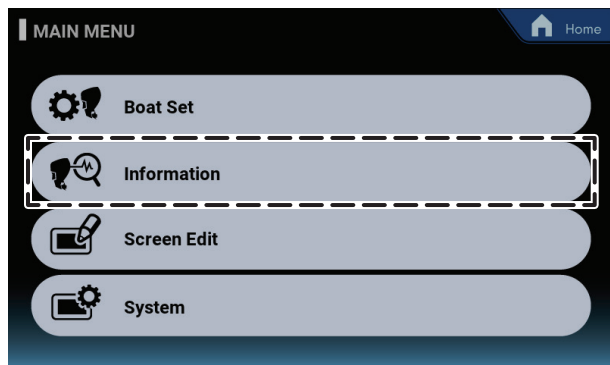
※ メンテナンス時期のポップアップ通知は、表示 **ON/OFF** を設定できます。(P.59)

(19) Boat / 船舶情報

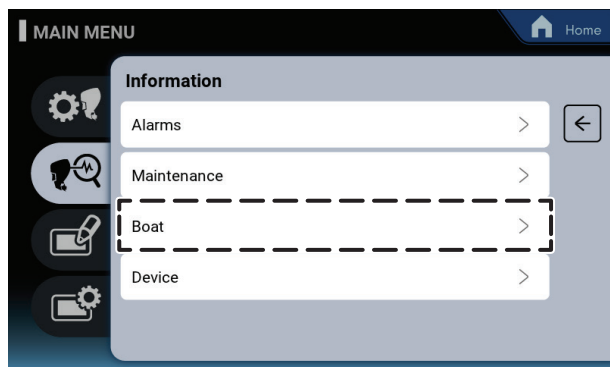
ディスプレイの使用開始時、またはリセットからの航行距離・航行時間を確認できます。

表示される値はあくまでも目安であり、実際の値とは異なる場合があります。

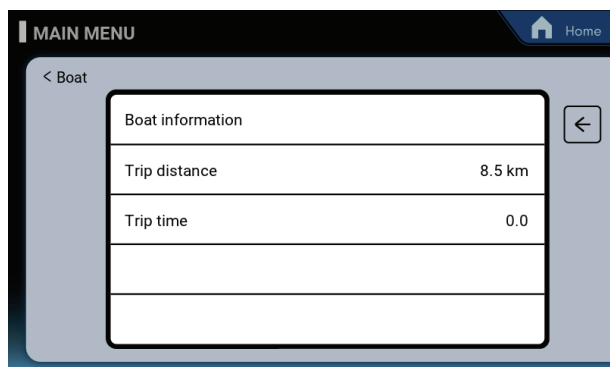
1. **Information** をタップします。



2. **Boat** をタップします。



3. これまでの航行距離・航行時間を確認します。

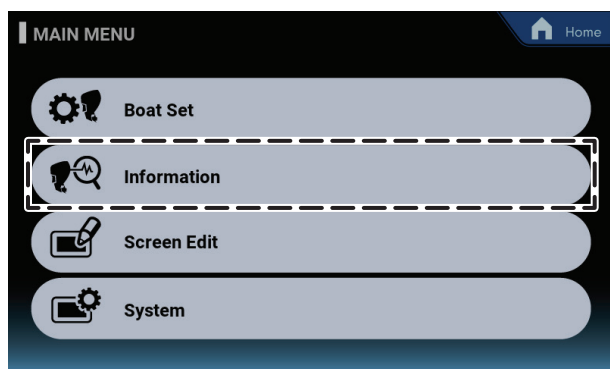


(20) NMEA2000 Device List / 接続中 NMEA2000 機器確認

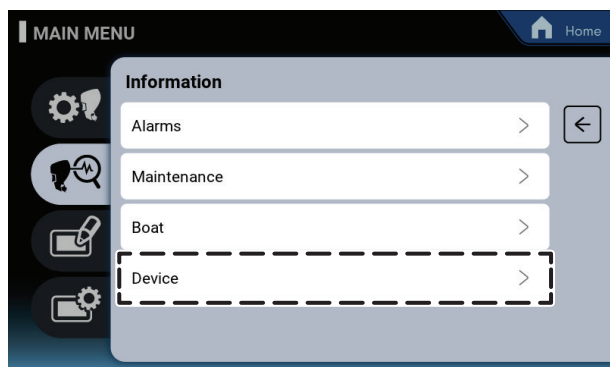
ご使用中のディスプレイを含め、NMEA2000 で接続されている機器について以下の情報が確認できます。

1	Model ID	製品名
2	Serial No.	シリアル番号
3	Manufacturer	製造業者名
4	Software ver.	ソフトウェアバージョン
5	Model ver.	モデルバージョン
6	Device instance	設定インスタンス
7	LEN	NMEA2000 ネットワークから消費する電流を表す整数値 (LEN) 1LEN = 50mA

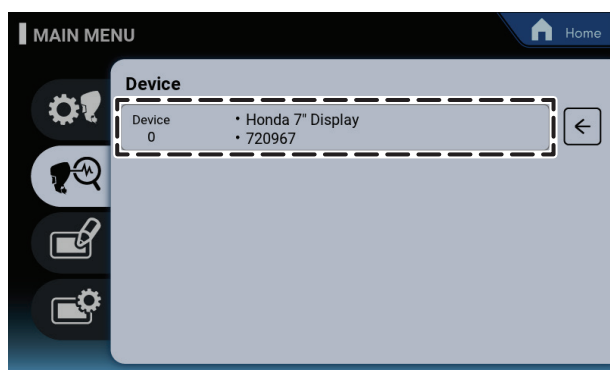
1. **Information** をタップします。



2. **Device** をタップします。



3. 情報を確認したい機器をタップします。



4. 選択した NMEA2000 の機器情報を確認します。

(21) Screen Layout / 表示画面設定

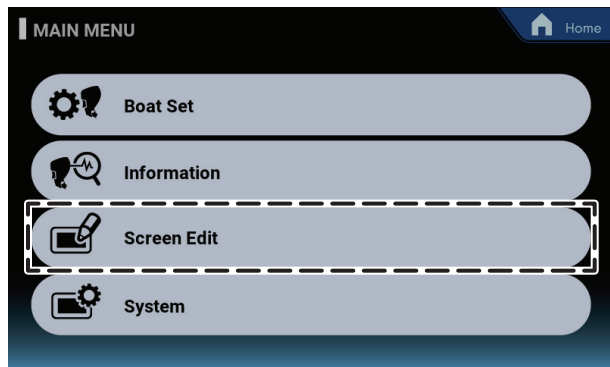
下記項目の画面表示の ON/OFF 設定ができます。

ON に設定された画面は、情報表示画面を左右にスワイプすることで表示できます。

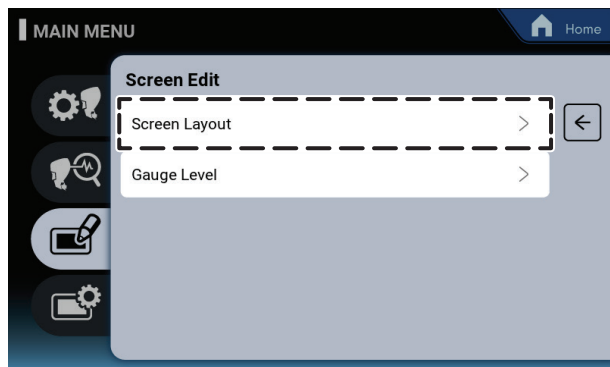
No.	画面表記	画面内容
1	Data screen 1	情報表示画面 1 ページ目
2	Data screen 2	情報表示画面 2 ページ目
3	Data screen 3	情報表示画面 3 ページ目
4	Data screen 4	情報表示画面 4 ページ目
5	Data screen 5	情報表示画面 5 ページ目
6	Video 1	Video input 1 に入力されている映像表示画面
7	Video 2	Video input 2 に入力されている映像表示画面

※ Video1/2 を表示するには Veratron 社製の別売り部品の接続が必要です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

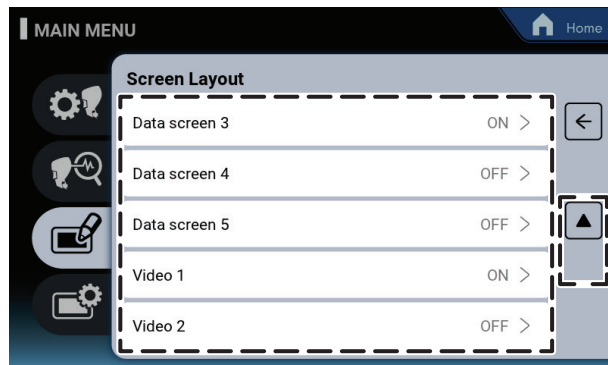
1. Screen Edit をタップします。



2. Screen Layout をタップします。

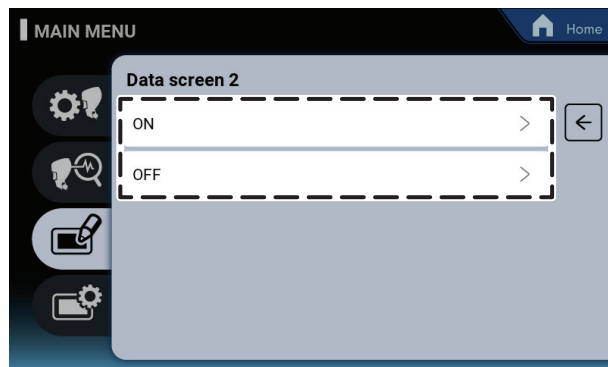


3. ▲▼をタップして表示 ON/OFF 設定したい項目をタップします。



• Data screen 1 は OFF にできません。Data screen 1 をタップした場合、情報表示画面 1 ページ目に遷移します。

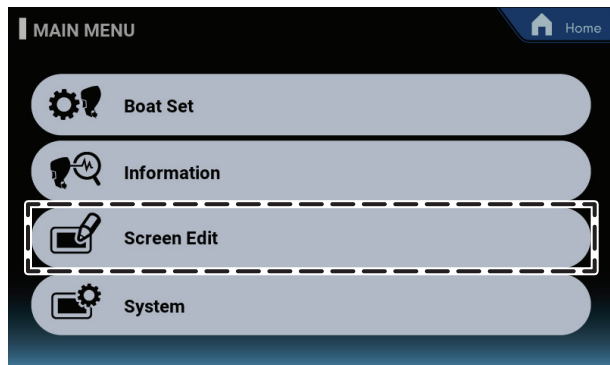
4. ON または OFF をタップします。



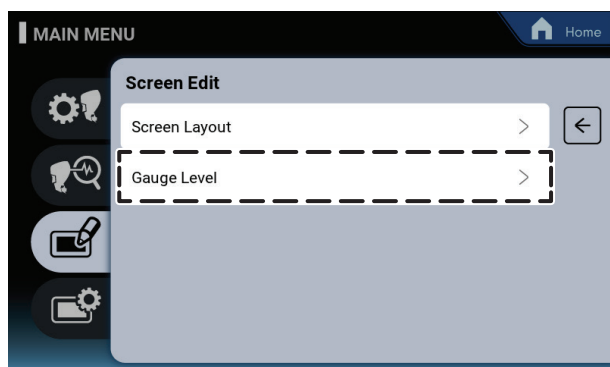
(22) Boost Pressure / 吸入空気圧表示範囲設定

情報表示画面のゲージ表示に該当する吸入空気圧表示範囲を変更できます。

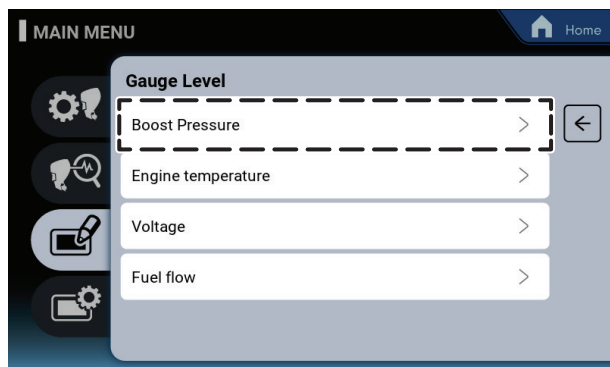
1. **Screen Edit** をタップします。



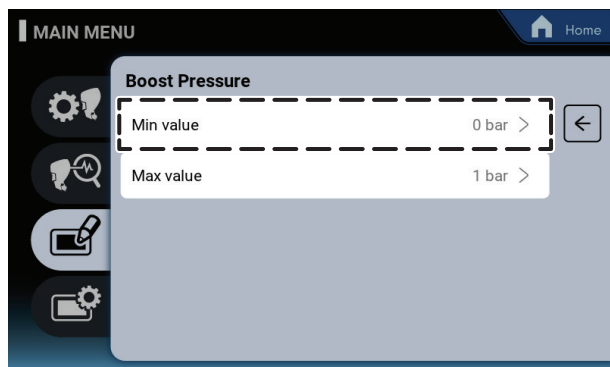
2. **Gauge Level** をタップします。



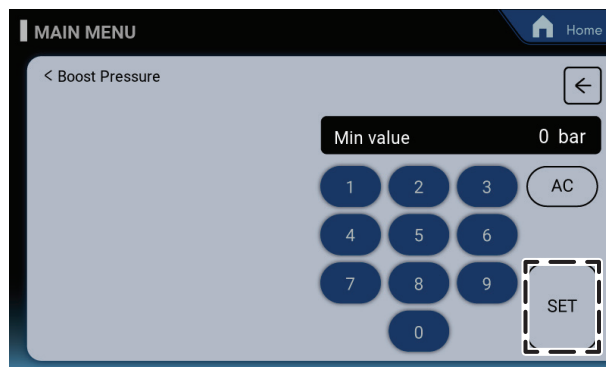
3. **Boost Pressure** をタップします。



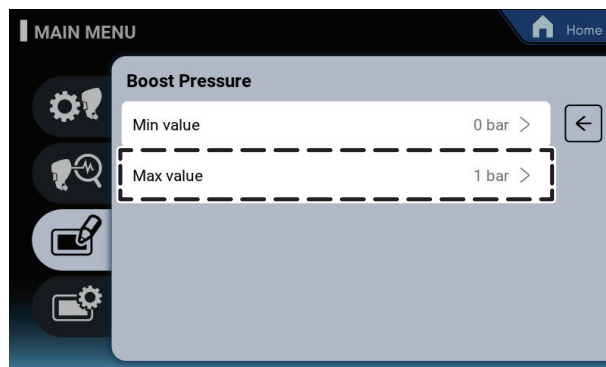
4. **Min value** をタップします。



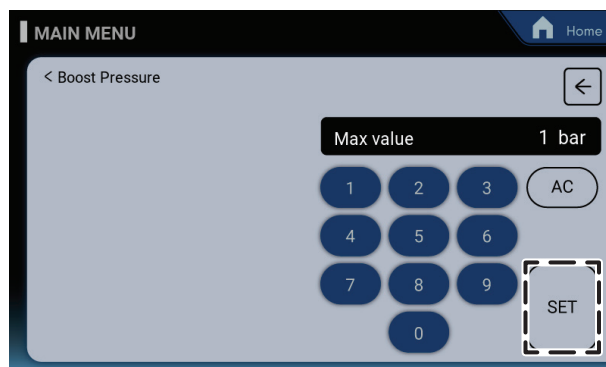
5. キーボードをタップして下限値を設定し、**SET** をタップします。



6. **Max value** をタップします。



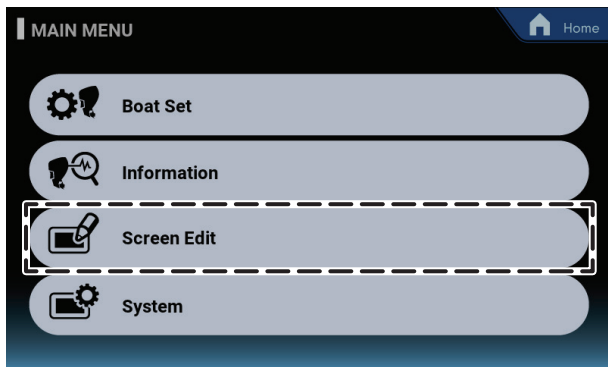
7. キーボードをタップして上限値を設定し、**SET** をタップします。



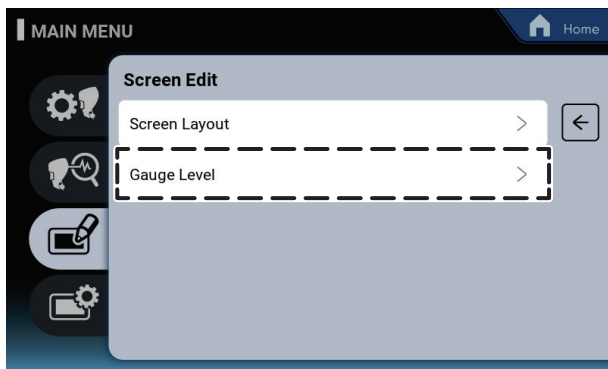
(23) Engine temperature / エンジン温度表示範囲設定

情報表示画面のゲージ表示に該当するエンジン温度表示範囲を変更できます。

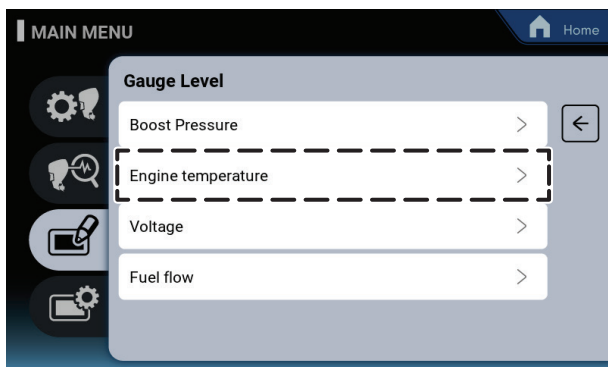
1. **Screen Edit** をタップします。



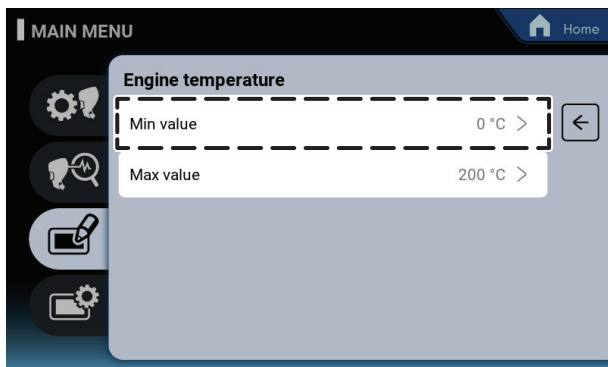
2. **Gauge Level** をタップします。



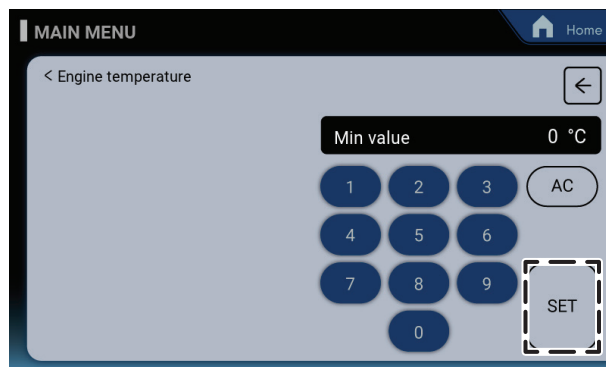
3. **Engine temperature** をタップします。



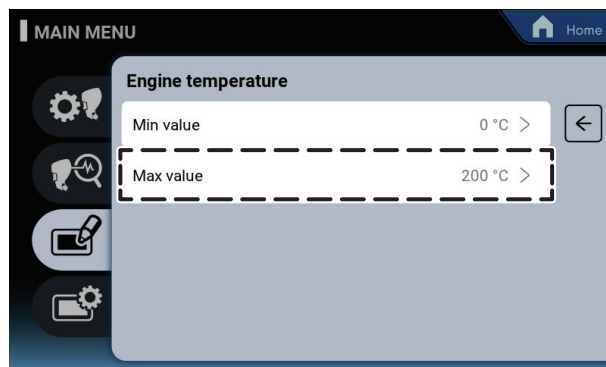
4. **Min value** をタップします。



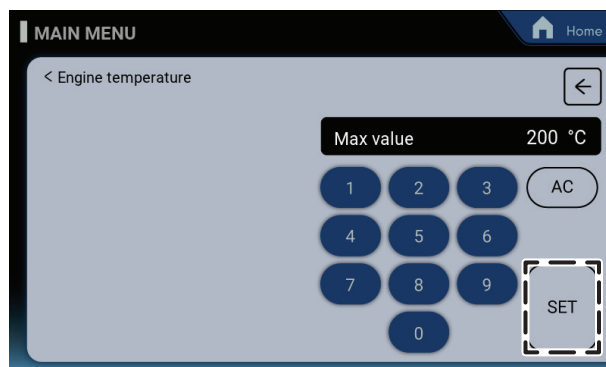
5. キーボードをタップして下限値を設定し、**SET** をタップします。



6. **Max value** をタップします。



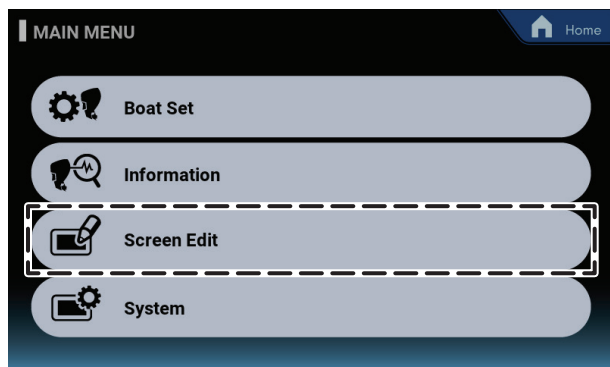
7. キーボードをタップして上限値を設定し、**SET** をタップします。



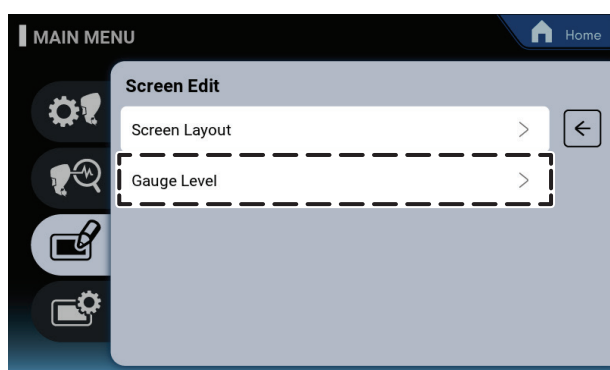
(24) Voltage / バッテリー電圧表示範囲設定

情報表示画面のゲージ表示に該当するバッテリー電圧表示範囲を変更できます。

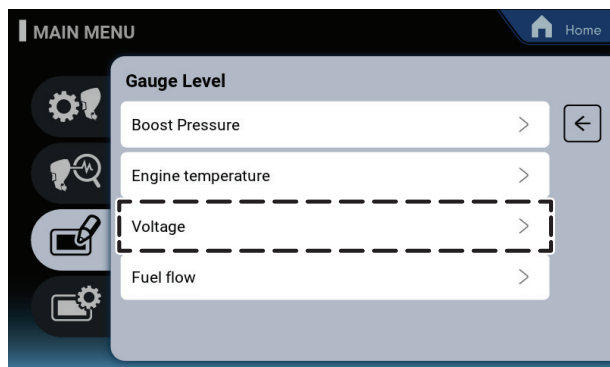
1. **Screen Edit** をタップします。



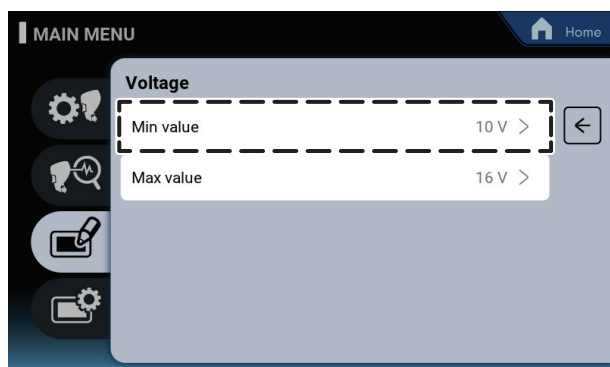
2. **Gauge Level** をタップします。



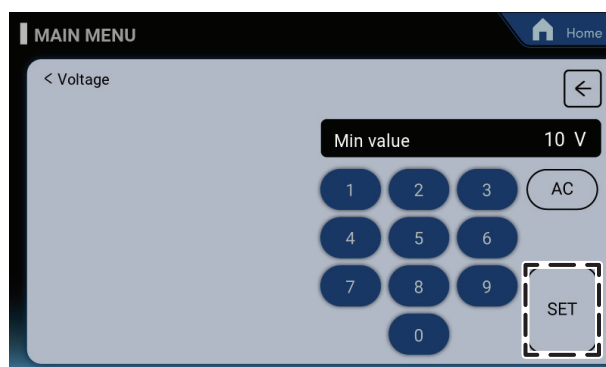
3. **Voltage** をタップします。



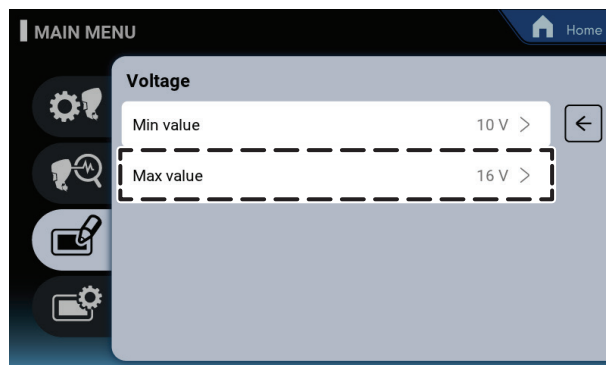
4. **Min value** をタップします。



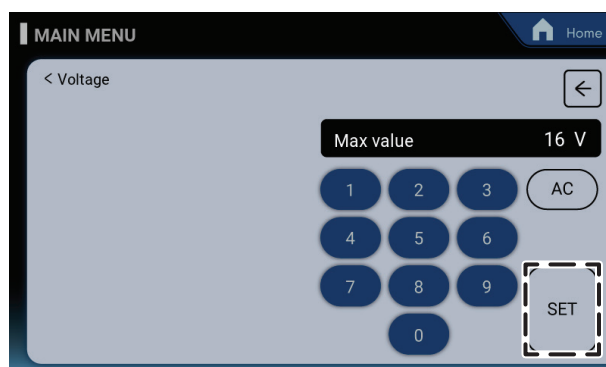
5. キーボードをタップして下限値を設定し、**SET** をタップします。



6. **Max value** をタップします。



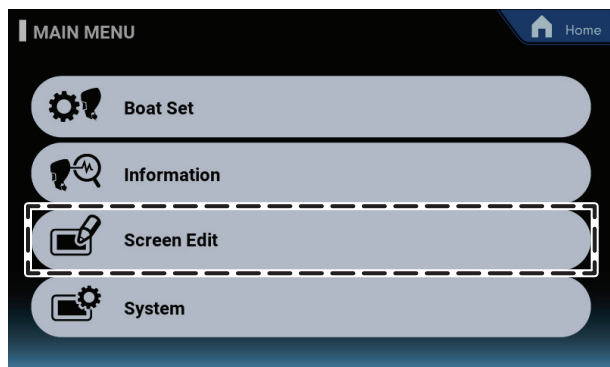
7. キーボードをタップして上限値を設定し、**SET** をタップします。



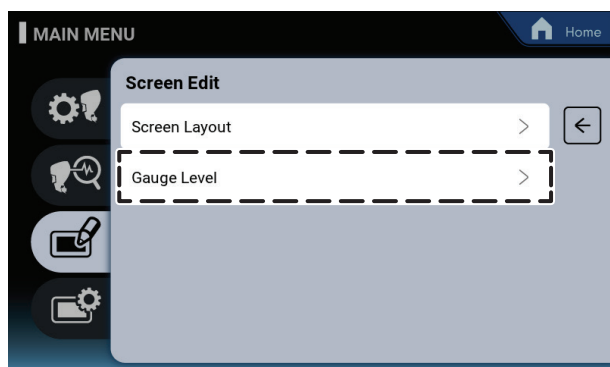
(25) Fuel flow / 瞬時燃料消費量表示範囲設定

情報表示画面のゲージ表示に該当する瞬時燃料消費量表示範囲を変更できます。

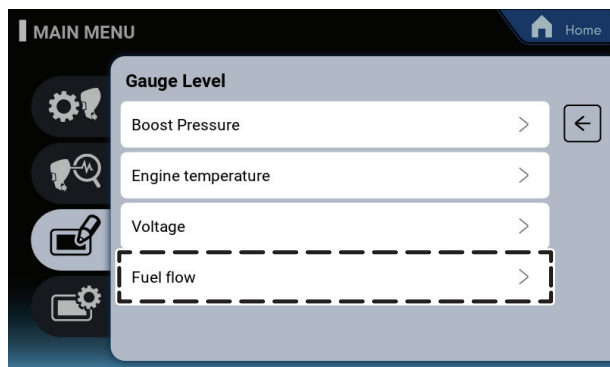
1. **Screen Edit** をタップします。



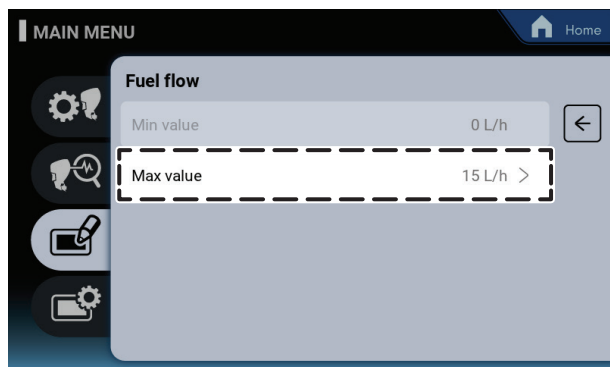
2. **Gauge Level** をタップします。



3. **Fuel flow** をタップします。

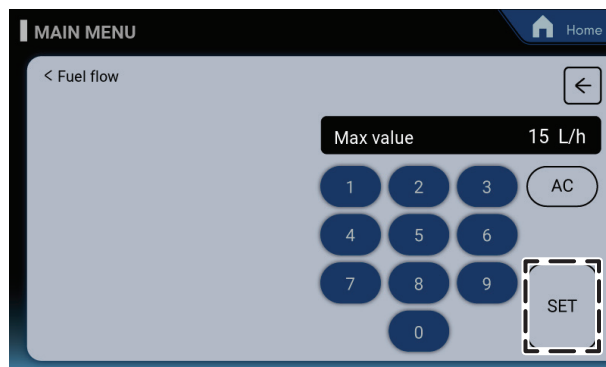


4. **Max value** をタップします。



5. キーボードをタップして上限値を設定し、**SET** をタップします。

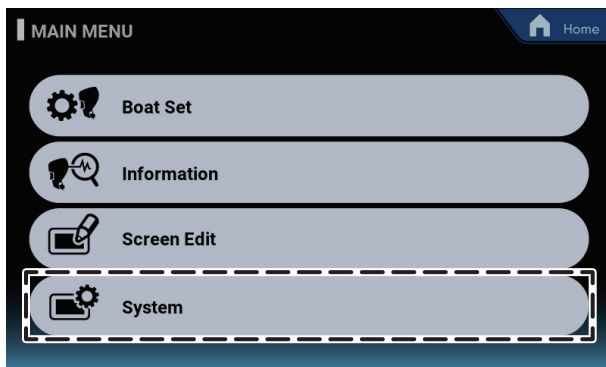
- 瞬時燃料消費量は上限値のみ設定できます。



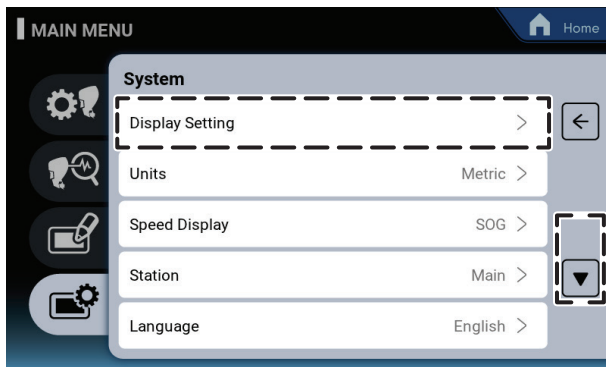
(26) Brightness / 輝度設定

画面の明るさを 8 段階で調整できます。

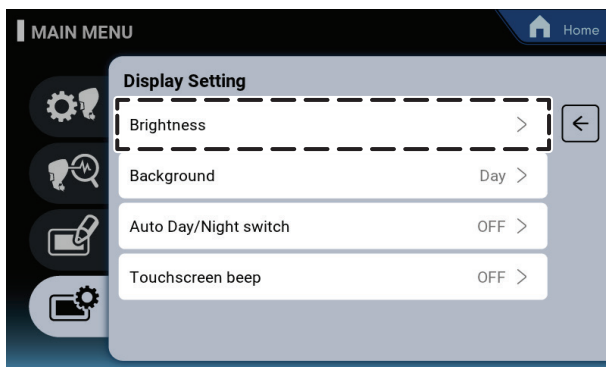
1. **System** をタップします。



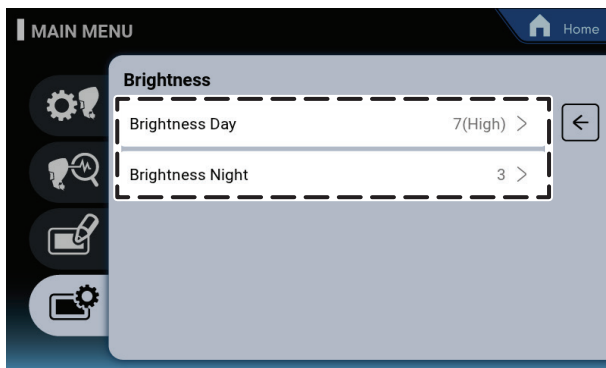
2. ▲▼をタップして **Display Setting** をタップします。



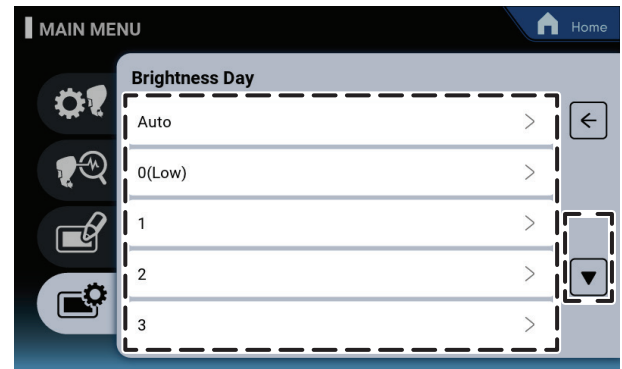
3. **Brightness** をタップします。



4. 輝度を調整したい背景モードをタップします。



5. ▲▼をタップして任意の輝度をタップします。



- 手順 4 で **Brightness Day** を選択すると、感度 **Auto** が設定できます。
- **Auto** 以外に設定している時は、調光スイッチ (P.3) を操作しても、画面の明るさを調整できます。

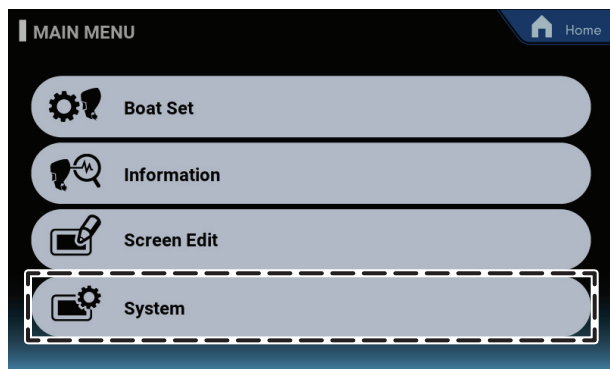
(27) Background / 背景設定

情報表示画面の背景色を以下の2つのモードから選択できます。

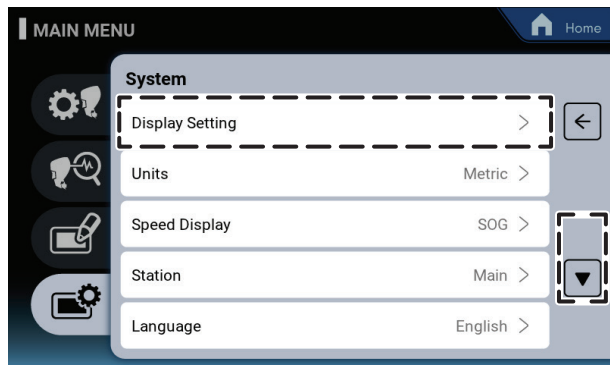
● 選択可能な背景色



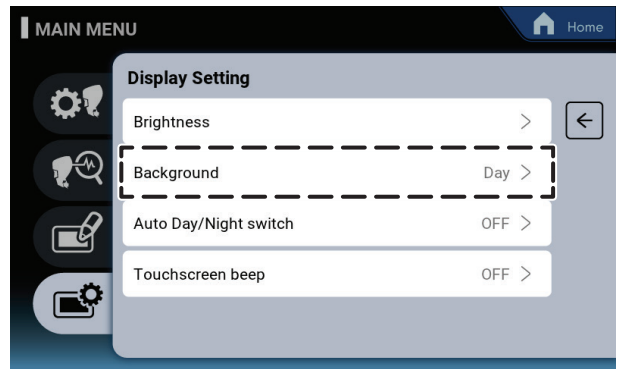
1. **System** をタップします。



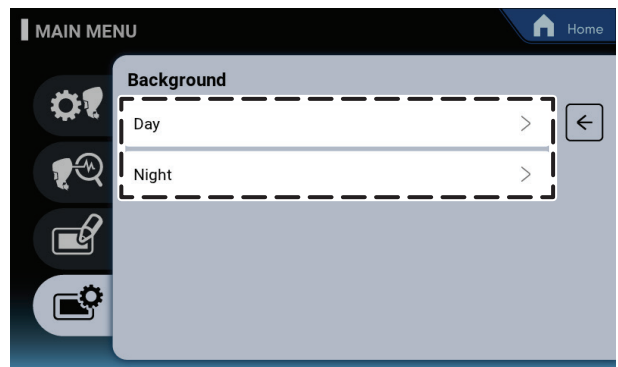
2. ▲▼をタップして **Display Setting** をタップします。



3. **Background** をタップします。



4. 任意の背景モードをタップします。

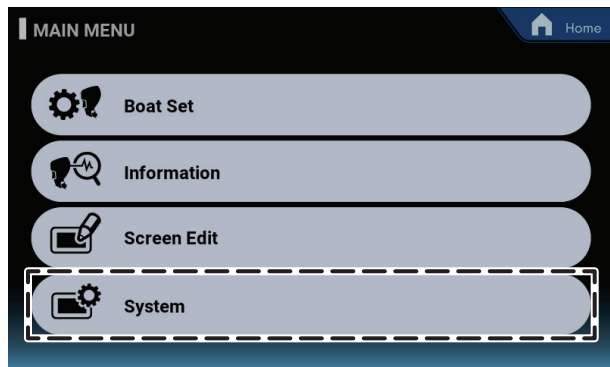


(28) Auto Day/Night switch / 背景切り替え感度設定

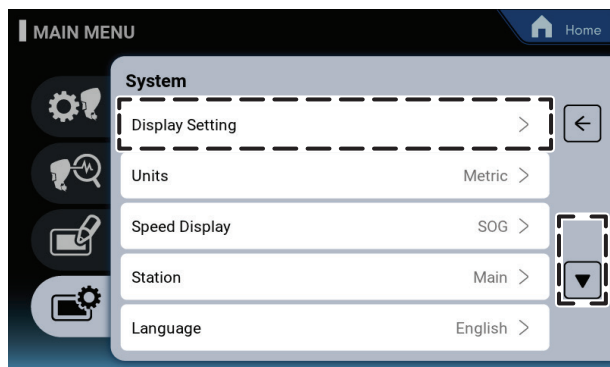
周囲の明るさに応じた背景モードの自動切り替えを設定できます。周囲明るさの感度は3段階から選択できます。

- 以下の条件下では、**Auto Day/Night switch** が設定できません。感度を選択しても自動的に **OFF** に設定されません。
 - 電圧ピンの外部輝度設定が ON (P.30)

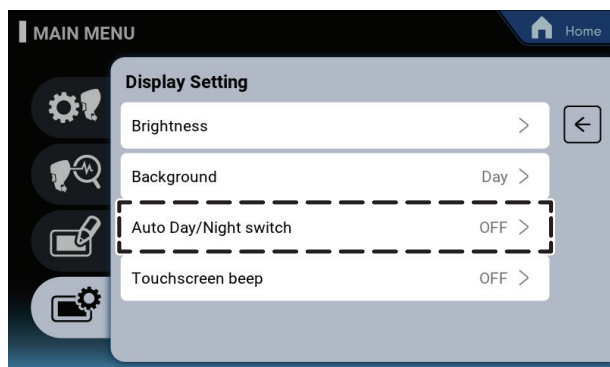
1. **System** をタップします。



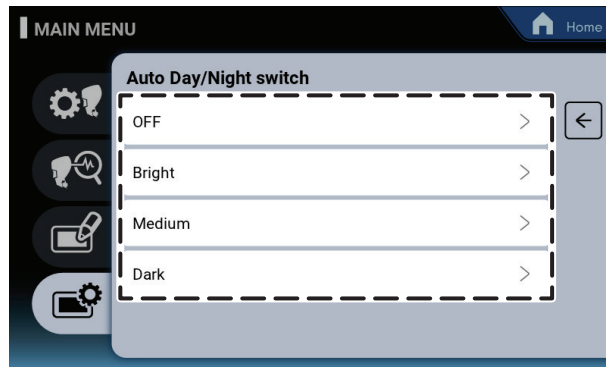
2. ▲▼をタップして **Display Setting** をタップします。



3. **Auto Day/Night switch** をタップします。



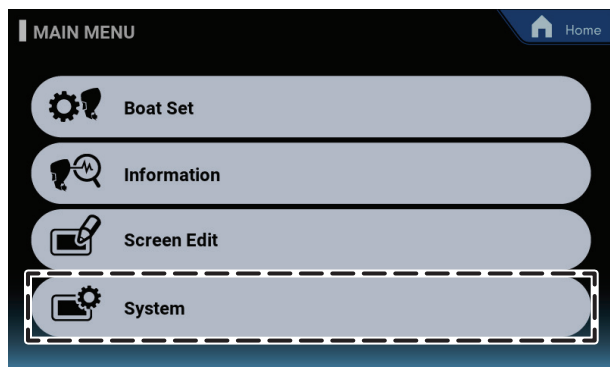
4. **OFF** または任意の感度をタップします。



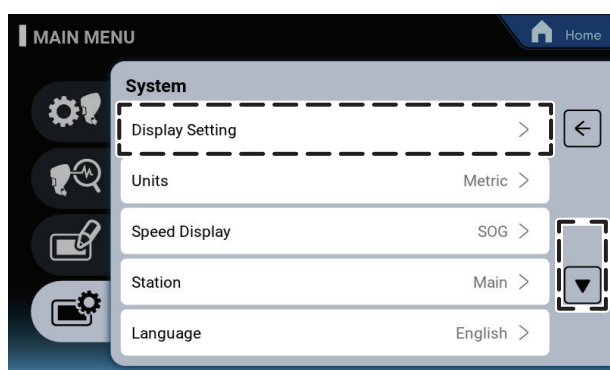
(29) Touchscreen beep / 操作音設定

タッチパネル操作時のビーブ音の ON/OFF を設定できます。

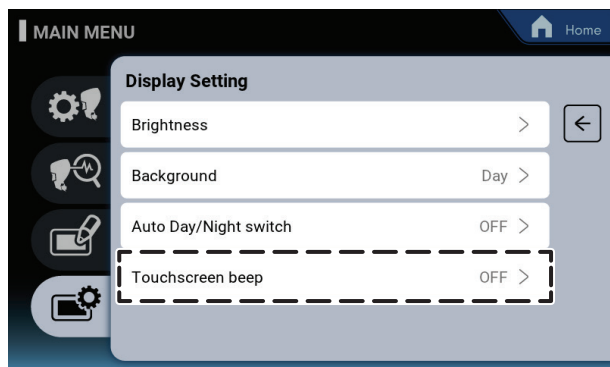
1. **System** をタップします。



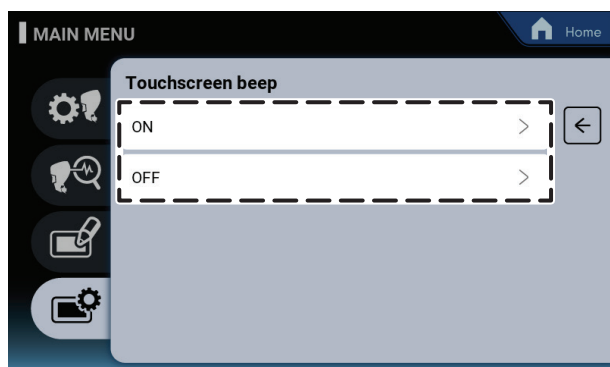
2. ▲▼をタップして **Display Setting** をタップします。



3. **Touchscreen beep** をタップします。



4. **ON** または **OFF** をタップします。

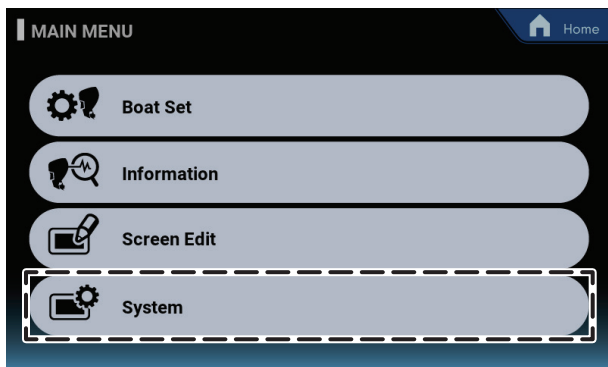


(30) Units / 単位設定

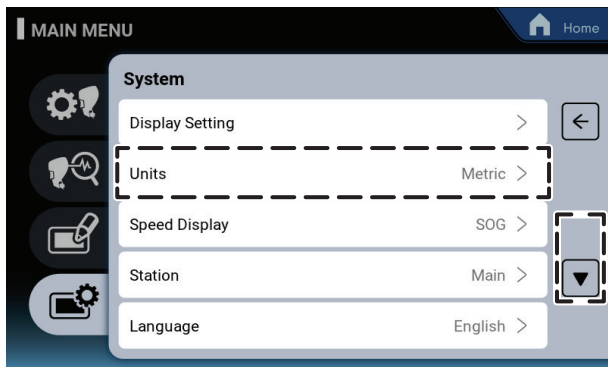
各項目の表示単位を変更できます。

Metric、**Imperial**、**Nautical**、**Custom** から選択できます。**Custom** を選択すると、項目ごとに表示単位を選択できます。

1. **System** をタップします。

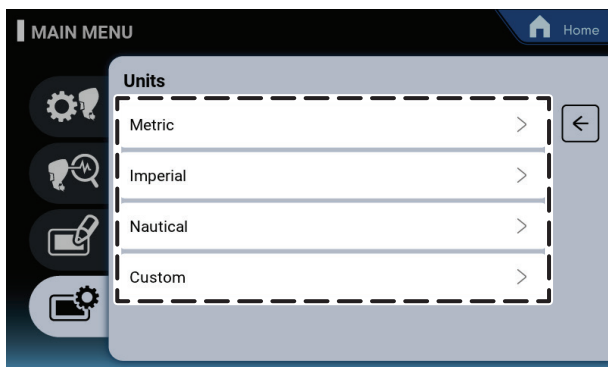


2. ▲▼をタップして **Units** をタップします。

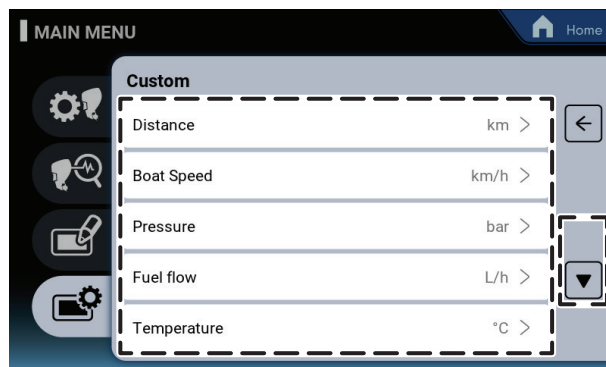


3. 任意の表示単位をタップします。

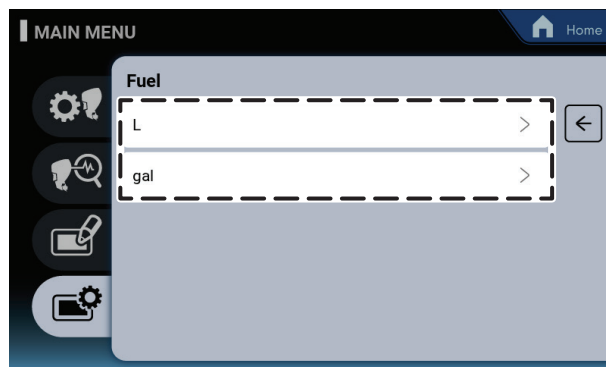
- **Custom** を選択した場合、手順 4 以降を実施してください。



4. ▲▼をタップして単位を変更したい項目をタップします。



5. 任意の表示単位をタップします。



(31) Speed Display / 表示船速設定

画面に表示する船速を以下の2パターンから選択できます。

設定項目	PGN	DATA
SOW (対水速度)	128259	Speed Water Referenced
SOG (対地速度)	129026	Speed Over Ground

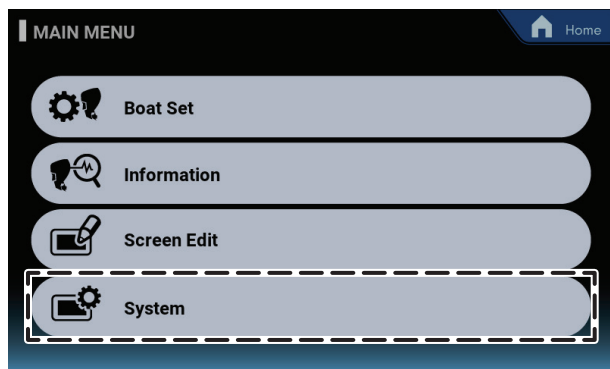
※ 船速を表示させるには、NMEA2000 に対応したセンサーを別途接続する必要があります。

機器起動時は接続状況に応じて、下記のように船速を切り替えます。

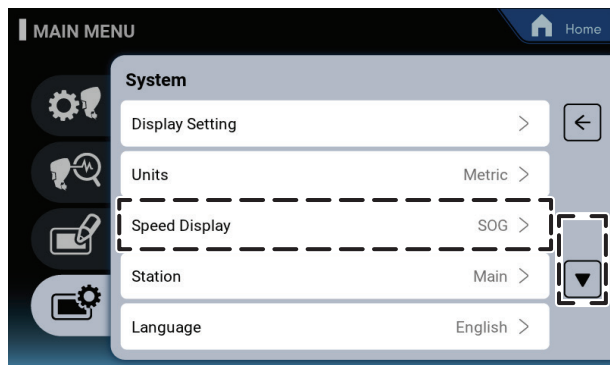
SOW (対水速度) データ	SOG (対地速度) データ	表示船速
あり	あり	SOG (対地速度)
なし	あり	SOG (対地速度)
あり	なし	SOW (対水速度)
なし	なし	SOG (対地速度)

※ どちらのデータもなしの場合、**SOG** (対地速度) のアイコンが表示されますが、速度は表示されません。

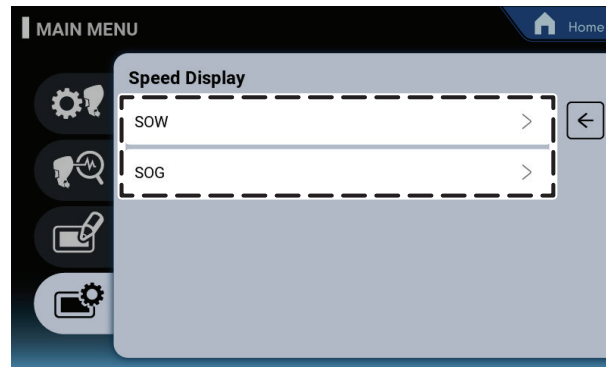
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Speed Display** をタップします。



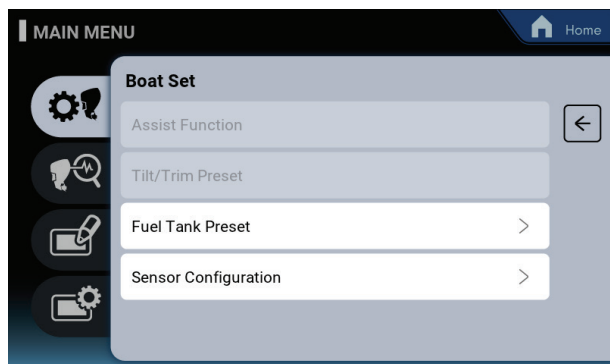
3. 任意の表示船速設定をタップします。



(32) Station / 取付ステーション設定

ディスプレイの取り付け位置を船のステーション位置（メインまたはセカンド）に合わせてペアリングしてください。非アクティブ状態のステーションのディスプレイでは **Boat Set** 画面の **Assist Function** と **Tilt/Trim Preset** がグレーアウトされ、設定変更できません。

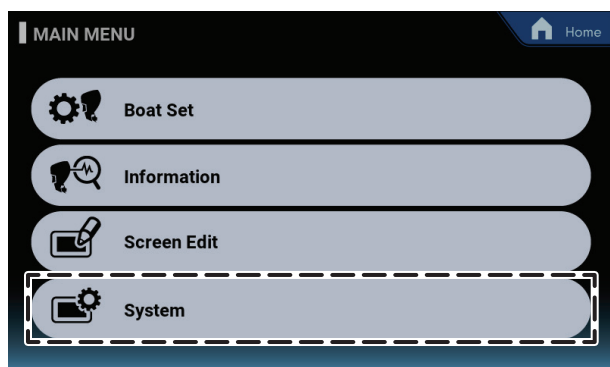
※ アクティブモードについては船外機本機の取扱説明書をご確認ください。



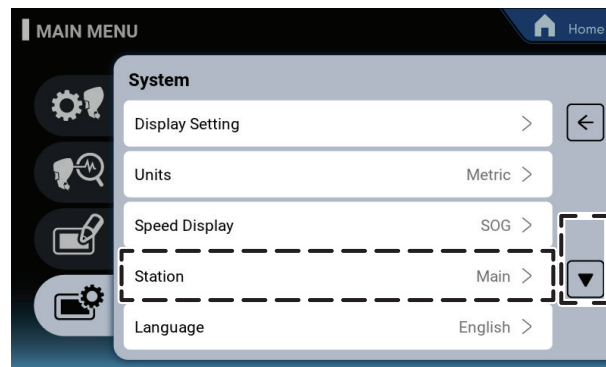
エンジン情報はアクティブステーション、非アクティブステーションに関わらず、いずれのステーションでも表示されます。

アクティブステーション	取付ステーション設定			
	Main		2nd	
	エンジン情報表示	Assist Function 設定	エンジン情報表示	Assist Function 設定
メインステーション	○	○	○	× (機能制限)
セカンドステーション	○	× (機能制限)	○	○

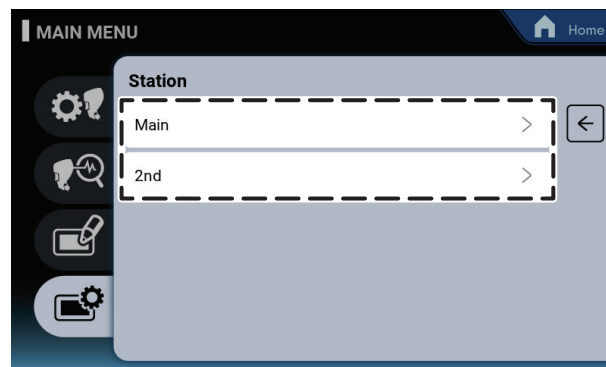
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Station** をタップします。



3. ディスプレイを取り付けているステーションをタップします。

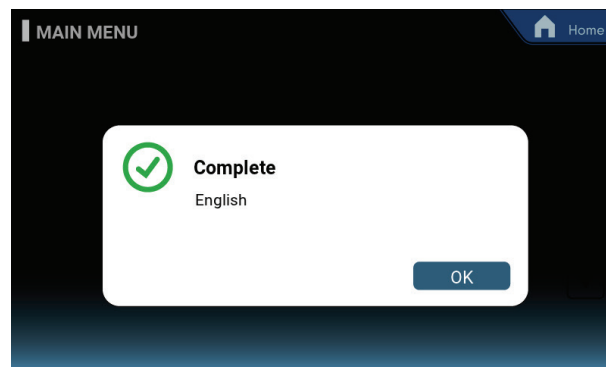


(33) Language / 表示言語設定

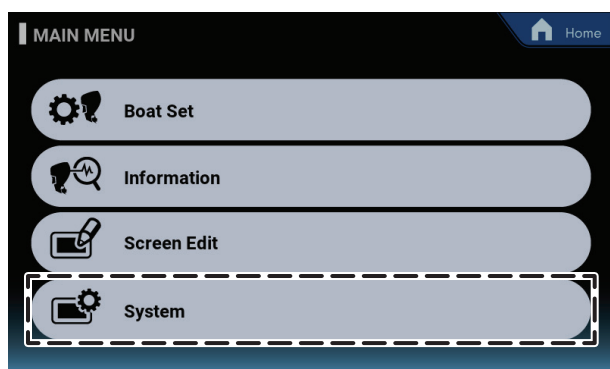
画面に表示される言語を以下の 8 言語から選択できます。

No.	画面表記	言語
1	English	英語
2	Français	フランス語
3	Deutsch	ドイツ語
4	Italiano	イタリア語
5	Española	スペイン語
6	Svenska	スウェーデン語
7	Nederlands	オランダ語
8	Türkçe	トルコ語

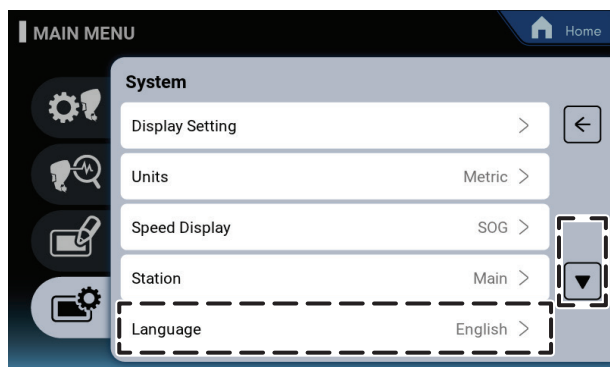
- Language の設定が正常に完了すると、**Complete** とポップアップが表示されます。



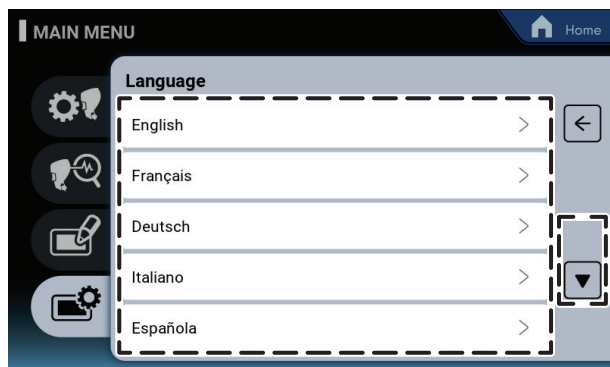
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Language** をタップします。



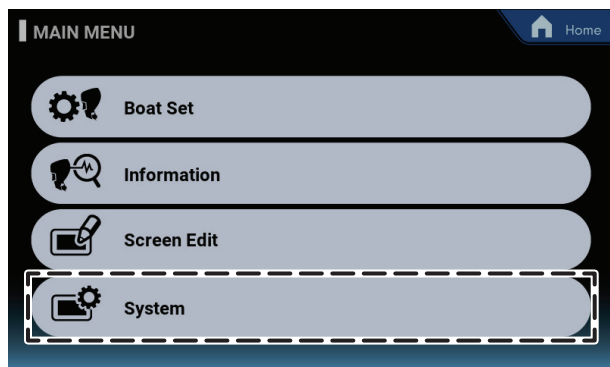
3. ▲▼をタップして任意の言語をタップします。



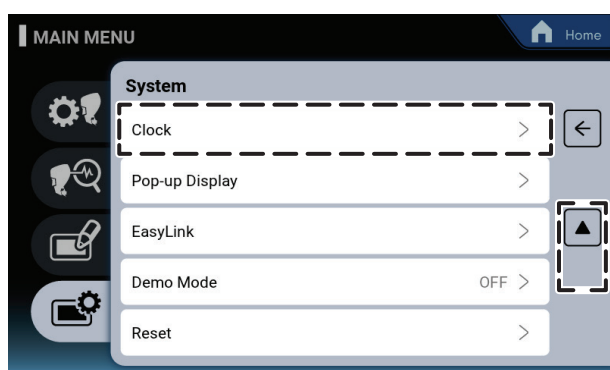
(34) Clock format / 時刻表示形式設定

時刻の表示形式を、12 時間制または 24 時間制から選択できます。

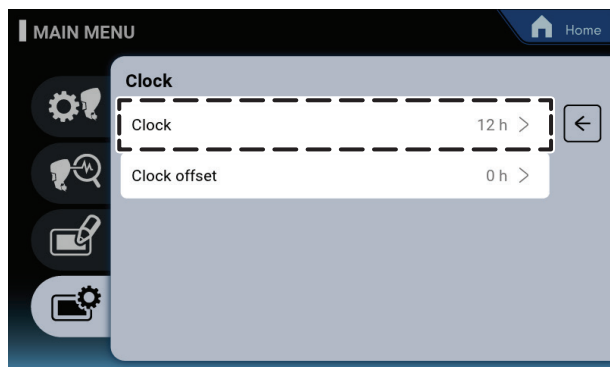
1. **System** をタップします。



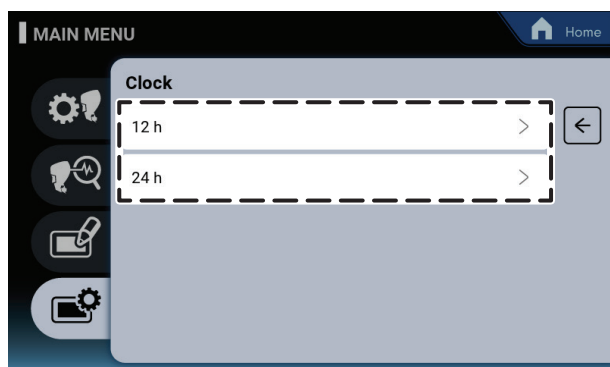
2. ▲▼をタップして **Clock** をタップします。



3. **Clock** をタップします。



4. 任意の時刻の表示形式をタップします。

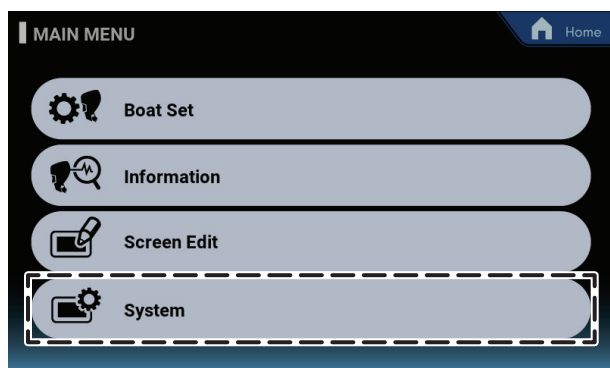


(35) Clock offset / 時刻オフセット設定

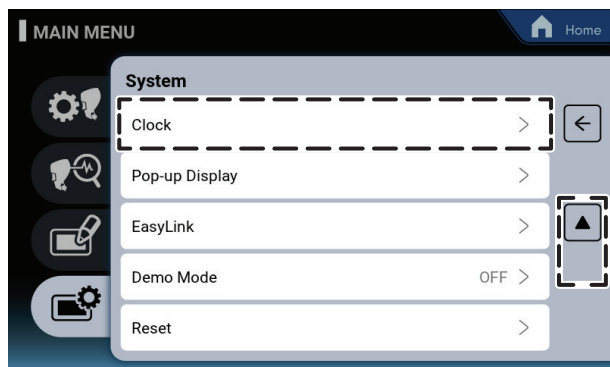
協定世界時（UTC）からの時刻の差を補正して表示する設定ができます。

ご使用の地域の時刻が正しく表示されるように設定してください。

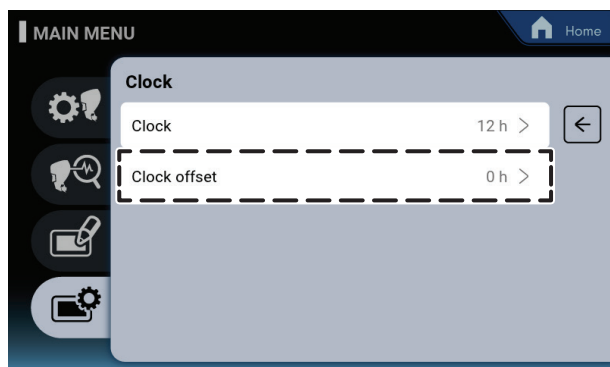
1. **System** をタップします。



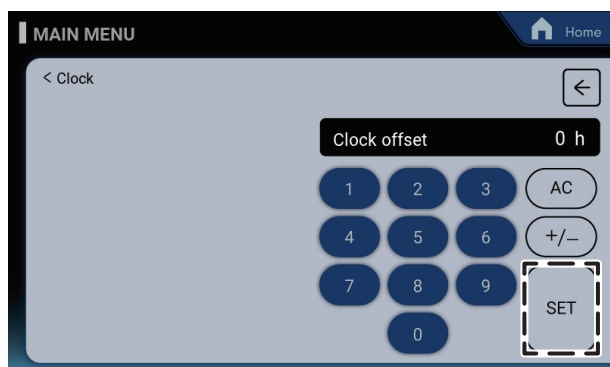
2. ▲▼をタップして **Clock** をタップします。



3. **Clock offset** をタップします。



4. キーボードをタップして時刻の差を設定し、**SET** をタップします。



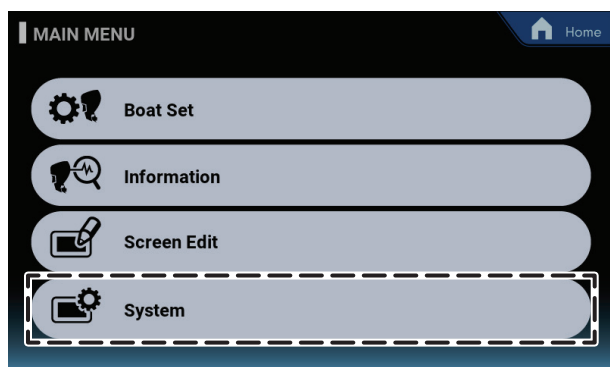
- ・ +/- をタップすると、入力した数値の符号が反転します。

(36) Pop-up Display / ポップアップ設定

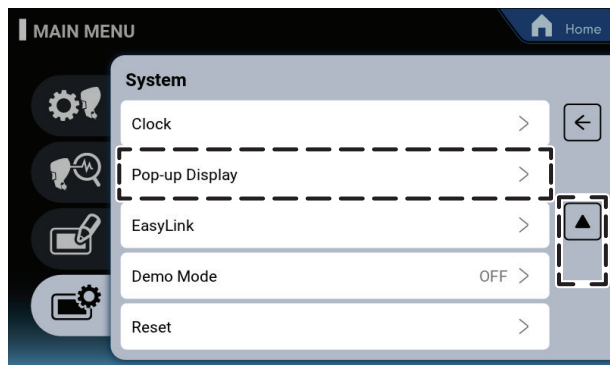
下記項目のポップアップ通知の ON/OFF 設定ができます。

No.	画面表記	通知内容
1	Check Engine	エンジン制御、セキュリティシステムの異常
2	Over Temperature	エンジンのオーバーヒート
3	Low Oil Pressure	エンジンの油圧異常
4	Water in Fuel	燃料系統への水混入
5	Charge Indicator	充電システム異常
6	Rev Limit Exceeded	エンジンの過回転
7	Engine Emergency Stop	エマージェンシーストップスイッチの作動
8	Warning Level 1	特に注意が必要な異常
9	Warning Level 2	Warning Level 1 以外の異常
10	Power reduction	エンジン回転数の制限
11	Maintenance Needed	定期点検の時期
12	Sensor Malfunction	センサー類の故障

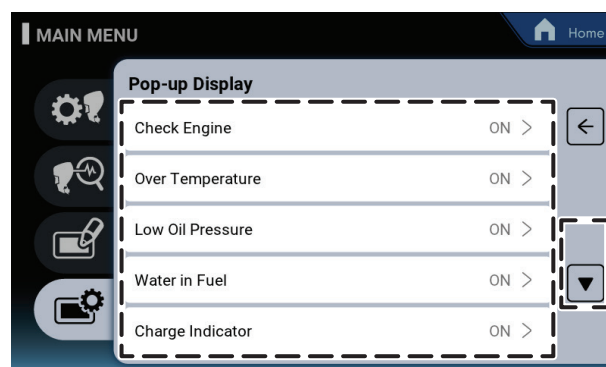
1. System をタップします。



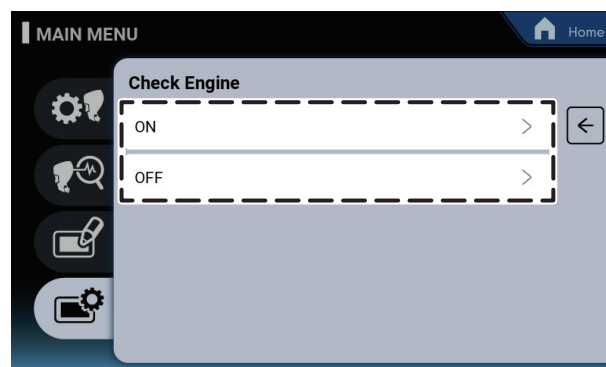
2. ▲▼をタップして Pop-up Display をタップします。



3. ▲▼をタップして表示 ON/OFF 設定したい項目をタップします。



4. ON または OFF をタップします。



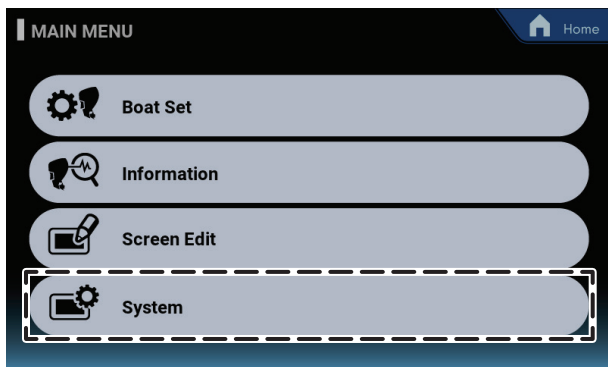
(37) EasyLink / EasyLink 設定

各 EasyLink コネクタで送信するデータのエンジン番号またはタンク番号を選択できます。

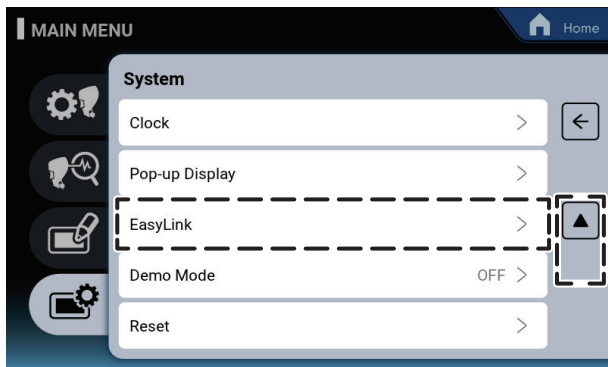
EasyLink コネクタに Veratron 社製の EasyLink 対応ゲージを接続すると、NMEA2000 に対応していないゲージにもデータを表示できます。

最大 16 台のサテライトゲージを接続可能です。

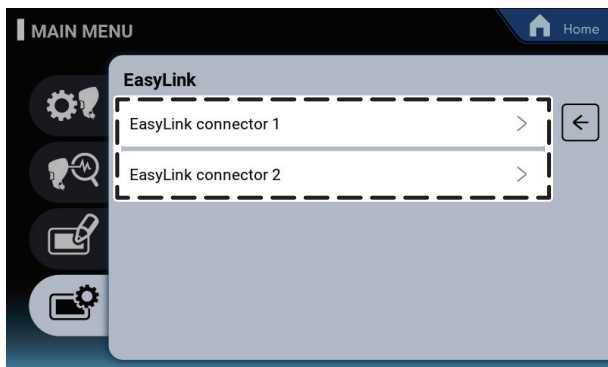
1. System をタップします。



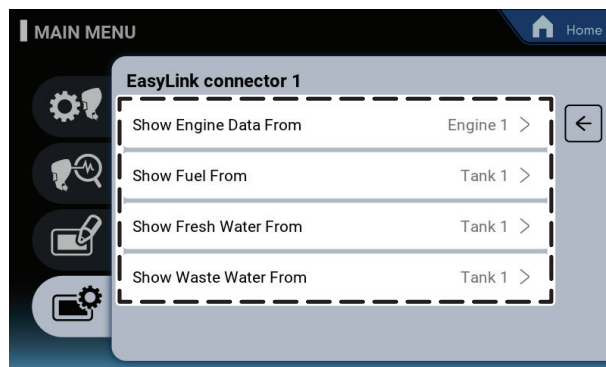
2. ▲▼をタップして EasyLink をタップします。



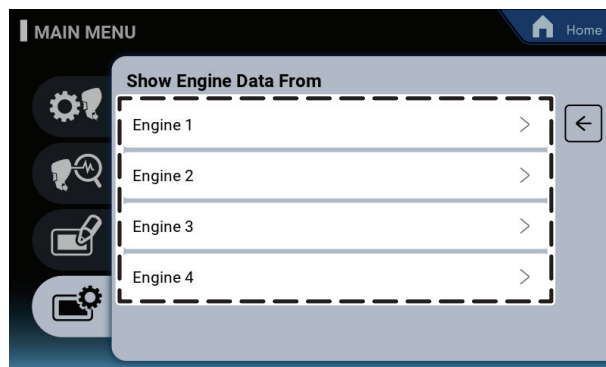
3. エンジン番号またはタンク番号を設定したい EasyLink コネクタをタップします。



4. エンジン番号またはタンク番号を設定したいデータ項目をタップします。



5. 任意のエンジン番号またはタンク番号をタップします。

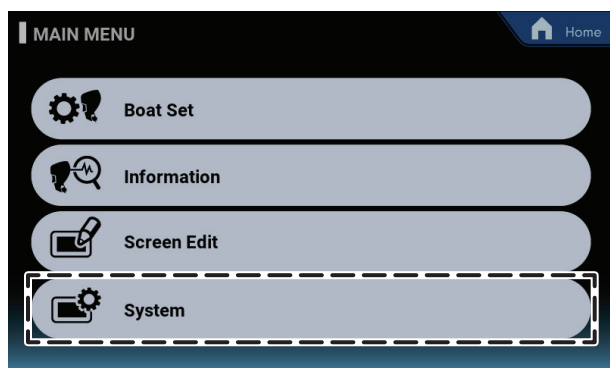


(38) Demo Mode / デモモード設定

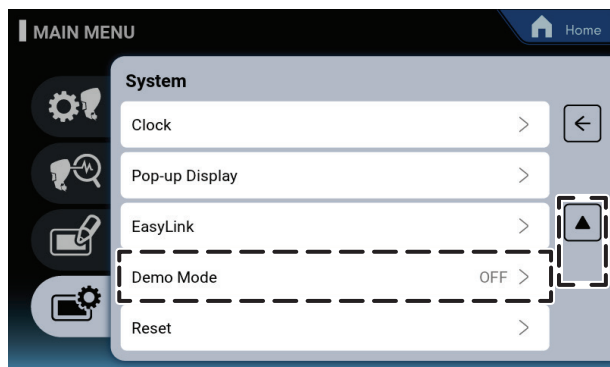
デモ用表示画面に切り替えられます。

Demo Mode を **ON** にすると、情報表示画面で設定中の内容がどのように表示されるかを実際に確認できます。
デモモードは、使用后必ず **OFF** に戻してください。

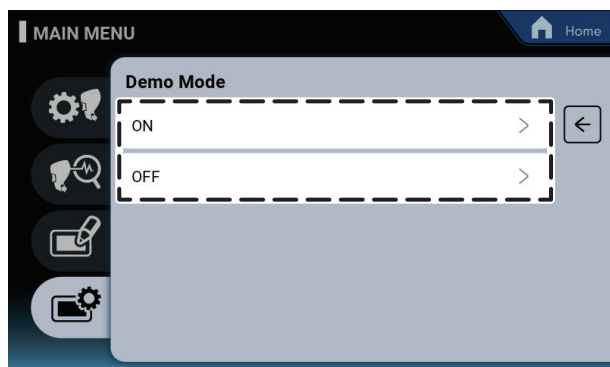
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Demo Mode** をタップします。



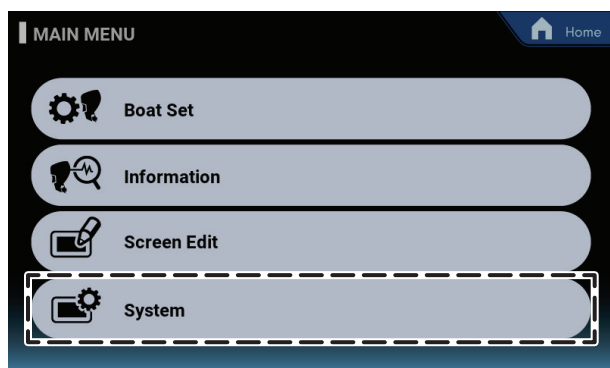
3. **ON** または **OFF** をタップします。



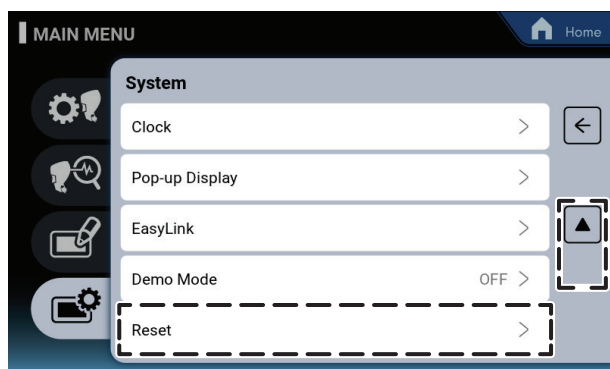
(39) Reset Fuel Used / 総燃料消費量リセット

総燃料消費量をリセットできます。

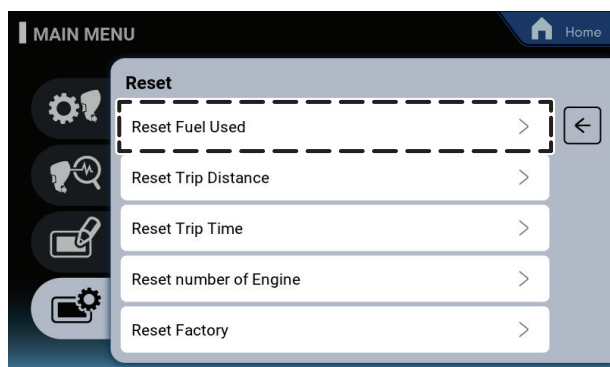
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Reset** をタップします。



3. **Reset Fuel Used** をタップします。

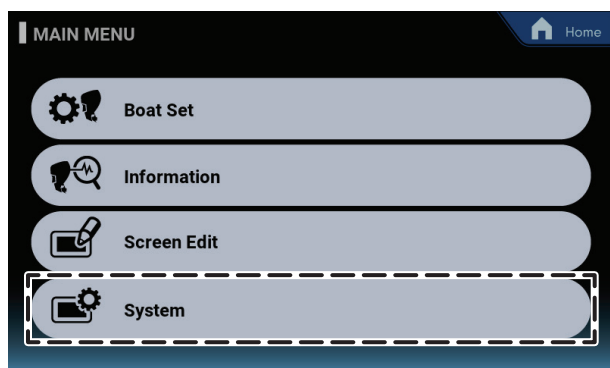


4. **YES** をタップします。

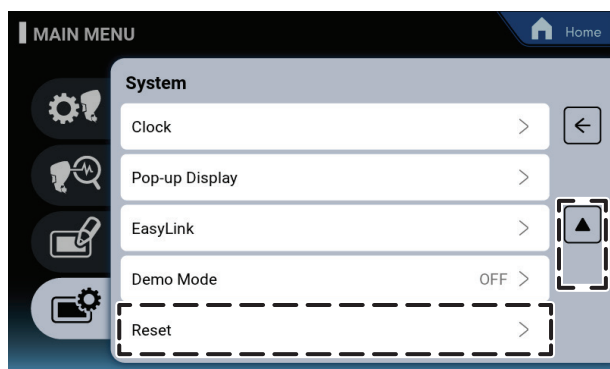
(40) Reset Trip Distance / 総航行距離リセット

総航行距離をリセットできます。

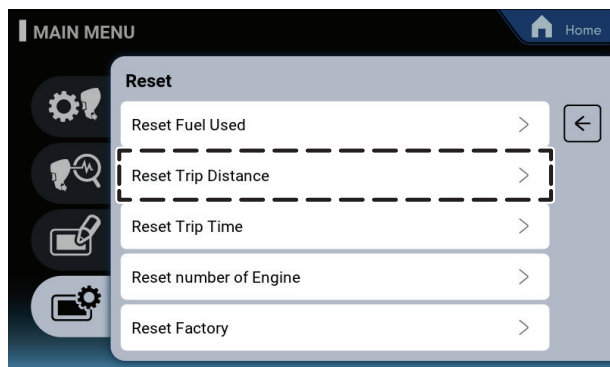
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Reset** をタップします。



3. **Reset Trip Distance** をタップします。

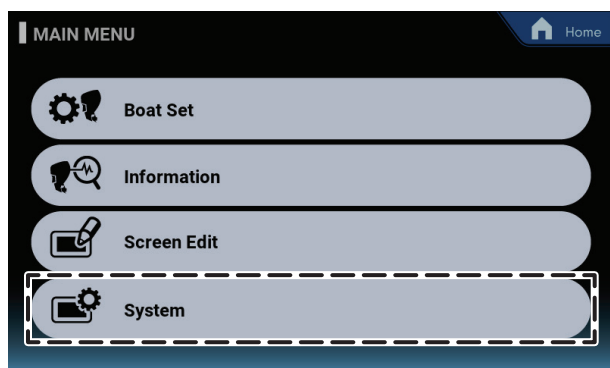


4. **YES** をタップします。

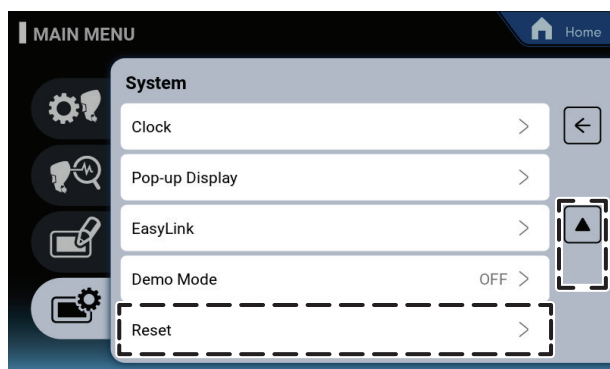
(41) Reset Trip Time / 総航行時間リセット

総航行時間をリセットできます。

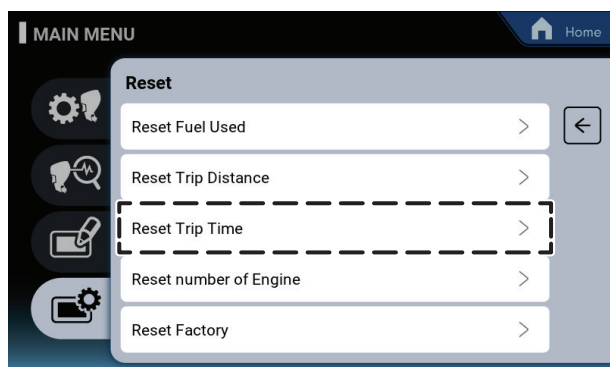
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Reset** をタップします。



3. **Reset Trip Time** をタップします。

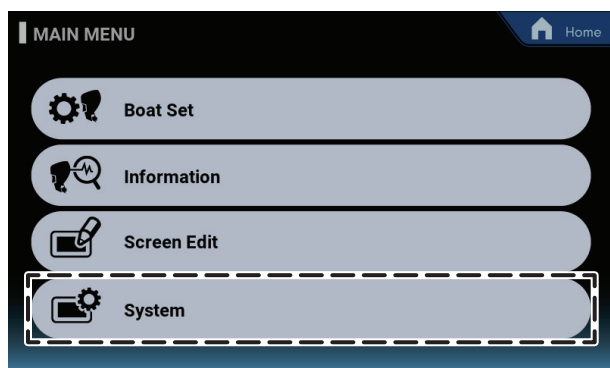


4. **YES** をタップします。

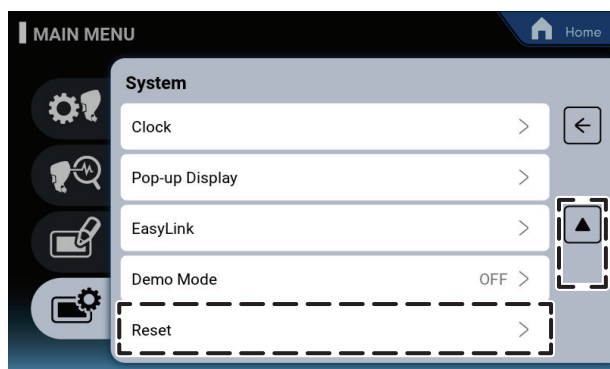
(42) Reset number of Engine / エンジン数リセット

「はじめて電源を入れた時に行う設定」(P.4) で設定したエンジンの数をリセットします。
リセット後は、そのまま新しくエンジンの数を設定できます。

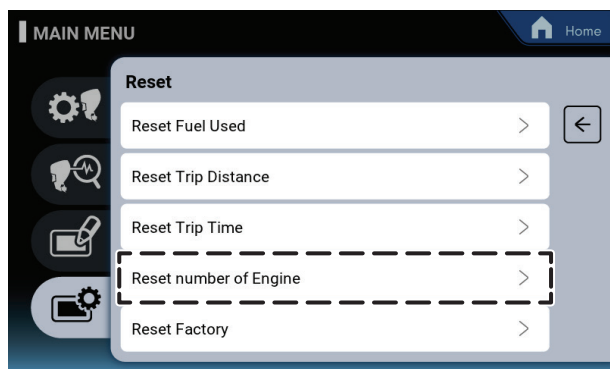
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Reset** をタップします。



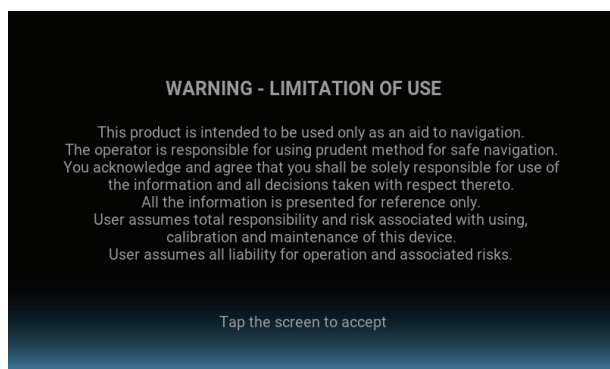
3. **Reset number of Engine** をタップします。



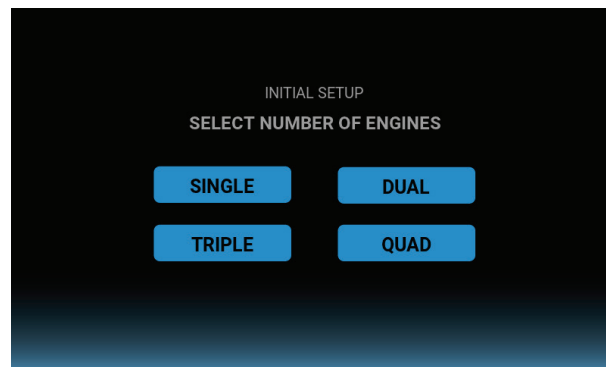
4. **YES** をタップします。

- ・ ロゴが表示された後、自動で起動画面が表示されます。

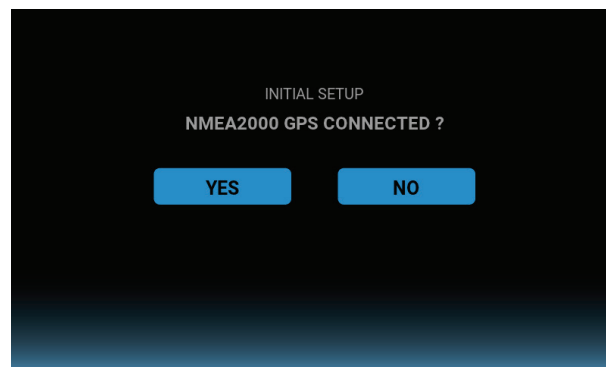
5. 起動画面をタップします。



6. 新しく設定するエンジンの数をタップします。



7. NMEA2000 系統に GPS デバイスが接続されているか選択します。



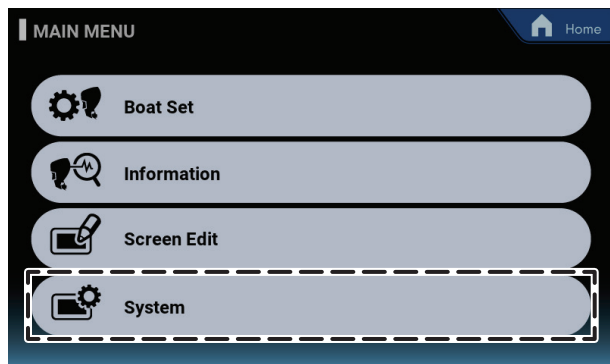
(43) Reset Factory / 工場出荷状態へリセット

MENU 画面の **Information**、**Screen Edit**、**System** にて設定した内容を、工場出荷状態へリセットできます。

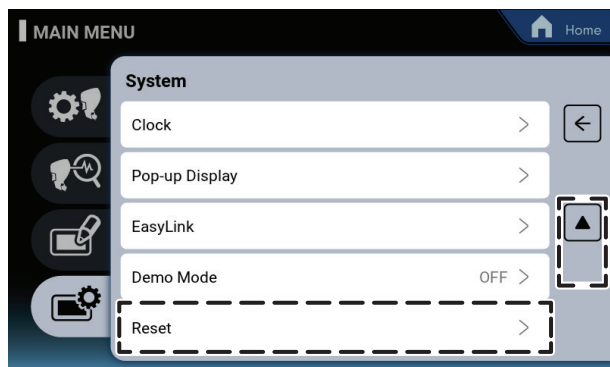
※ クルーズコントロール・オートマチックチルト・トリムサポートの設定内容はリセットされません。

Fuel Tank Preset および他の **Sensor Configuration** の設定値 / キャリブレーション値はリセットされます。

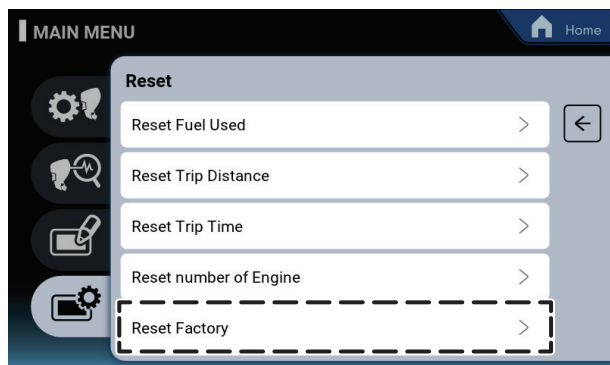
1. **System** をタップします。



2. ▲▼をタップして **Reset** をタップします。



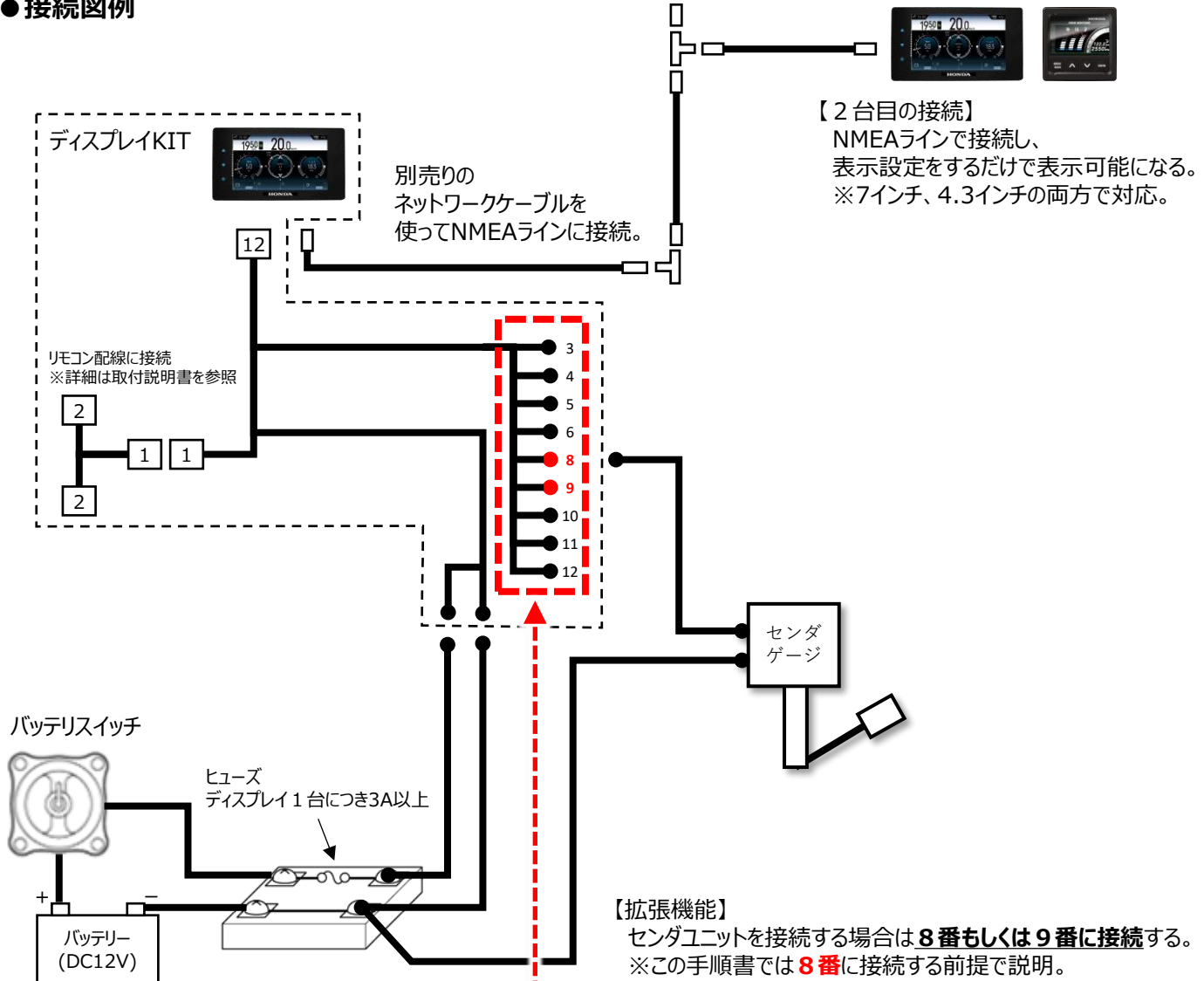
3. **Reset Factory** をタップします。



4. **YES** をタップします。

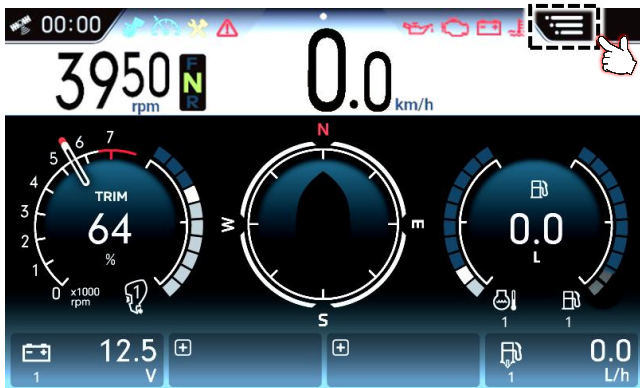
- ・ ロゴが表示された後、自動で起動画面が表示されます。
(P.4)

● 接続図例

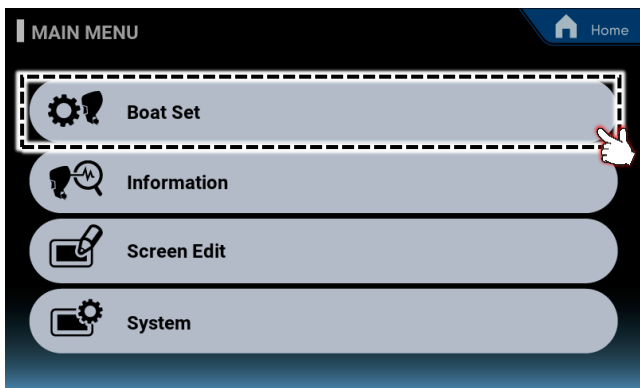


ピン番号	配線色	用途
3	白	ブザー (500mA)
4	緑	タコメータ (0-2kHz)
5	青	未使用
6	青/白	未使用
8	灰	抵抗入力 (0-400Ω)
9	茶	抵抗入力 (0-400Ω)
10	橙	ON/OFF (0-5V)
11	空	電流入力 (4-20mA)
12	紫	電流入力 (4-20mA)

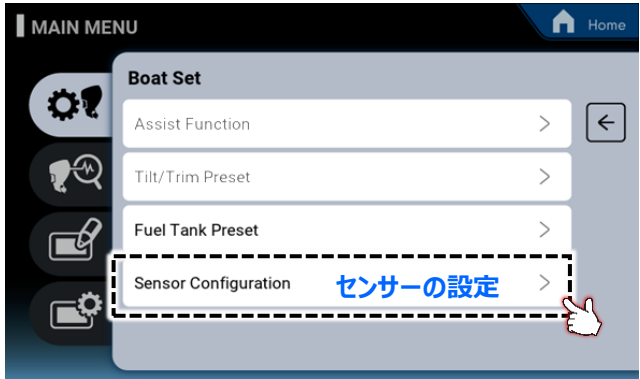
① 画面右上から[メインメニュー]を開く。



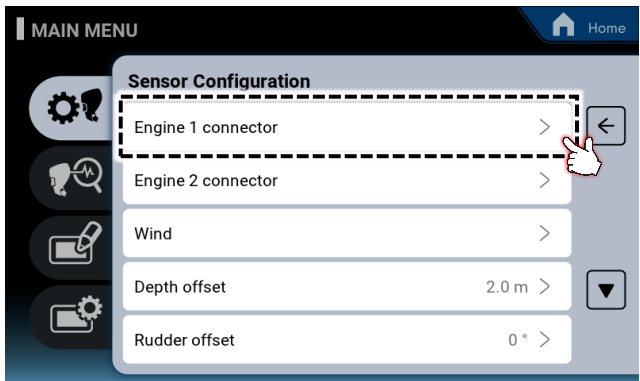
② [ポートセット]をタップ。



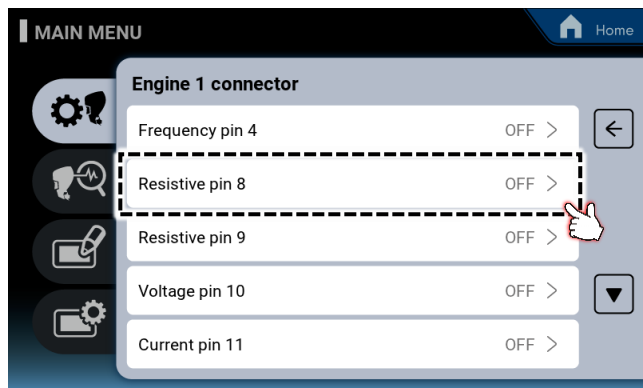
③ [センサーコンフィギュレーション]をタップし、どの端子にセンダゲージを接続しているのか認識させる。



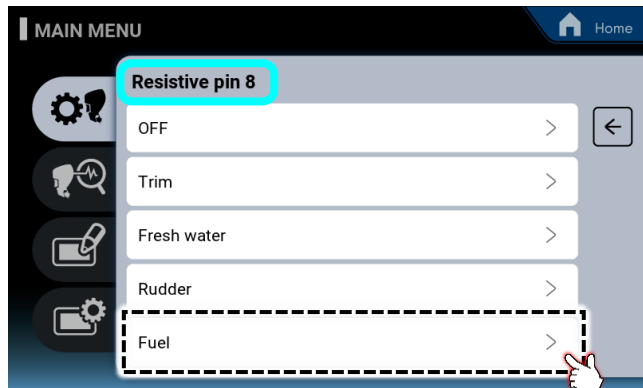
④ [エンジン1 コネクター]をタップ。



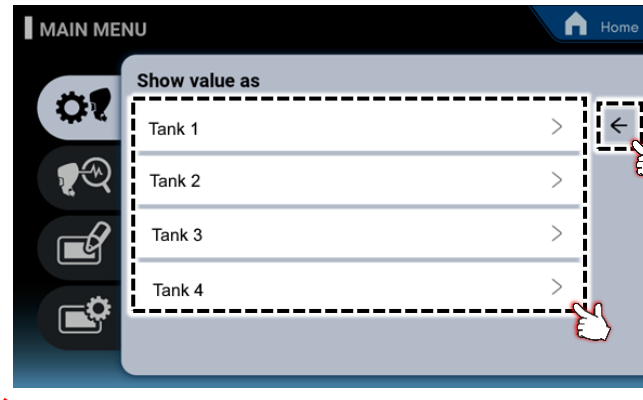
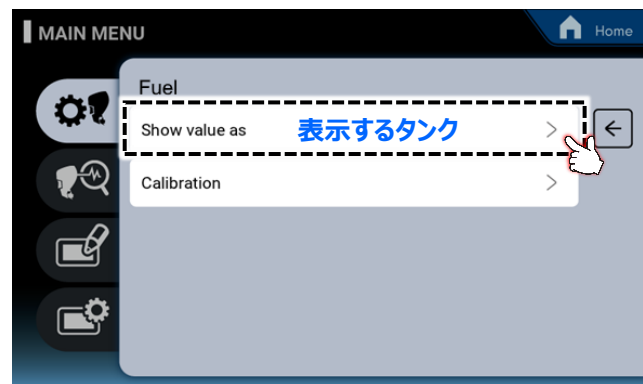
⑤ [8番ピン(灰色)]に接続した場合の画面。



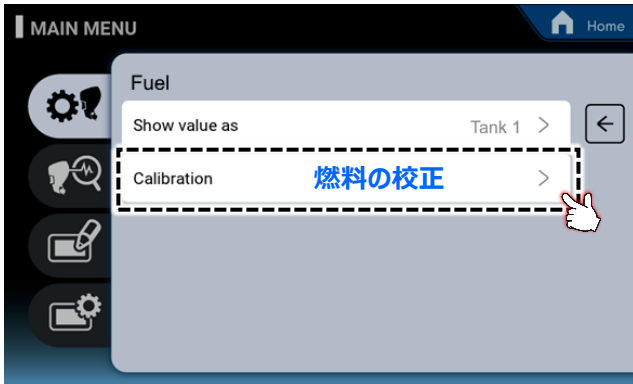
⑥ [フューエル]をタップ。



⑦ ※燃料タンクが複数ある場合だけ実施。
※タンクが1つの場合は操作不要。



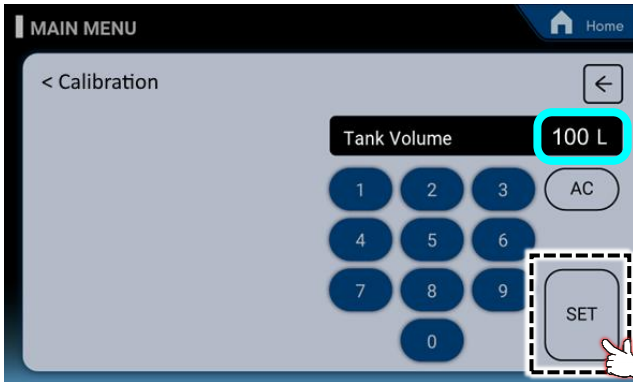
⑧ [キャリブレーション]をタップ。



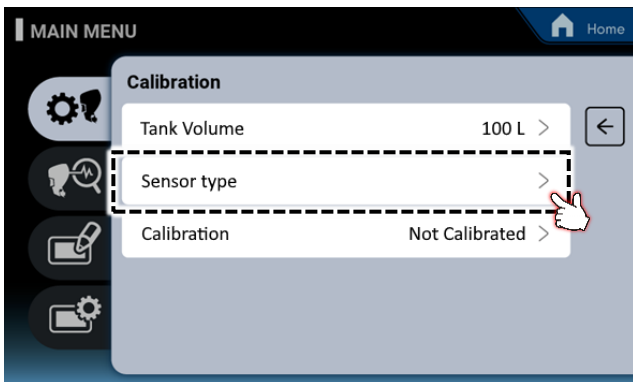
⑨ [タンクボリューム]をタップ。



⑩ タンクの容量を入力して[SET]をタップ。



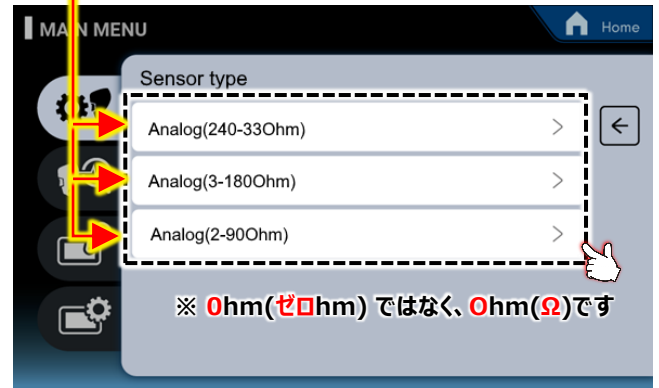
⑪ [センサータイプ]をタップ。



⑫ センダゲージの抵抗値と合致するものを、下記センサータイプの3種類から選択する。

これでセンダゲージの接続認識作業は完了。

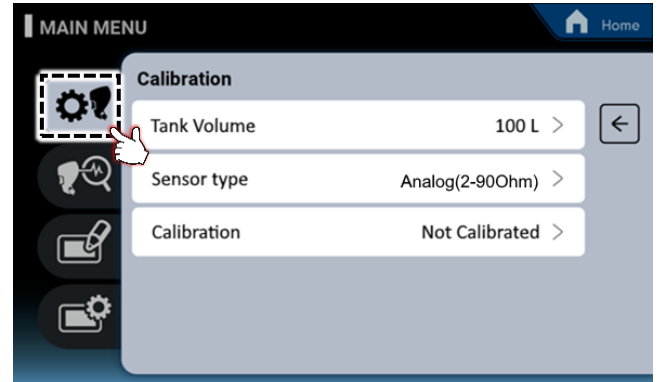
※下記3種類以外のゲージの場合 → ⑳へ



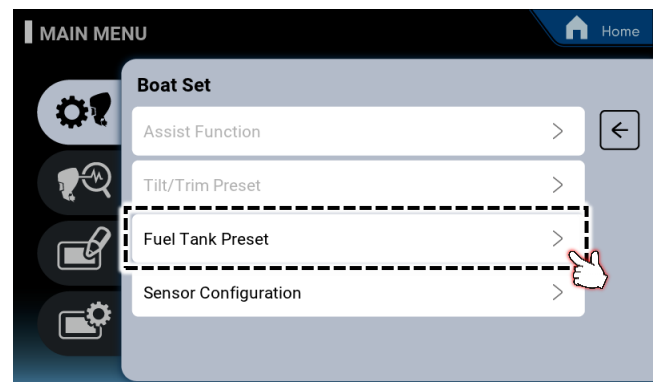
⑬ ここからセンダゲージの校正作業を行う。

※この画面の [Calibration] に [Not Calibrated] と表示されているが、こちらは設定しなくてかまわない。

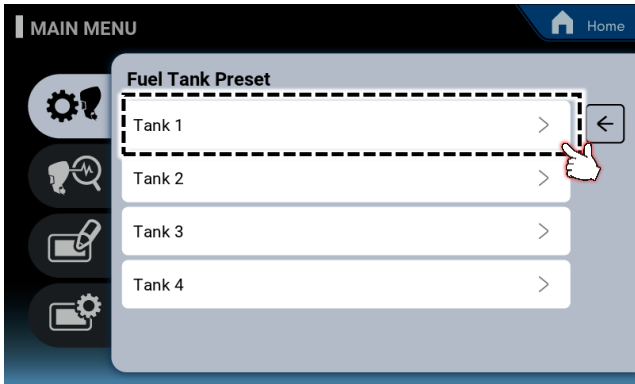
[ポートセット]をタップ。



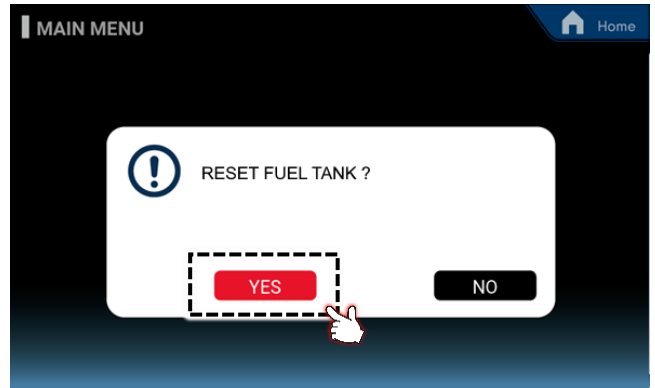
⑭ [フューエルタンクプリセット]をタップ。



⑮ [タンク1]をタップ。



⑮ [YES]をタップ。

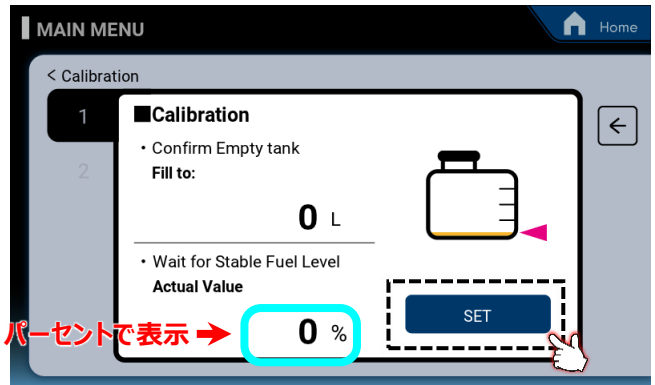


⑯ [キャリブレーション]をタップ。



※ 設定pointを増やすと下記の手順が増える。

⑰ 燃料が空の状態ですET。



⑰ タンク形状が複雑な場合は2pointではなく、3pointもしくは5pointで設定する。

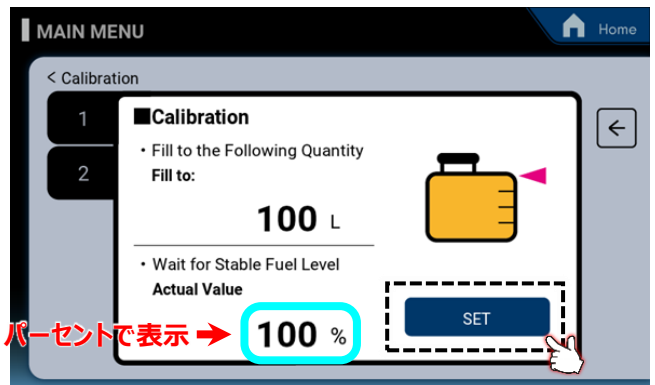
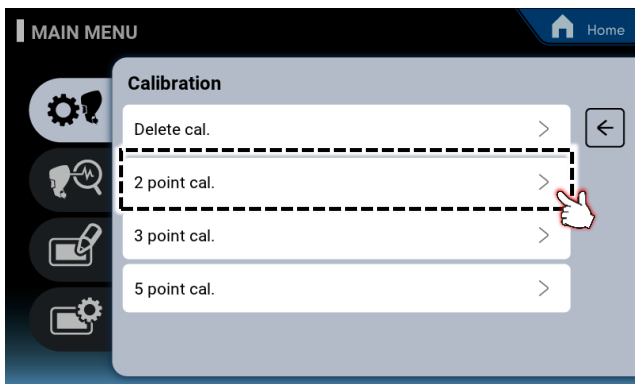
pointを増やすと途中の変化がより精度よく表示できる。

※この資料では2pointで説明。

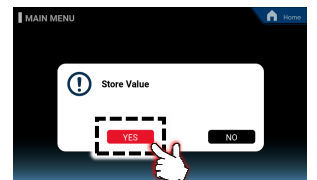
[YES]をタップ。



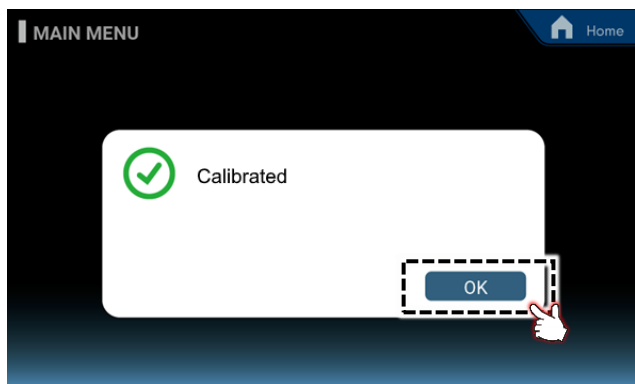
⑱ 画面表示に従い、満タン状態でSET。



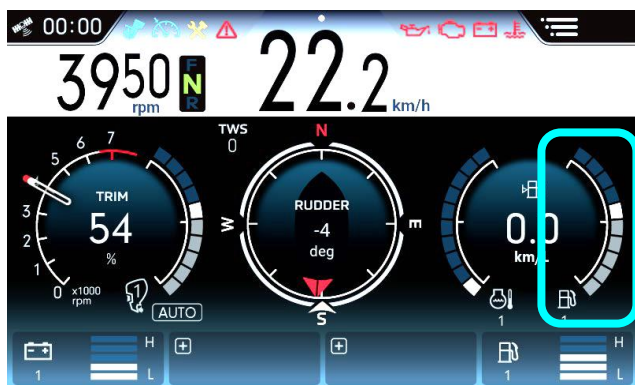
[YES]をタップ。



② [OK]をタップ。



② トップ画面右側で燃料のレベルゲージを確認して、これで完了です。

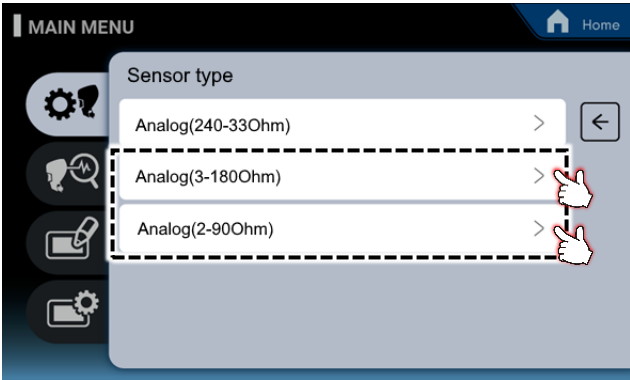


➔ ⑫からのつづき...

⑬ センサータイプ(抵抗値)の3種類以外の場合。

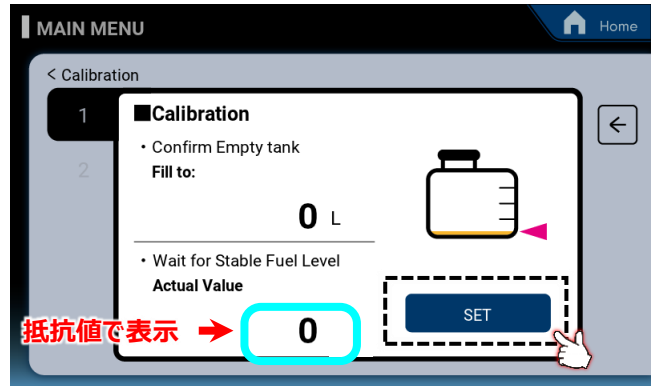
例：0Ω(空)～320Ω(満タン)のセンダーユニットを400Lの燃料タンクに設置する場合。

※事例は0Ω側が(空)なので下記どちらかを選択する。

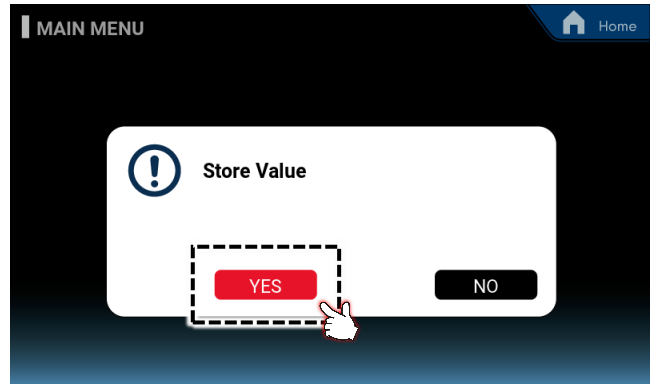


- Analog(240-33 Ohm) } 0Ω側が(満タン)の場合
大 小
- Analog(3-180 Ohm) } 0Ω側が(空)の場合
小 大
- Analog(2-90 Ohm) } 小 大

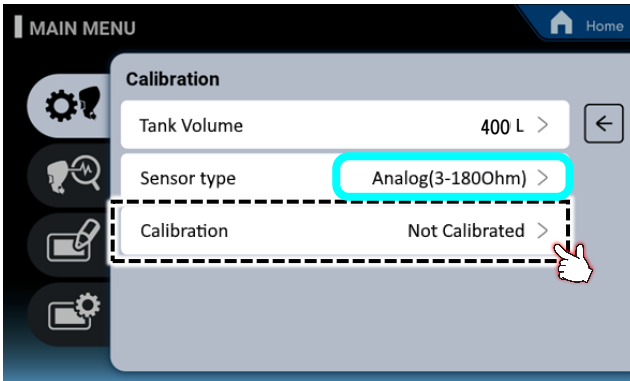
⑭ 燃料が(空)の状態です。[SET]をタップ。



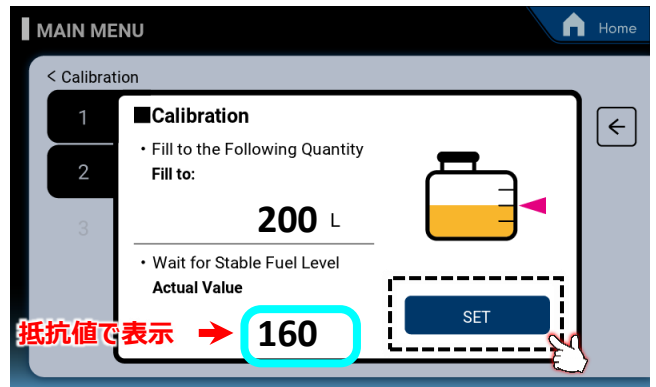
[YES]をタップ。



⑮ [キャリブレーション]をタップ。



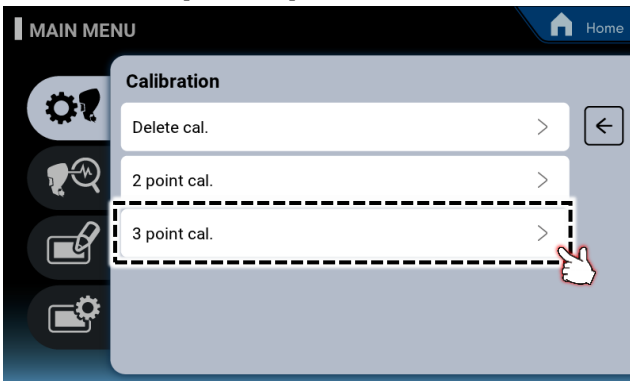
⑯ 燃料が(半分)の状態です。[SET]をタップ。



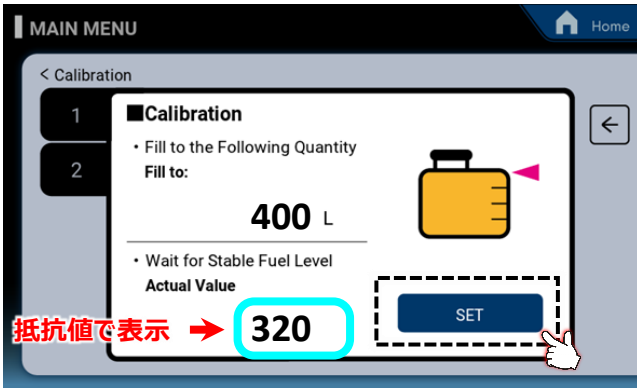
[YES]をタップ。



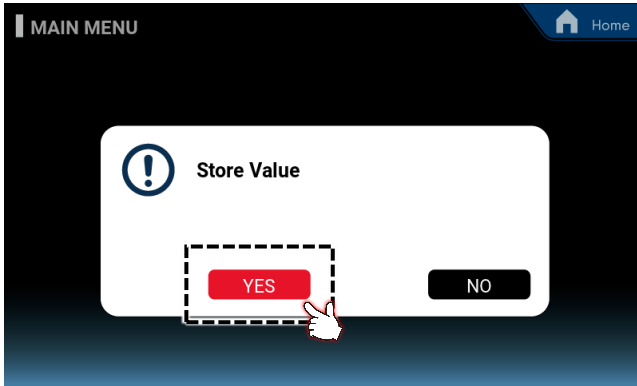
⑰ 3ポイント(上中下)で設定の場合です。



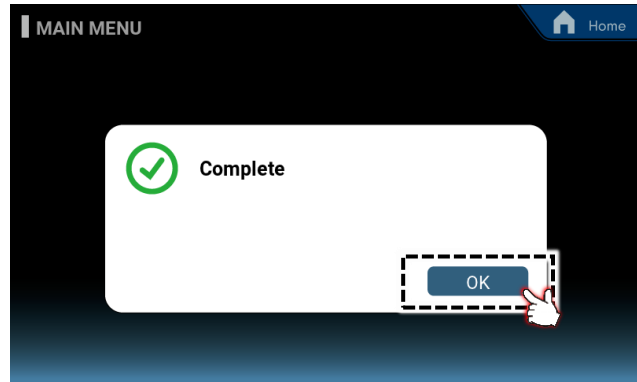
28 燃料が(満タン)の状態です[SET]をタップ。



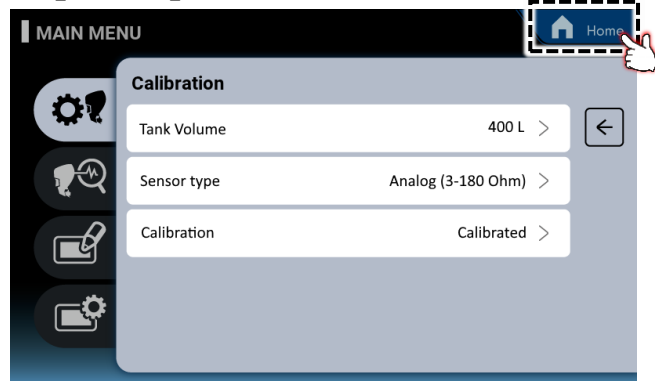
[YES]をタップ。



29 センサーの校正が完了したら[OK]をタップ。



30 [Home]をタップ。



31 燃料タンクのレベルゲージが表示される。



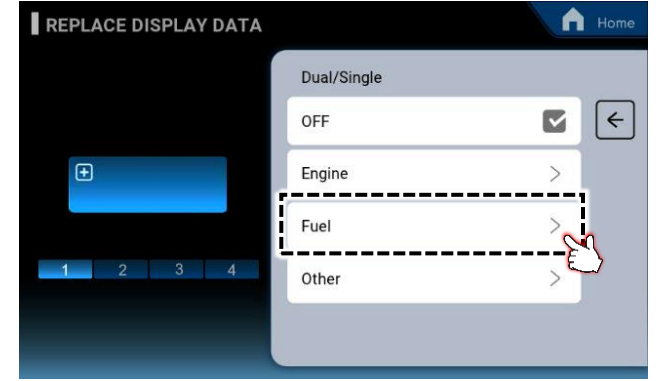
32 燃料がタンクの10%下回ると赤く点滅します。



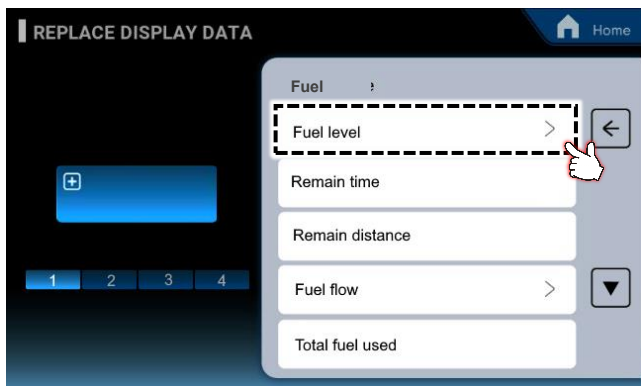
33 表示させたい画面下部のタブを長押し。



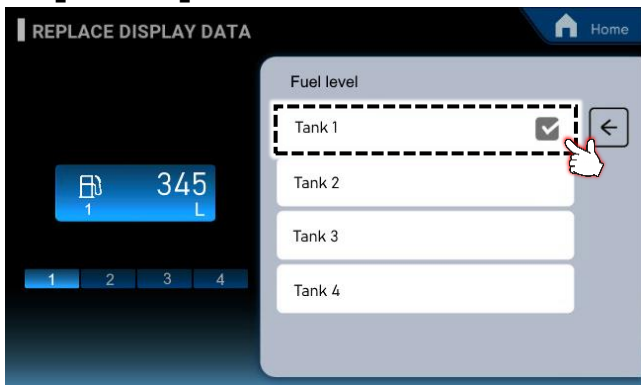
34 [Fuel]をタップ。



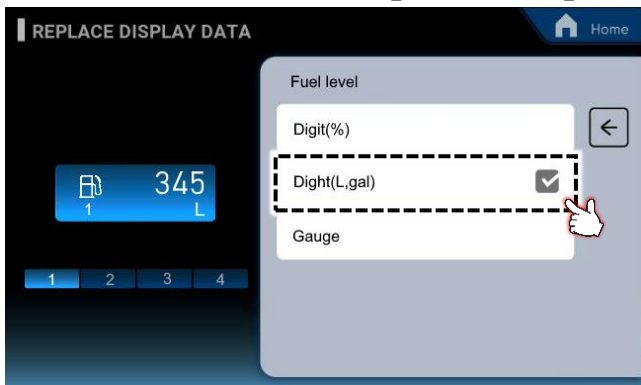
35 [フューエルレベル]をタップ。



36 [タンク 1]をタップ。



37 表示形式を選択。 例：[リットル表示]選択。



38 エンターボタン[↵]をタップ。



39 画面下部のタブに燃料が表示される。



※センダーのキャリブレーションから計算された数値なので実際の燃料とは誤差があります。

HONDA